

令和 8 年度大郷町町民体育館解体工事

図面リスト

[illegible]

設計名称					令和8年度大郷町民体育館解体工事				
図面名称					図面リスト				
縮	尺	A1: 一 A3: 一	年	月	R08.06	設計番号	図面番号 A-00		
大郷町									

A1：1／
A3：1／

0 | 1

解体工事特記仕様書

I

工 事 概 要

1 工事番号・名称 令和8年度大郷町民体育館解体工事
2 工 事 場 所 宮城県黒川郡大郷町中村字東浦2-1
3 用途地域等（ ・ ）内 ・ 外） 用途地域（無指定）
都市計画区域（ ・ ）防火 ・ 準防火 ・ 指定なし （○2.2条）
その他の地域・地区（ ）
4 主 要 用 途 体育館
5 敷 地 面 積 2,910.55㎡
6 工 事 の 概 要

7 別 途 工 事

な し

8 そ の 他

9 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
○ 外構工事特記仕様書 ○ 植栽工事特記仕様書
○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書

II

建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版）」(以下「改修標準仕様書」という。)による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様
①項目は、番号に○印をついたものを適用する。
②特記事項は、○印をついたものを適用する。○印のつかない場合は※印をついたものを適用する。(○印と※印のついた場合は、共に適用する)
③特記事項に記載の[]、{ }、< >内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Ⅶ

章 項 目

特 記 事 項

①.一般事項

○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。
○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
○ 施工体系図を現場に掲示すること。
○ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
※工事に伴う環境調査要領平成28年4月（東京都建設局編集）による※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること
調査範囲 ※ 図示

○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)
○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱
○ 宮崎工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部 令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修 令和5年版）

※ 適用する（諸費精算額が50万円以上の場合） [1.1.4]
受注時、変更時及び工事 completion にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完了後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
• 適用しない
• 適用する ※ 適用しない [1.3.3]

[1.3.8]
工事の施工过程中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに関監督職員に提出する。
[1.6.2]
▪ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。

工 事 種 目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工（型枠工事作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業）
コンクリートブロック積み工 ・押込成形セメント板工事	・ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）

②.適用基準等

○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)

○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱

○ 宮崎工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部 令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修 令和5年版）

③.工事実績情報(CORINS)の登録

※ 適用する（諸費精算額が50万円以上の場合） [1.1.4]
受注時、変更時及び工事 completion にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完了後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
• 適用しない
• 適用する ※ 適用しない [1.3.3]

④.電気保安技術者

[1.3.8]
工事の施工过程中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに関監督職員に提出する。

⑤.事故報告

[1.3.8]
工事の施工过程中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに関監督職員に提出する。

6.技能士

[1.6.2]
▪ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。

Ⅷ

章 項 目

特 記 事 項

⑥.工期管理

○ 工期管理計画を作成し、監督職員に提出すること。
○ 工期管理計画の実施状況を定期的に監督職員に報告すること。

⑦.安全管理

○ 安全対策計画を作成し、監督職員に提出すること。
○ 安全対策計画の実施状況を定期的に監督職員に報告すること。

⑧.労務管理

○ 労働者の健康状態を確認し、必要に応じて医師の診断を受けること。
○ 労働者の教育訓練を実施し、必要な知識・技術を習得させること。

⑨.品質管理

○ 品質管理計画を作成し、監督職員に提出すること。
○ 品質管理計画の実施状況を定期的に監督職員に報告すること。

⑩.その他

○ その他、上記の事項に関する事項を含むものとする。

10.その他

内部足場 ○設置する（ ・ ※脚立、足場板等）
・材料、撤去材等の運搬方法
種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○D種 ・ E種）
G種：利用可能なエレベーター（ ）
D種：利用可能な階段（ ）
足場を設置の場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の相対的に等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
○ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施設できる小屋等に保管すること。
○ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。
○ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。
○ 工事に関係部分の入出の表示を行うこと。

3.

解 体

①.解体手法

※ 解体手法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。
※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準（建設リサイクル法規則第2条）」による。

②.施工計画書等

[1.2.1~2]
工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。

③.杭

杭の解体 [3.9.2]
○ 行う {※杭頭から mまで ○全長 }

杭の解体工法
○ 引き抜き工法（ ・ 振動 ○ ケ シ ッ グ ・ ）
・ 粉碎による解体

4.樹木等

樹木の伐採伐根 ・ 行う（図示による） [3.11.1]
樹木の移植 ・ 行う（図示による）

⑤.地下埋設物の埋設配管

[3.12.1]
地下埋設物及び埋設配管の解体
○ 行う（図示による）

⑥.解体後の整地

[3.13.1]
解体後の埋戻し及び盛り土
○ 行う
埋戻し及び盛土の材料 {3.2.3}（表3.2.1）
・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種
・ 構築物除去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場で破砕したもの（粒径40mm以下）を使用する。
埋戻し範囲 ・ 図示による
C種の場合
建設発生土受入れ量 m³
発生源場所
受入条件
整地の高さ ○ 現状 G.L.
・ 図示による

⑦.建設発生土の処理

{3.2.5}
○ 構内指示の場所に数こならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。
・ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・所在地(km)
・ 土壤汚染対策法に基づく特定有害物質の含有を調査する。
調査範囲及び項目 ※図示

8.有害物質含有調査

調査範囲及び項目 ※図示

4

①再資源化等

[1.3.10][4.4.1]
建設廃棄物の種類 中間処理施設又は再資源化施設の名称等 所在地(km)
○コンクリート、コンクリート二次製品 平和エコプラント 黒川郡大郷町東成田字坂谷西129-3 4 km
○アスファルト 三井住友道路株式会社東北支店 黒川郡大郷町内子長福寺山74 3.2km
○木材 丹藤 株式会社 黒川郡大郷町南崎字吉33-4 1.5km
○炭プラスチック類 炭安部工業 黒川郡大和町松坂平9-3-4 11.5km
○ガラス・陶磁器類 ガラス・陶磁器類 佐々木 仙台市宮城野区扇町5-4-7 25.6km

[4.4.1]
建設廃棄物の種類 再資源化の有無 再資源化施設の名称等 所在地(km)
○蛍光灯 HIDランプ ○する ○しない 両安部工業 黒川郡大和町松坂平9-3-4 11.5km
○燐質ポリ塩化ビニル ○する ○しない 炭安部工業 黒川郡大和町松坂平9-3-4 11.5km
○ガス・陶磁器類 ○する ○しない 佐々木 仙台市宮城野区扇町5-4-7 25.6km

[4.4.1]
現場利用する再資源化された建設廃棄物の種類 再利用する場所(箇所)等
※ 鉄筋コンクリートを現地破砕し、再生材クラッシュラン(0〜40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.3)の再生材クラッシュランによることとし、すりへり減量を50%以下にする。

2.産業廃棄物広域認定制度の活用

③最終処分

4.処分に注意を要する建設廃棄物

5.特別管理産業廃棄物の処理計画

PCBを含む機器類等

4.特殊な建設副産物の回収及び処分

[4.4.2]
種 類 所在地等(km)
○(安定型)
混合がら 矢本クリーンセンター 栗松平市大海平天神生 - , I-II III II-2 19.0km
○磨石こうボード 矢本クリーンセンター 栗松平市大海平天神生 - , I-II III II-2 19.0km
○(管理型)(遮断型)
非飛散性 7X5X11含有建材 矢本クリーンセンター 栗松平市大海平天神生 - , I-II III II-2 19.0km
1〜3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

[4.5.1]
種 類 処理施設名称等 所在地(Km) 備考
CCA処理木材 矢本クリーンセンター 栗松平市大海平天神生 - , I-II III II-2 19.0km
トモエ又はカドミウム含有石膏ボード
<対象となる石膏ボード>
小島浜吉野石業(株) いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
口東京石膏ボ(D株) ハ戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの

[5.1.2]
材 料 名 仕様等(型式、厚さ、数量) 調査の範囲
※ 図示
・ 工事対象範囲
[5.1.3][1.2.2]
※ 種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載すること。
特別管理産業廃棄物の種類 処分場の名称 所在地等(km)
・ 磨石綿
PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・ 有

6
ア
ス
ベ
ス
ト
含
有
建
材
の
除
去

①.石綿含有建材の除去工事

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（※施工範囲全て）
貸与資料（

・図示

石綿含有調査結果報告書

・

）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材 料 名	定性分析方法		定量分析方法	
	JIS A 1481 または JIS A 1481-2		JIS A1481-3または JIS A 1481-4	
・	・	箇所	・	箇所
・	・	箇所	・	箇所
・	・	箇所	・	箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所

・図示

・

・石綿粉じん濃度測定

〈9.1.1〉

測定点 測定時期、場所及び測定箇所数

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点
・	測定3		処理作業室内	・計 点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 点
・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計 点
・	測定8	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・計 点
・	測定9		調査対象室外部の付近	・計 点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デシタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-11に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲

・図示

除去工法

・

 ※9.1.3 (2) (7) による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化

・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲

・図示

除去工法

・破砕して除去

・手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化

・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

○石綿含有成形板の除去
除去対象範囲

○図示

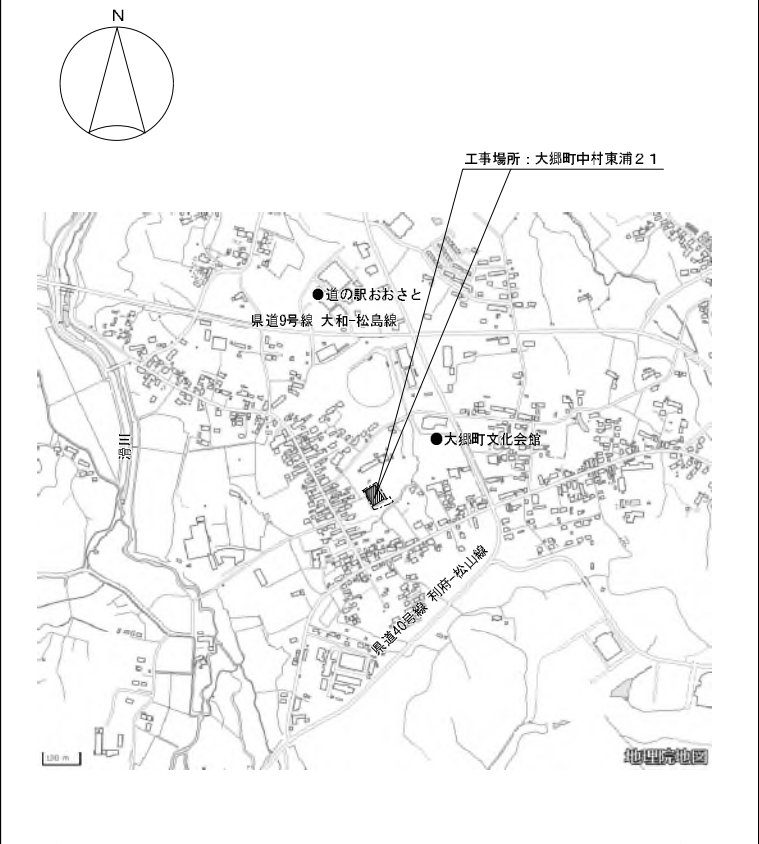
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
○埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
作業場所周辺養生
・行う

○行わない

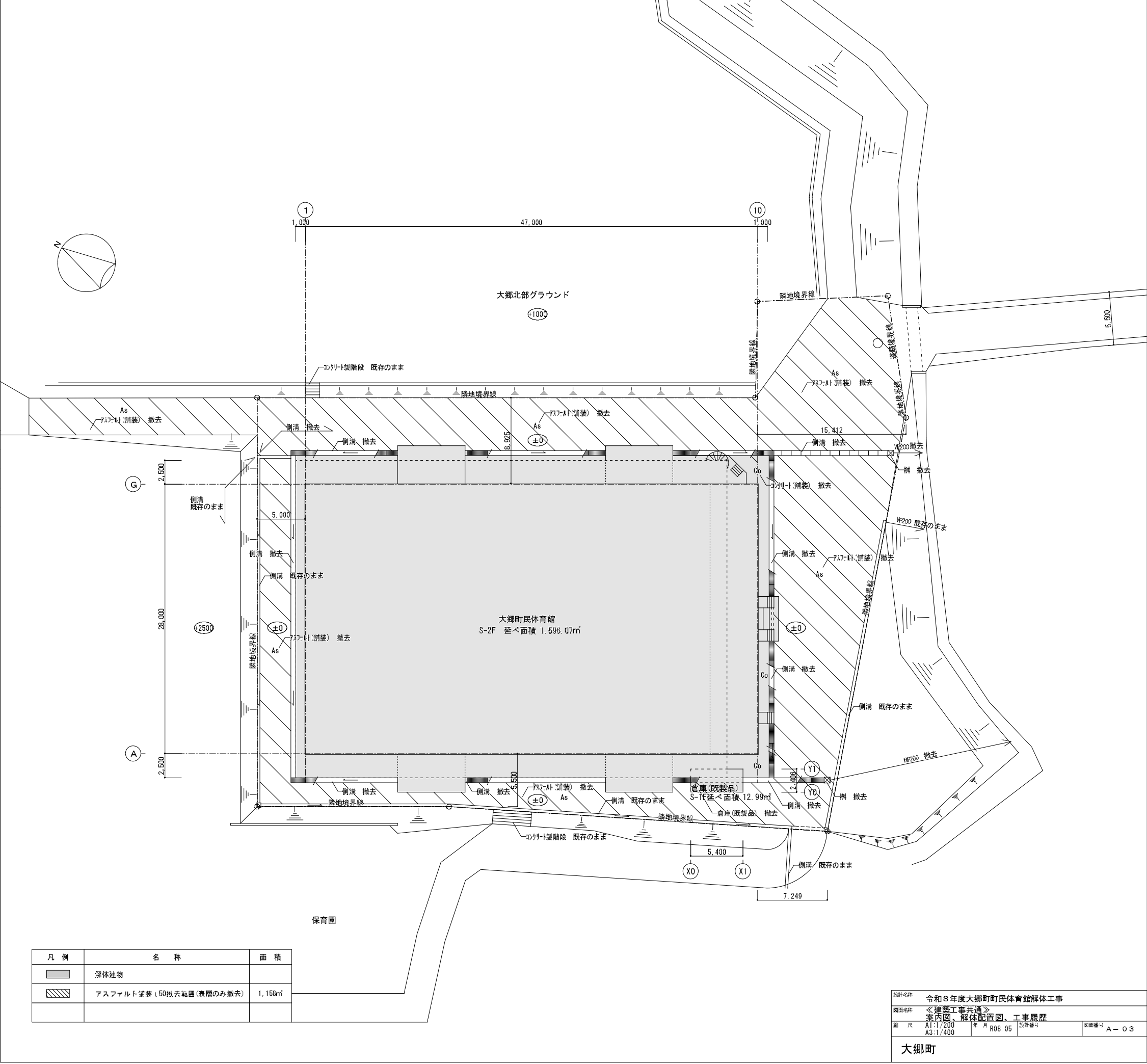
・石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲

・図示

工法
・集じん装置付き超高压水洗工法（100Mpa以上）
・湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法
・乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法
・剥離剤（薬品）工法
・超音波ケレン工法
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立部分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）



03 工事履歴			A1:- A3:-
年	工事名称	工事概要	
2008年	平成20年度大郷町民体育館耐震補強工事	鉄骨フレームの増設およびそれに伴う改修工事	
1999年	平成11年度大郷町民体育館屋根改修工事	金属屋根加へ工法による屋根・庇改修工事	
1974年	宮城県大郷町民体育館新築工事	新築工事	

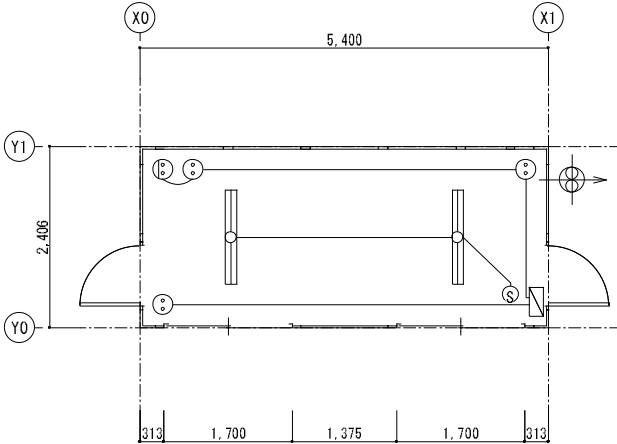


仕 様		
規 模	L5400×W2406×H2950(1ユニット)	
構 造	鉄骨造	
屋 根	金属折板張り t0.8mm	
天 井	化粧合板張り t4mm 断熱材:発泡ウレタン	
床	耐水合板張り t12mm +フロアペイント仕上げ	
壁	複合パネル	外壁: カラー鉄板 t0.27mm
		断熱材: スチレンフォーム t25mm
		内壁: カラー鉄板 t0.27mm
電 気	照明器具 (40W×2灯) 2基, 換気扇20cm	
	分電ブレーカー (30A) 、ブレーカー (20A×2)	
建 具	アルミ引き違い 透明ガラス H1060×W1700×2か所	
	アルミ片開戸 (フラッシュ戸) H1800×W800×2か所	

凡 例		
名 称	記 号	仕 様
照明器具		FL-40W×2灯(逆富士型)
分電盤		別図
天井付コンセント		15A×口数 125V
壁付コンセント		2口の合計15Aまで 125V
照明スイッチ		1P 300V 10A
換気扇		φ200 プラグ式・引き継ぎスイッチ
配線コード		VVF 1.0 2C
		VVF 2.0 2C

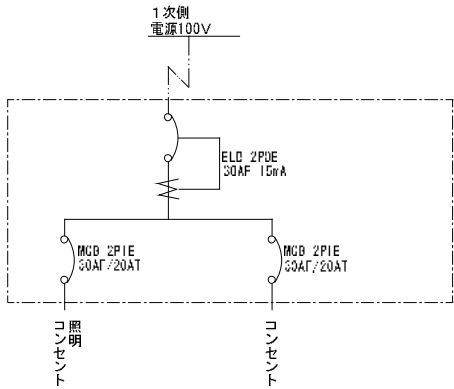
凡 例

本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

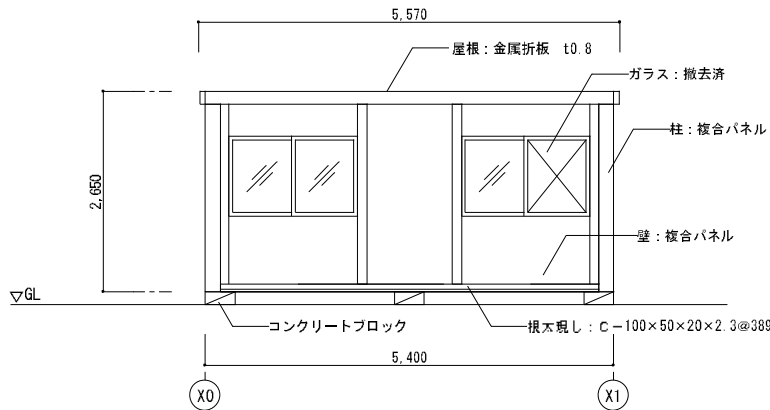


平面図 1/50

全て撤去

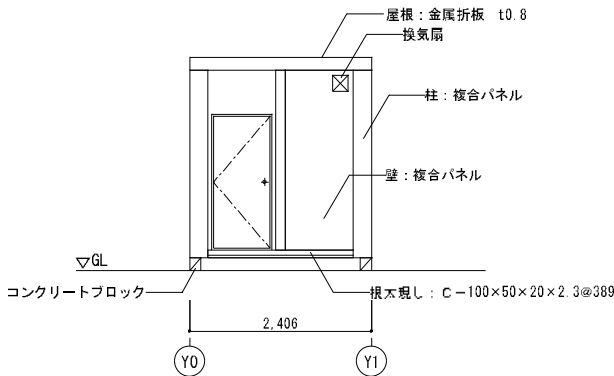


分電盤



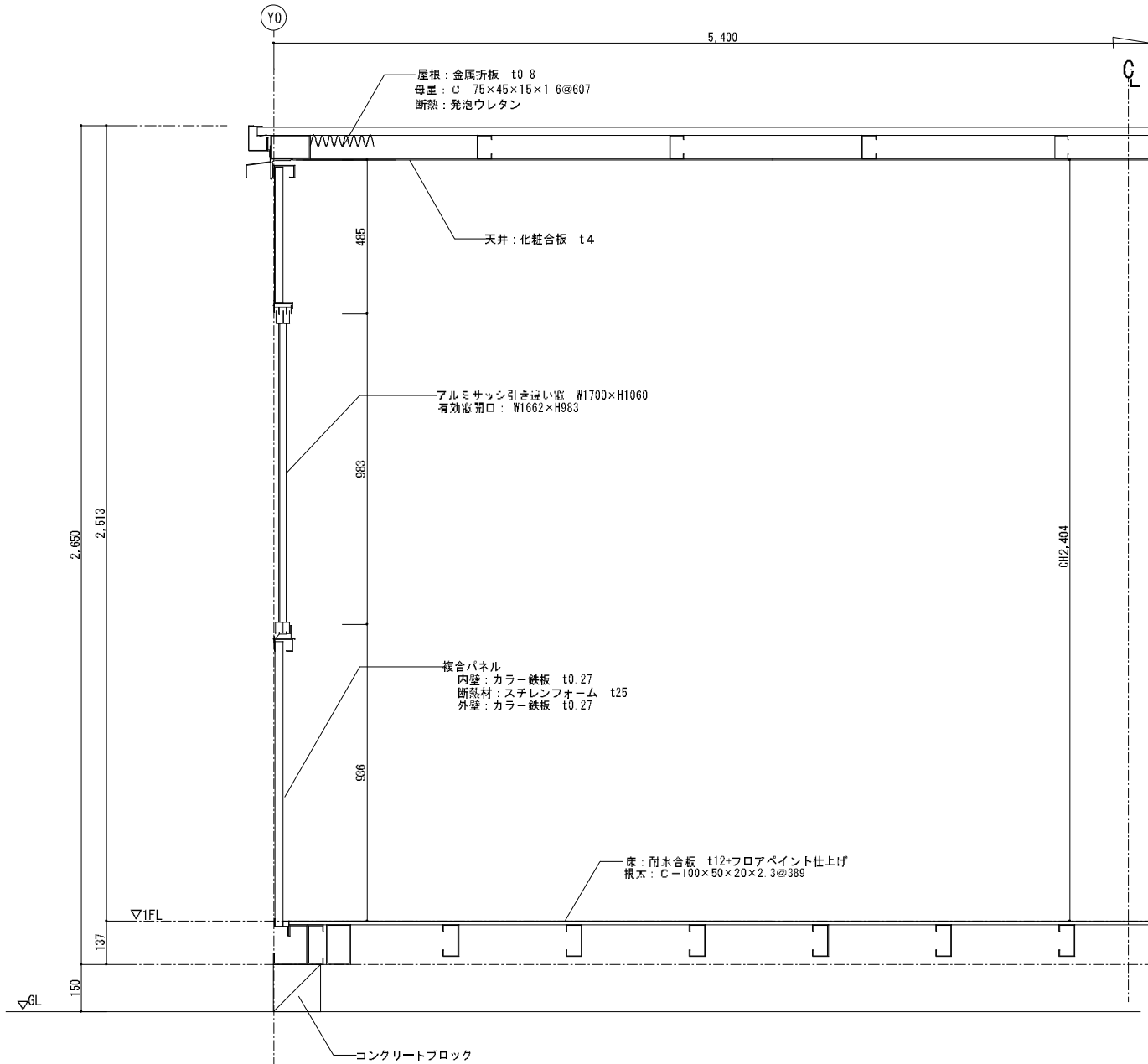
(Y0)通り立面図 1/50

全て撤去



(X1)通り立面図 1/50

全て撤去



鉅計図 1/20

全て撤去

外部仕上表

全て撤去

部 位	仕 上 ・ 仕 様 ・ その他	工 法
屋 根	既存：長尺カラー鉄板瓦葺き 28㎡ アスファルトフェルト22kg 木毛板(縦)φ25mm/m 雪止め(アングル60×45) 付属部分：均しモルタルφ20 アスファルト防水 砂利押工	屋根 屋根(急勾配部)
軒 天	既存：センチュリーリシン貼φ12 軒先周り 塩ビ鋼板φ1.0加工 一部に植込入石工φ14×EP塗(7m)	棟部 庇
外 壁	既存：センチュリーリシン貼φ12 軒先周り 塩ビ鋼板φ1.0加工 壁モルタル刷毛引リシン(アクリ系)吹付 一部にタタキ L15	ケラバ(平葺) ケラバ(包み) 軒先・庇草・破風包み
柱 型	既存：柱型モルタル金ゴテ仕上 EP (下地φφφ300リプラス貼)	雨押さえ 雪止め 棟包み
建 具	既存：スチール製 窓辺φ6 既存：片開き(うしろ)後水系統止めの塗料C種 水素ウレタン (1箇所全て及び2箇所一部SD(建築基準部)) スチール製 引分戸断熱(1箇所) スチール製 引分戸断熱(1箇所) アルミ製 引分戸断熱(1箇所)	
巾 本	既存：モルタル金ゴテ仕上(目地切) 押目地 床下換気孔 13φφ75OP 10箇所 既存：鉄骨ブレース設置部 木製118EP	
大 走 り	既存：モルタル金ゴテ仕上(目地切) 押目地 グレーチング(MO.19-3)	
暖 房	既存：GP φ80(OP) 既存：1ヶ所 白ガス管φ80SOP新設(エルボーのみ)	
ポーチ	既存：(風雨)床モルタル金ゴテ仕上(目地切) 段 ノンスリップタイル貼り 一部スノコ板敷 既存：鉄骨φ60φ1.0OP	

凡 例

合成樹脂鋼合ペイント	SOP
オイルステインワニス	OSV
油性ステイン	OS
塩化ビニール樹脂エナメル	VP
クリアラッカー	CL
フッ素樹脂塗料	FU
石こうボード	PB
現場発泡ウレタン	FP
フタル酸樹脂エナメル	FE
室内環境対応水系塗料	EP
ウレタン系樹脂塗料	UC

凡 例

本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

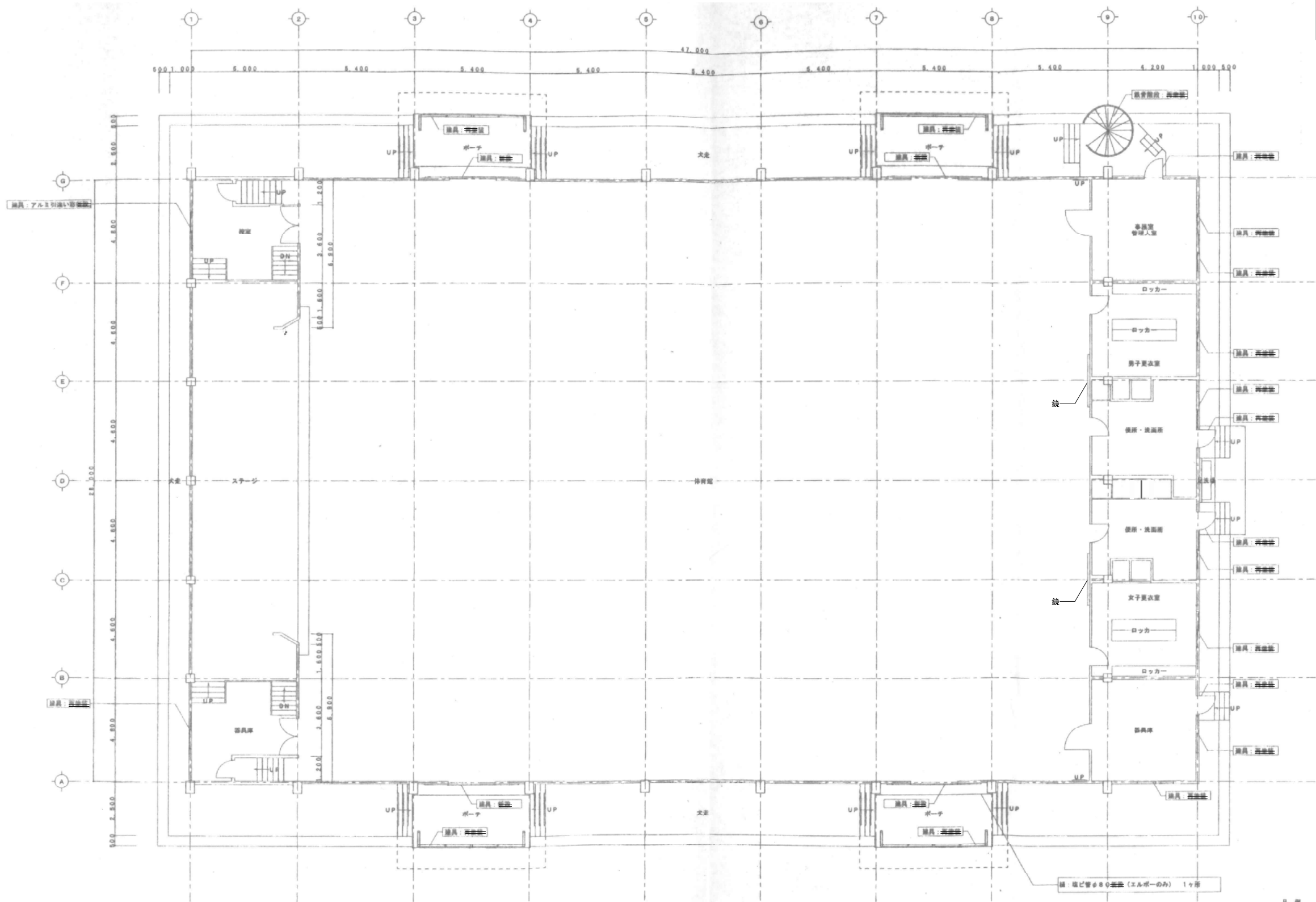
内部仕上表

全て撤去

階	室 名	床	床高	巾 本	巾本高さ	壁 壁	上 壁	天 井	天井高さ	備 考
1階	体育館	既存：ブナフロアリング118 (特殊塗装) 松板115 既存：センチュリーリシン貼φ12 アスファルトフェルト18kg 斜板貼121	FL±0	既存：ラウン OP	150	既存：合板19 目スカシ貼(T1) OP 既存：化粧合板16 一部クロス貼	既存：合板19 目スカシ貼(T1) OP 既存：化粧合板16 一部クロス貼	既存：木毛板(縦)125 VP 既存：OP	8,450 12,650	
	ステージ	既存：ブナフロアリング115 アスファルトフェルト18kg 斜板貼121	FL±1,000	既存：ラウン OP	150	既存：化粧合板16 一部クロス貼	既存：化粧合板16 一部クロス貼	既存：ブドー鋼板付	4,800	
	器具庫	既存：ロンリウム貼12 73%含有(14%13)	FL±0	既存：ラウン OP	150	既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：ジブトーン貼17	2,350	
	事務室	既存：ロンリウム貼12 73%含有(14%13)	FL±0	既存：ラウン OP	150	既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：石膏ジョイントボード 112 VP	既存：ジブトーン貼17	2,500	
	更衣室	既存：ロンリウム貼12 男子更衣室：73%含有(14%13)	FL±0	既存：ラウン OP	150	既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：ジブトーン貼17	2,350	
	シャワー室	既存：モザイクタイル	FL-100	既存：モザイクタイル		既存：モザイクタイル	既存：モザイクタイル	既存：ビシリブ貼	2,300	
	便所	既存：モザイクタイル	FL±0	既存：モザイクタイル		既存：モザイクタイル	既存：モザイクタイル	既存：ジブトーン貼17	2,350	
	控え室	既存：ロンリウム貼12 73%含有(14%13) ロンリウム貼12	FL±0	既存：ラウン OP	150	既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：ジブトーン貼17	2,500(1F) 2,400(2F)	
2階	ギャラリー	既存：ロンリウム貼12 73%含有(14%13) ロンリウム貼12 (木下地) 73%含有(14%13)	FL±0	既存：ラウン OP	100	既存：合板19 目スカシ貼(T1) OP 既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：合板19 目スカシ貼(T1) OP 既存：合板15.5 (T1) 目スカシ貼	既存：木毛板(縦)125 VP 既存：OP	2,400	カーテンBOX(新設) バスケットボード(新設)・両端付 ブレース設置部 巾本(木製118)・通れ壁・立上り壁(合板19)・新設
	放送室	既存：モルタル防水 金ゴテ仕上(目地切)	FL±0	既存：ラウン OP	100	既存：モルタル防水 金ゴテ仕上(目地切)	既存：モルタル防水 金ゴテ仕上(目地切)	既存：ジブトーン貼17	2,400	
地下階	下ステージ下換子収納	既存：モルタル防水 金ゴテ仕上(目地切)	FL±0	既存：ラウン OP		既存：モルタル防水 金ゴテ仕上(目地切)	既存：モルタル防水 金ゴテ仕上(目地切)	既存：床貼直し	2,100	

特 記 事 項

本工事に使用する塗料は次による。 共通事項 厚生労働省の室内環境指針値にある規制13化学物質を配合していないもの。 鉛を含まないもの。 水系のもの。 TVOCの放散量が出るだけ少ないものを指定すること。	個別事項 「室内環境対応水系塗料」 合成樹脂エマルジョンペイントでJIS K 5663規格品1種であること。 (社)日本塗料工業会の健康リスクに対する建築用塗料の目標基準(エマルジョン塗料)に適合すること。 ビニデラックス300 「床部の塗料」 仕上げ塗料：ウレタン樹脂塗料とする。 水性ナノトップ 錆止め塗料 水性ザウルス 「外部既存床部の塗料」 仕上げ塗料：ウレタン樹脂塗料とする。 アレスエコレタンⅡ 錆止め塗料 ザウルスEX	「外装薄塗材Eの主材」 アレスリシン
--	--	-----------------------



凡 例
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

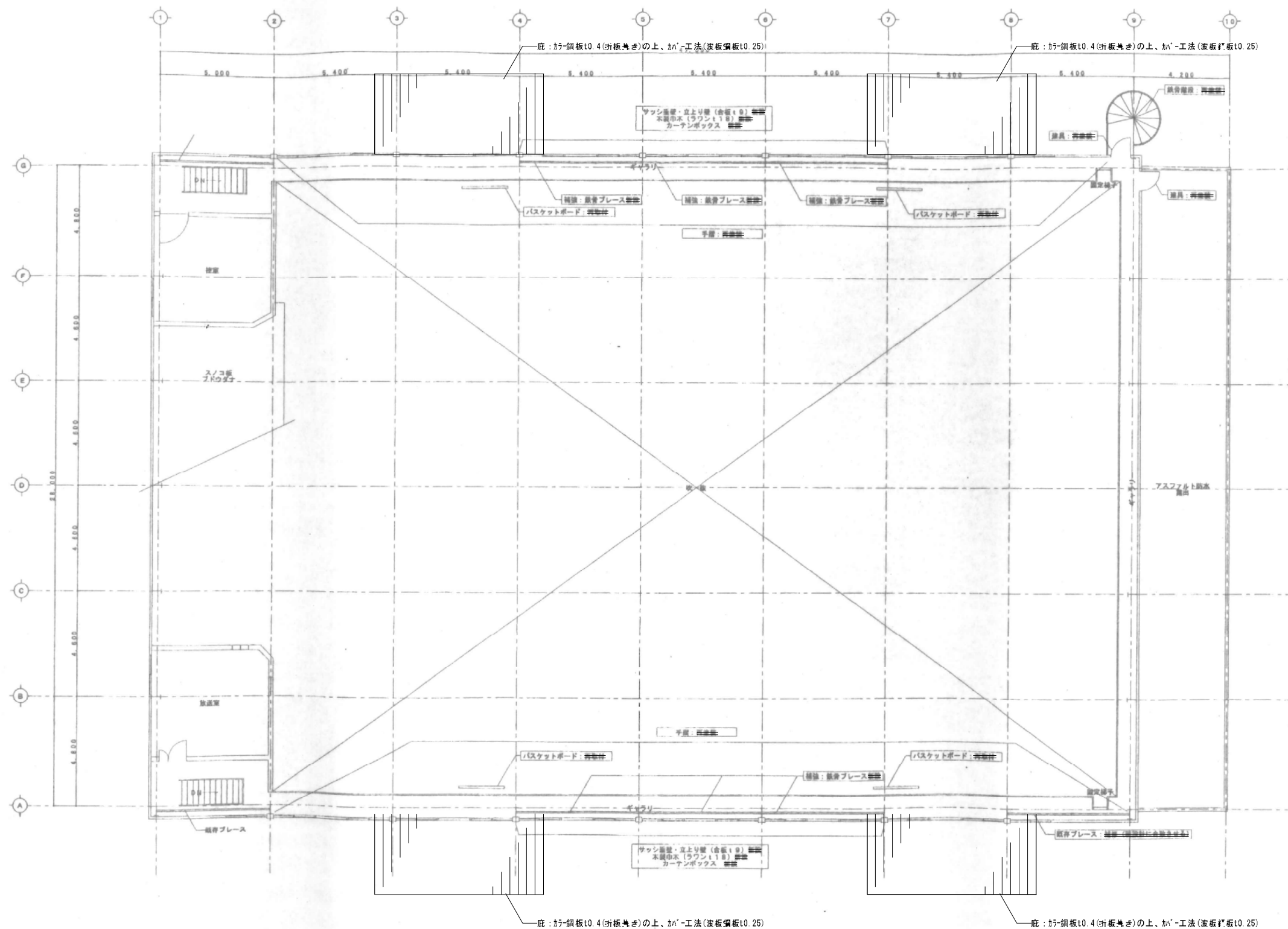
凡 例
撤去を示す
撤去 (撤去範囲) : 3種目ケレン撤去止の撤去A種 ケレン
撤去 (撤去範囲) : 3種目ケレン撤去止の撤去B種 ケレン (小口、特表)
撤去 (撤去範囲) : 3種目ケレン撤去止の撤去C種 ケレン (小口、特表)

改修後 1階平面図 8=1/100 全て撤去

設計名称	令和8年度大郷町民体育館解体工事			
図面名称	《2008年 平成20年度 大郷町民体育館耐震補強工事》 1階平面図			
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年 月	R08.05	図面番号 A-08
大郷町				

—凡 例—

〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



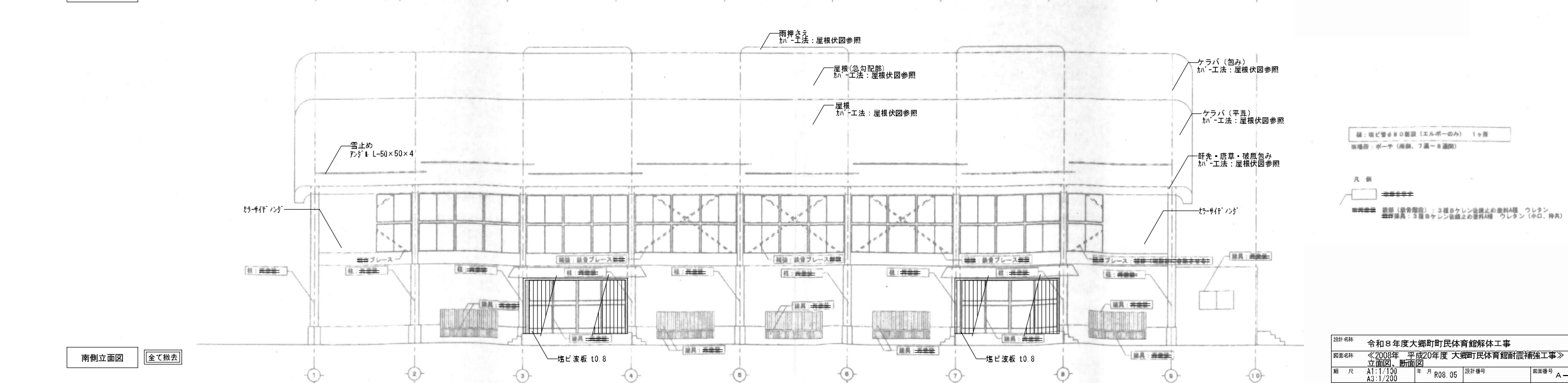
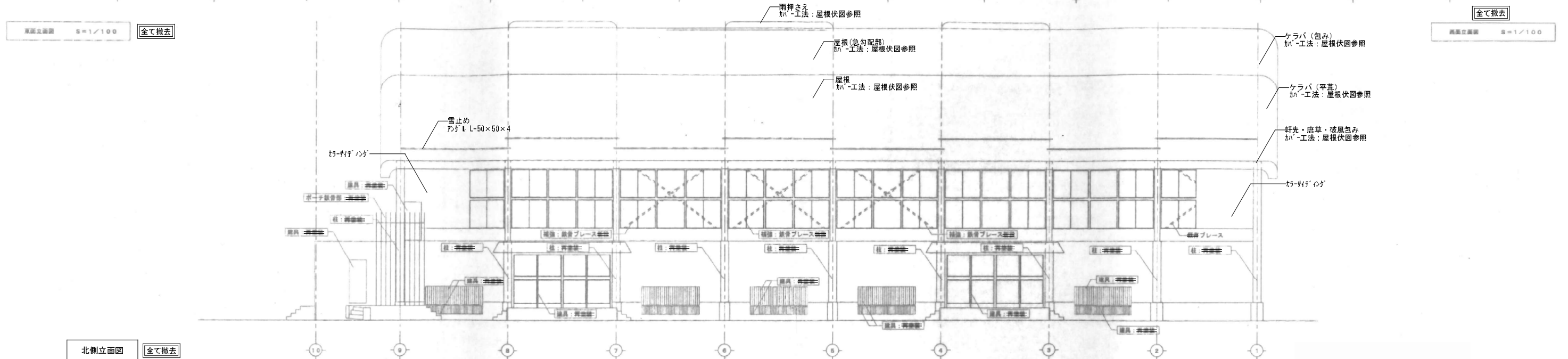
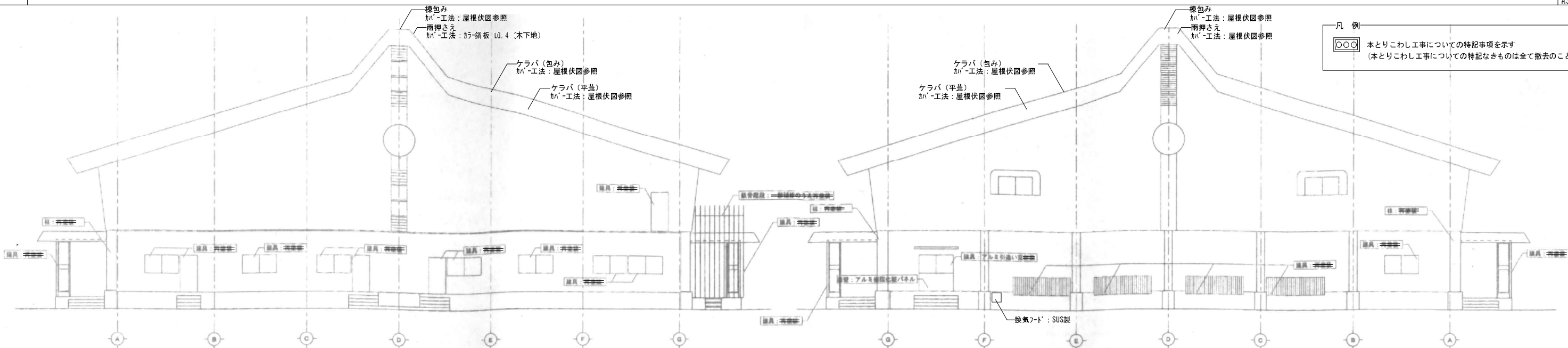
凡例

鉄部：3種Bケレン後水系錆止め塗料C種 水系ウレタン
鉄部（鉄骨露出）：3種Bケレン後錆止め塗料A種 ウレタン
塗具：3種Bケレン後錆止め塗料A種 ウレタン（小口、伸共）

改修後 2 階平面圖 S=1/100

全て撤去

設計名称	令和8年度大郷町民体育館解体工事		
図面名称	《2008年 平成20年度 大郷町民体育館耐震補強工事》 2 階平面図		
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年 月	R08.05
設計番号	図面番号		A - 09
大郷町			

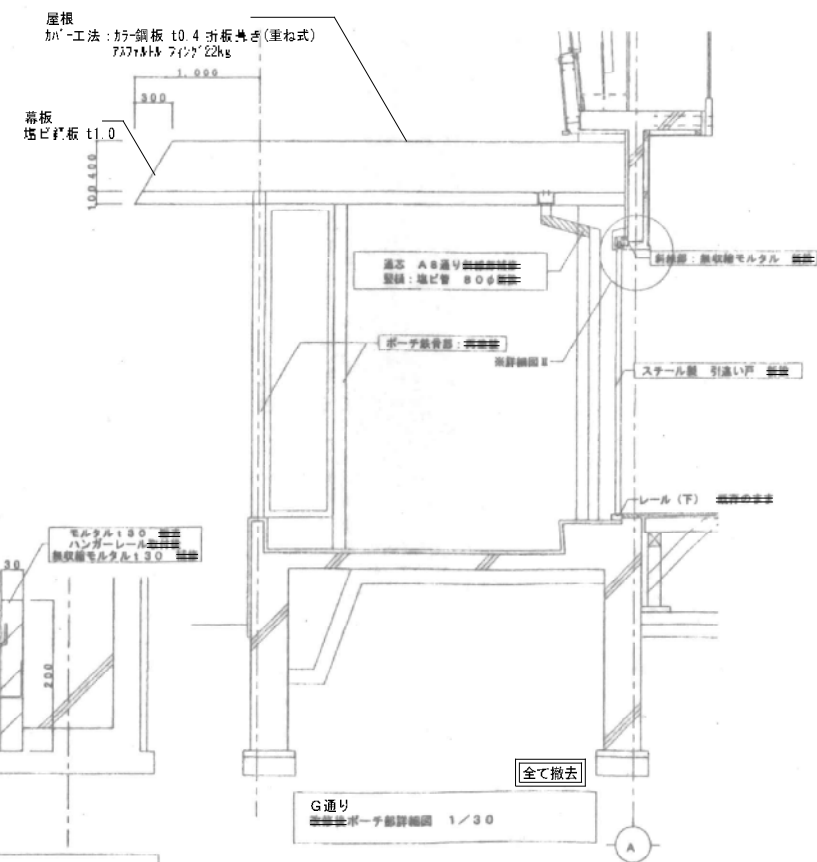
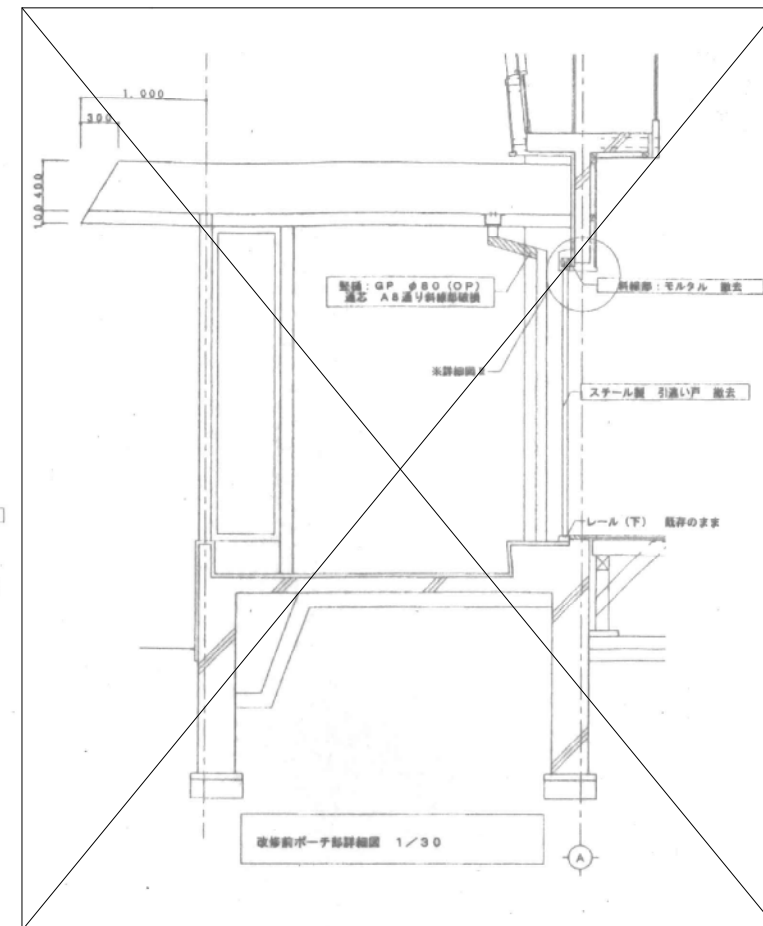
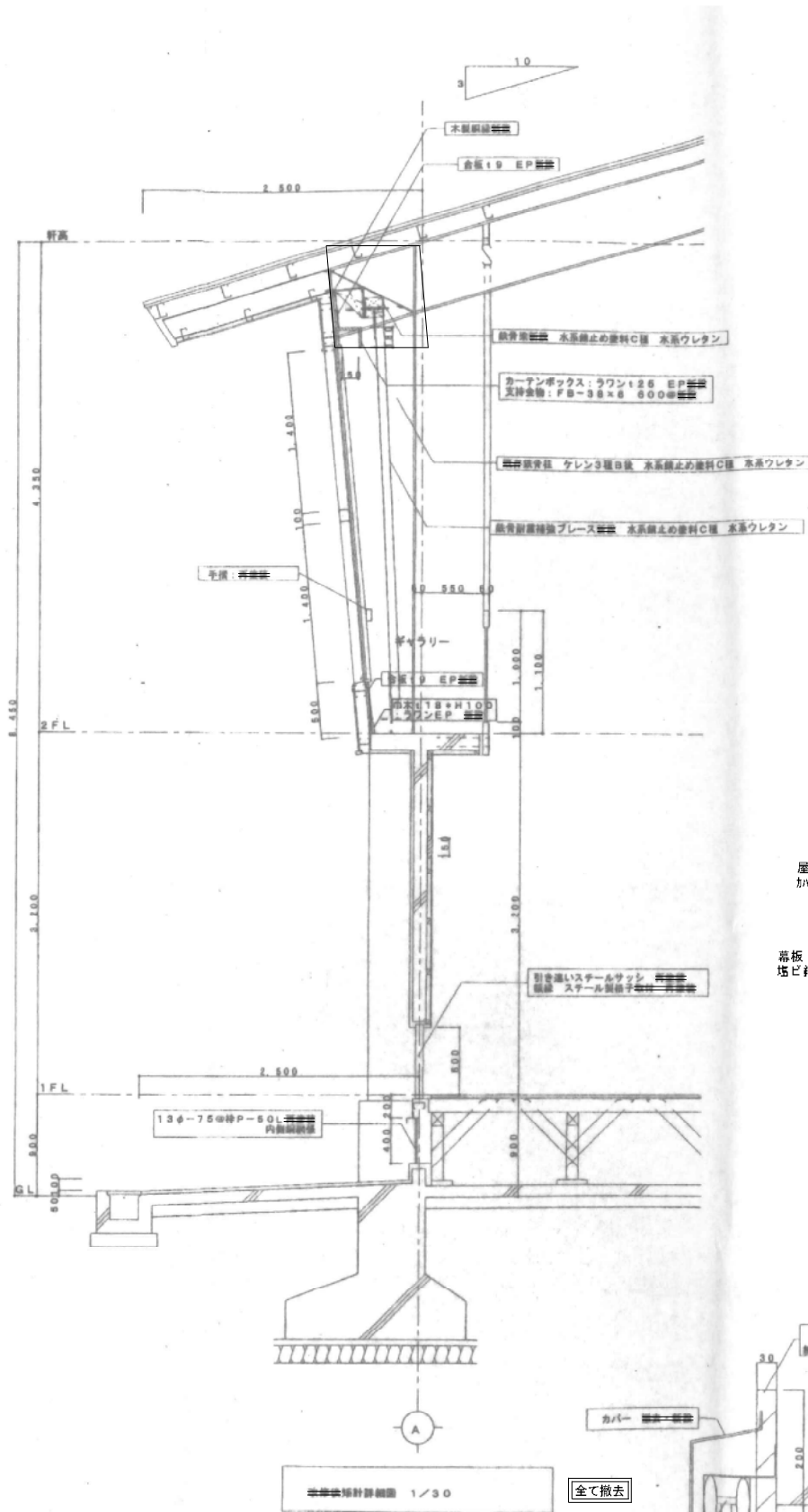
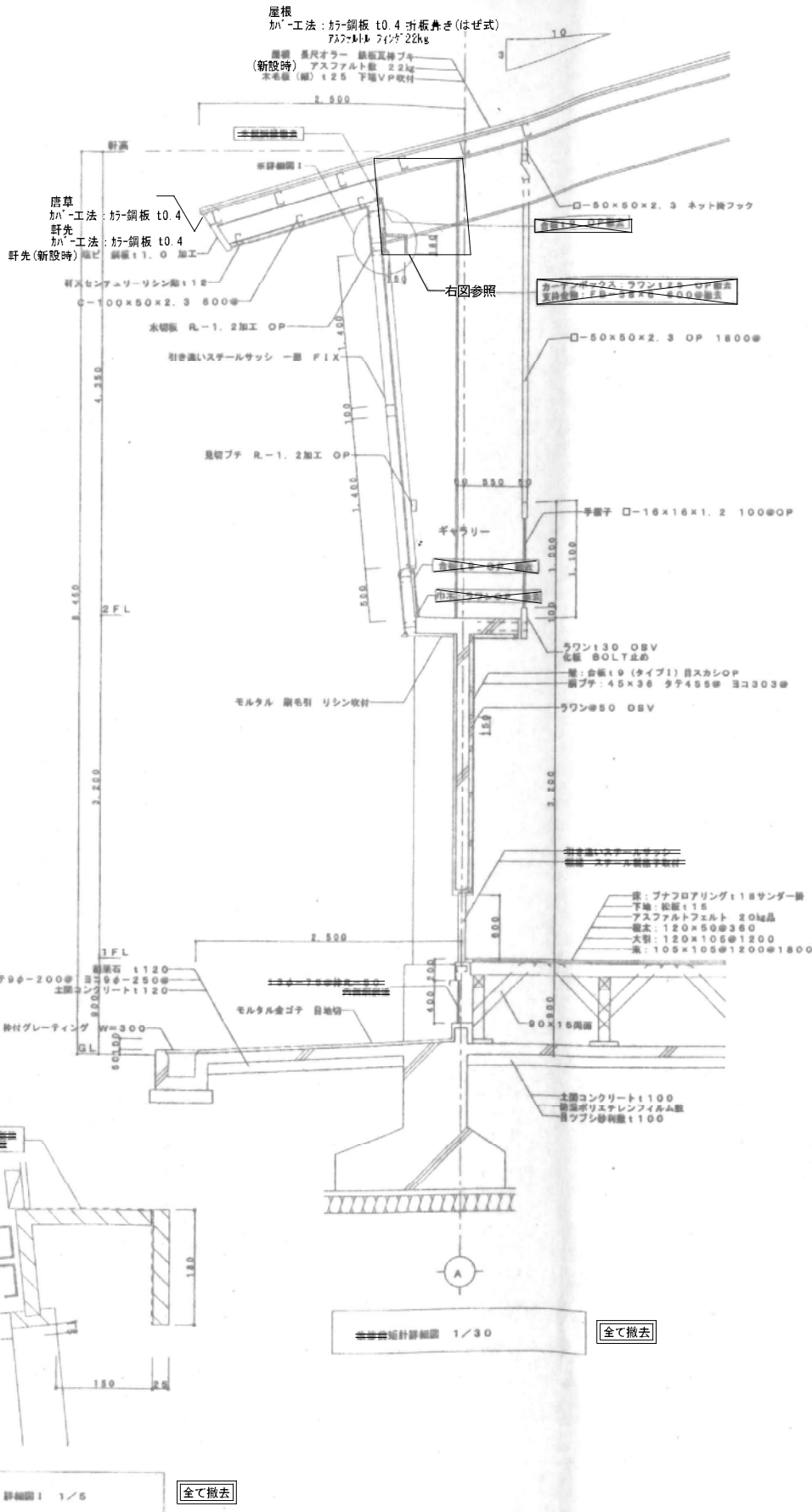


凡 例
〇〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

棟：塩ビ管φ80断熱（エルボ一のみ） 1ヶ所
張地：ポーチ（南側、7画～8画間）

凡 例
窓枠：断熱（断熱材）：3種Bケレン後断熱材A種、ウレタン
窓枠：3種Bケレン後断熱材A種、ウレタン（全口、特欠）

設計名称	令和8年度大郷町民体育館解体工事			
図面名称	＜2008年 平成20年度 大郷町民体育館耐震補強工事＞ 立面図、断面図			
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年月	R08.05	設計番号
大郷町				図面番号 A-10



—凡 例

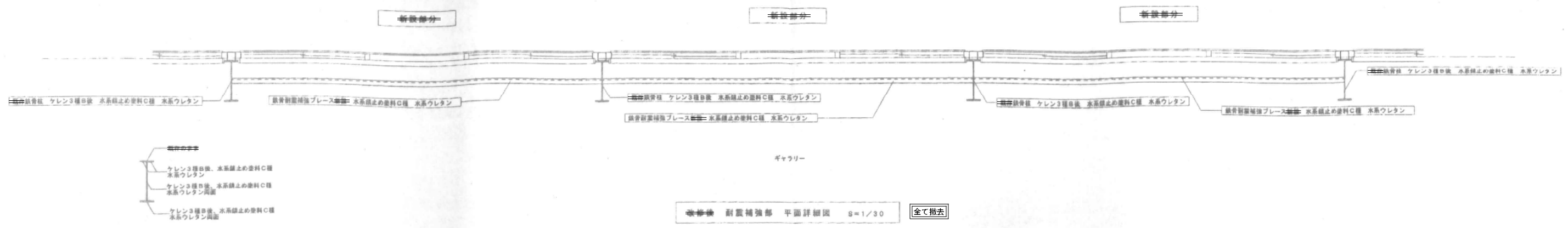
 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

設計名称	令和8年度大郷町町民体育館解体工事				
図面名称	《平成20年度 大郷町民体育館耐震補強工事》 鉋切図				
縮 尺	A1:1/5.00 A3:1/10.00	年 月	R08. 05	設計番号	図面番号 A - 11

大郷町

凡 例

 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



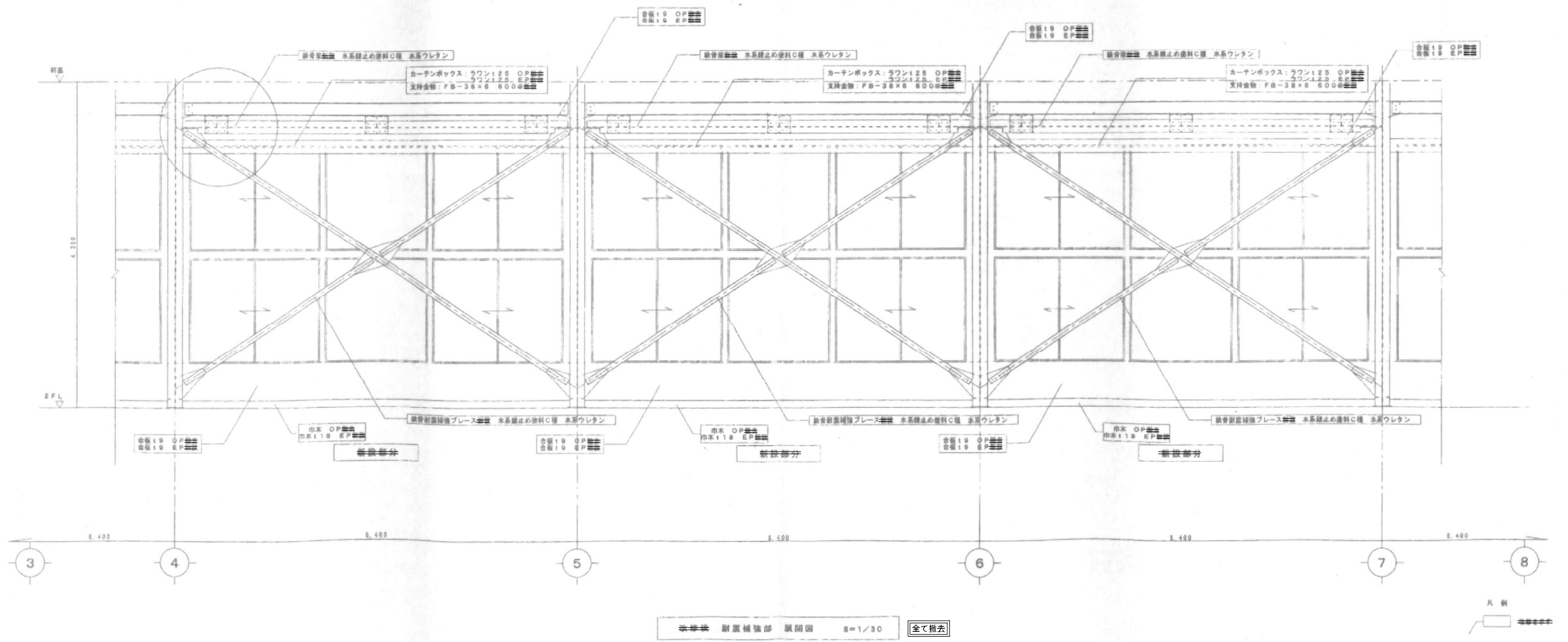
鉄骨柱

ケレン3種中級、水系緑止の塗料C種
水系ウレタン

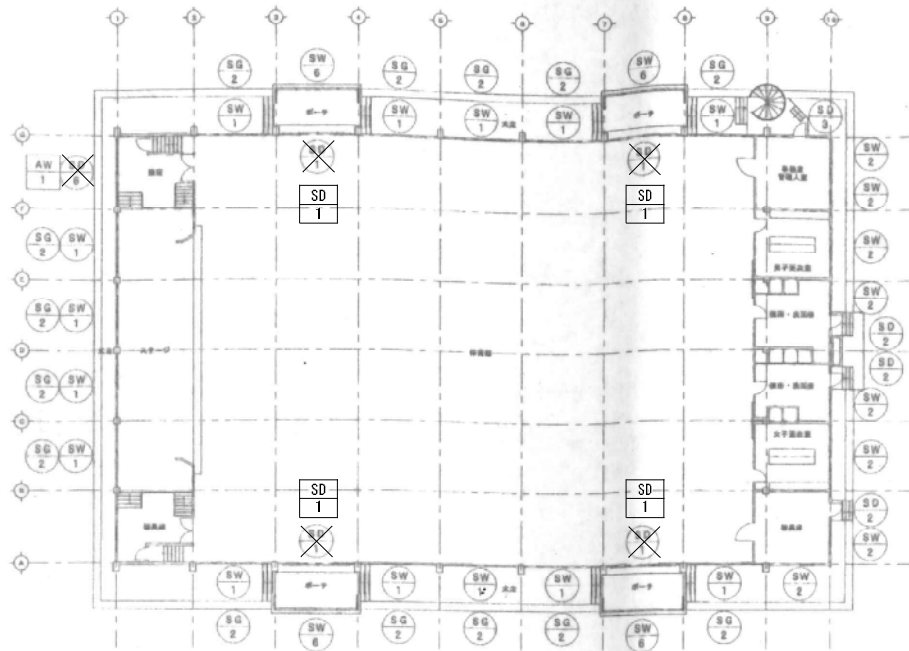
ケレン3種中級、水系緑止の塗料C種
水系ウレタン両面

ケレン3種中級、水系緑止の塗料C種
水系ウレタン両面

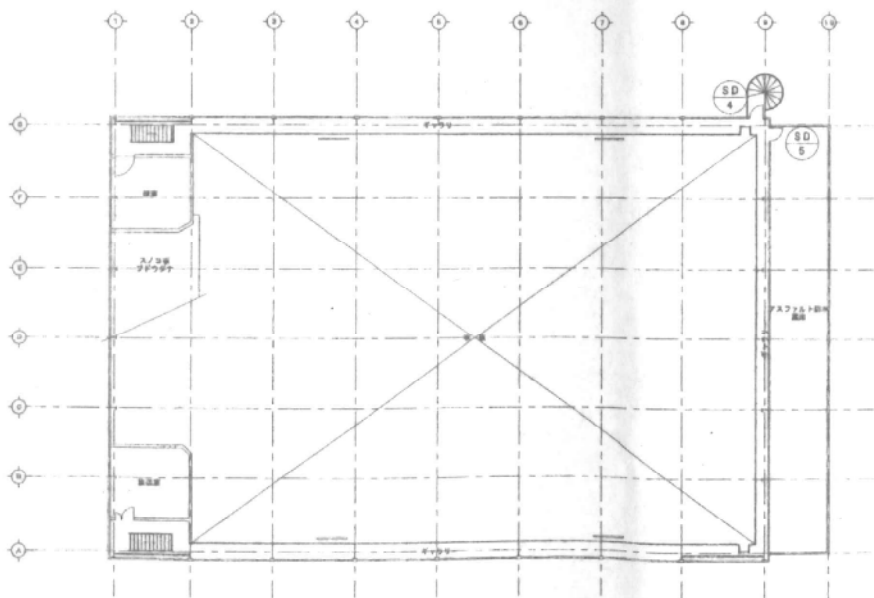
鉄骨柱塗装部詳細図



(1) 建具番号	
SD	スチール戸
SW	スチール窓
SG	スチールガラリ
AD	アルミ戸
AW	アルミ窓
AG	アルミガラリ
STD	ステンレス戸
STW	ステンレス窓
AS	アルミシャッター
SS	スチールシャッター
WD	木製戸
WW	木製窓
WG	木製ガラリ
(2) 程度	
AT	エアタイト
SAT	準エアタイト
RM	レバーノイド品
OM	オーダーメイド品
(3) 仕上・材質	
HL	ヘアライン
MR	鏡面
NA	アルミイト処理
GA	二重樹脂複合仕上処理 カラー
(4) ガラス	
FL	フロートガラス
F	強化ガラス
FLW	樹脂入板ガラス
FW	樹脂入板ガラス
HFL	樹脂強化フロートガラス
HM	樹脂強化ガラス
D	複層ガラス
L	中空ガラス
TG	真空ガラス
(5) 金物	
H	丁番
FH	フロアヒンジ
PH	ピボットヒンジ
LB	ラバリーヒンジ
WH	両面丁番
AH	オートヒンジ
SB	戸車
HL	ハンガーレール
L	シンダー一本鎖錠
DL	錠
FL	錠
IL	錠
TL	錠
CL	キャッチ錠
EL	多面錠
CH	ケースハンドル
FR	フラスエッジ
GL	グレモシハンドル
LH	レバーハンドル
DG	ドアチェック・ストッパー付
AS	アームストッパー
OP	オペレーター
SP	取手・押手
LP	取手
CS	戸鎖
US	樹脂付金具式戸鎖
DS	ドアエンジン
AG	製作アングル
CR	ローラー車
WS	鋼線
WB	木部シ



1階キープラン S=1/250 全て撤去



2階キープラン S=1/250 全て撤去

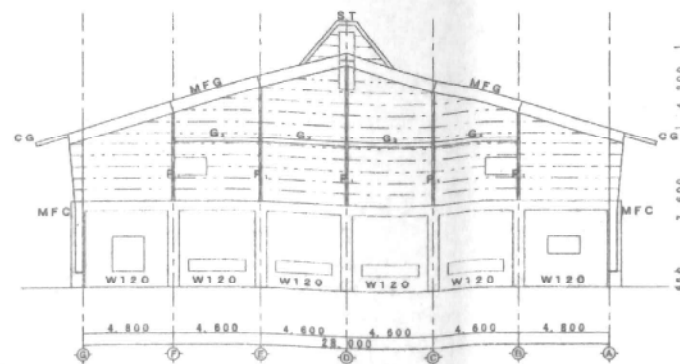
○ 建具を示す
□ 建具を示す

※撤去・再塗装建具のみ表示

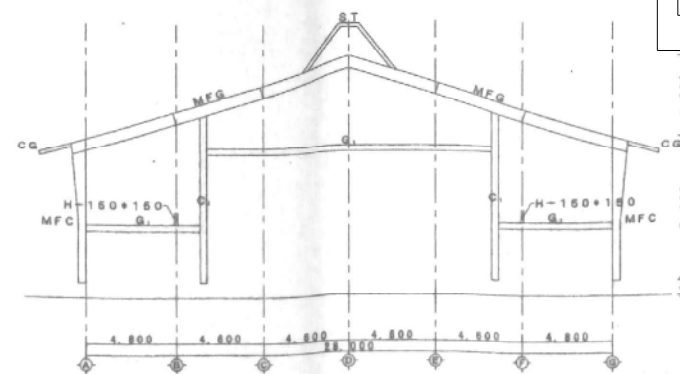
符号	SD 1 スチール製 引分戸	SD 2 スチール製 片開戸	SD 3 スチール製 片開戸	SD 4 スチール製 片開戸
図				
名	体育館	器具庫・便所・洗面所	事務・管理入室	2Fギャラリー
見込数量	見込: 1 数量: 4	見込: 1 数量: 3	見込: 1 数量: 1	見込: 1 数量: 1
材質仕上	スチール製	スチール製	スチール製	スチール製
金物	ハンガー吊 引手錠	付属金物一式 ガラリ	付属金物一式	付属金物一式
備考				
符号	SD 5 スチール製 片開戸	SD 6 スチール製 引違い戸	SD 7 スチール製 引違い戸	SD 8 スチール製 引違い戸
図				
名	2Fギャラリー	1F控室	体育館 椅子収納庫	更衣室・便所・洗面所 事務・管理入室 器具庫
見込数量	見込: 1 数量: 1	見込: 1 数量: 1	見込: 1 数量: 14	見込: 1 数量: 8
材質仕上	スチール製	スチール製	スチール製	スチール製
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考				
符号	SD 9 スチール製 縦断窓	SD 10 スチール製 縦断窓	SD 11 スチール製 縦断窓	SD 12 スチール製 縦断窓
図				
名	ポーチ	体育館 椅子収納庫		
見込数量	見込: 1 数量: 4	見込: 1 数量: 14		
材質仕上	スチール製	スチール製		
金物		椅子16φ 100		
備考				
符号	SD 13 スチール製 引分戸	AW 1 アルミ製 引違い戸	AW 2 アルミ製 引違い戸	AW 3 アルミ製 引違い戸
図				
名	体育館	1F控室		
見込数量	見込: 100 数量: 4	見込: 70 数量: 1		
材質仕上	スチール製	アルミ製		
金物	ハンガー吊 引手錠	付属金物一式		
備考				

凡例
○ 本とこわし工事についての特記事項を示す
(本とこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

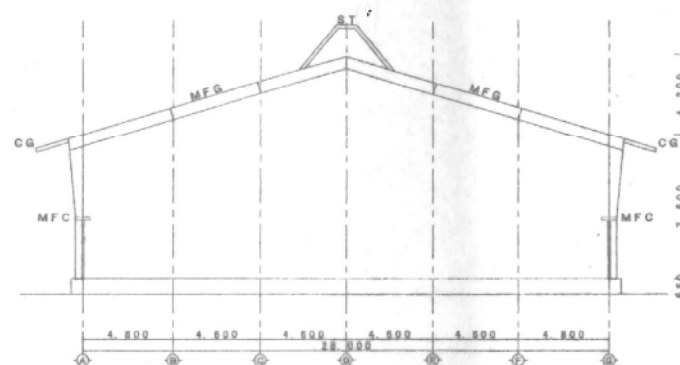
凡 例
〇〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



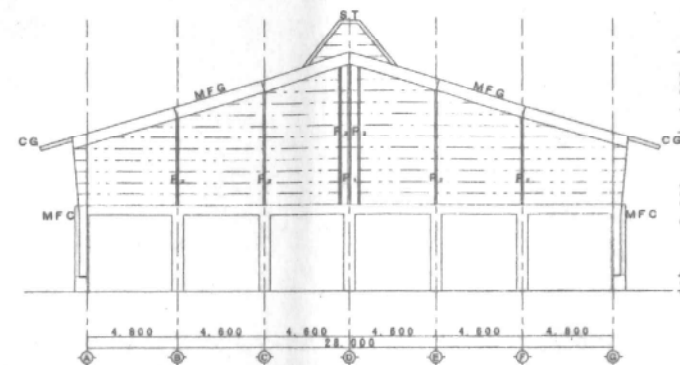
1通り 軸組図 S=1/200 全て撤去



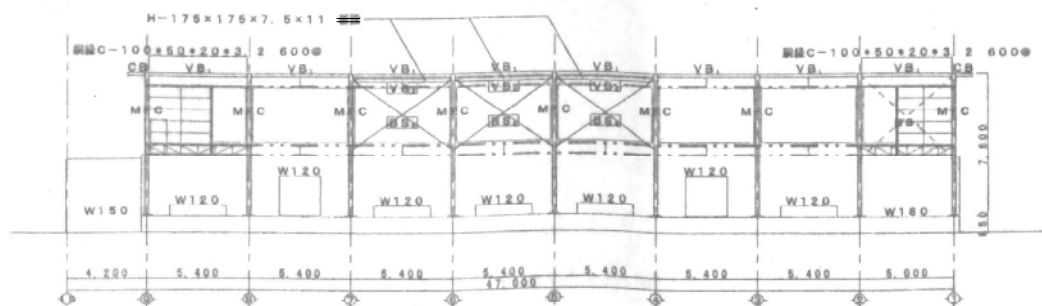
2通り 軸組図 S=1/200 全て撤去



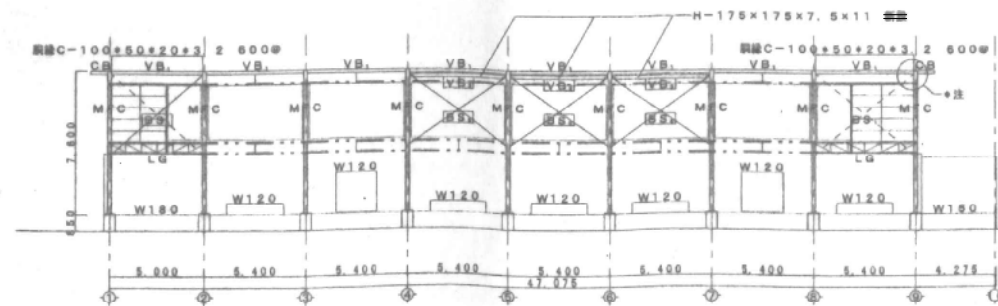
3~5通り 軸組図 S=1/200 全て撤去



9通り 軸組図 S=1/200 全て撤去



断面ブレースBS, L-75x75x6
断面ブレースBS, L-75x75x6
G通り 軸組図 S=1/200 全て撤去

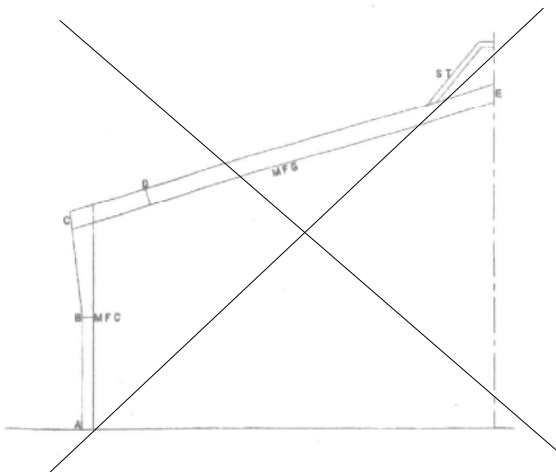


断面ブレースBS, L-75x75x6
断面ブレースBS, L-75x75x6
A通り 軸組図 S=1/200 全て撤去

- 6等寸
- 断面ブレース
- 断面ブレース
- 断面 2C-100x50x20x3

鉄骨リスト		S=1/20		全て撤去								
用部図 S541 F24+/mm' HTB F10T 構造印刷 SSC41												
	MFG	MFC			C, G,	G,	P, B, G,	CG ST P,	VB, CB	VB,	S,	S
断面												
部材	H-200*201*12*20	H-200*199*10*15	H-200*200*11*17 切端加工	H-400*200*8*13	H-350*175*7*11	H-300*150*6.5*9	H-250*125*6*9	H-200*100*5.5*8	H-175*90*5*8	H-150*75*5*7	H-100*100*6*8	Z (-100*50*20*3,
小根プレス・壁面プレス												
	BS,	BS,	BS,	BS,	断面		P, B,	P,	BS,	VB,		
断面												
部材	Z (-100*50*20*3, Z	L-75*75*4	L-75*75*4	L-75*75*4	Z (-100*50*20*3, Z 5000	Z (-100*50*20*3, Z 5000	Z (-100*50*20*3, Z 5000	D-100*100*4, Z	D-100*100*4, Z	L-75*75*9	H-175*175*7.5*11	
	C-3 L-75*75*4 BOLT Z-130	GP-4 0 x132-400	LGP-4 0 x132-400	700*400*100 BOLT 100	700*400*100 BOLT 100-1	C-3 L-75*75*4 BOLT Z-130	C-3 L-75*75*4 BOLT Z-130	STB-4.5 BOLT Z-130		GPL-5 0 x170-50*110		

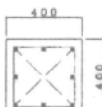
凡 例
〇〇〇〇
本とリこわし工事についての特記事項を示す
(本とリこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



次壁リスト S=1/20

	G ₁		G ₂		FG・BFG		FB	
断面								
D×D	250×600		250×500		300×700		300×500	
上端筋	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19
下端筋	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19	3-D19	3-D19	2-D19	3-D19
スターラップ	2-9φ 200φ		2-9φ 200φ		2-9φ 200φ		2-9φ 200φ	

柱リスト S=1/20

	1C・2C
断面	
D・H00P 9φ 800φ	
D×D	400×400
定数	8-D16
スターラップ	9φ 100φ

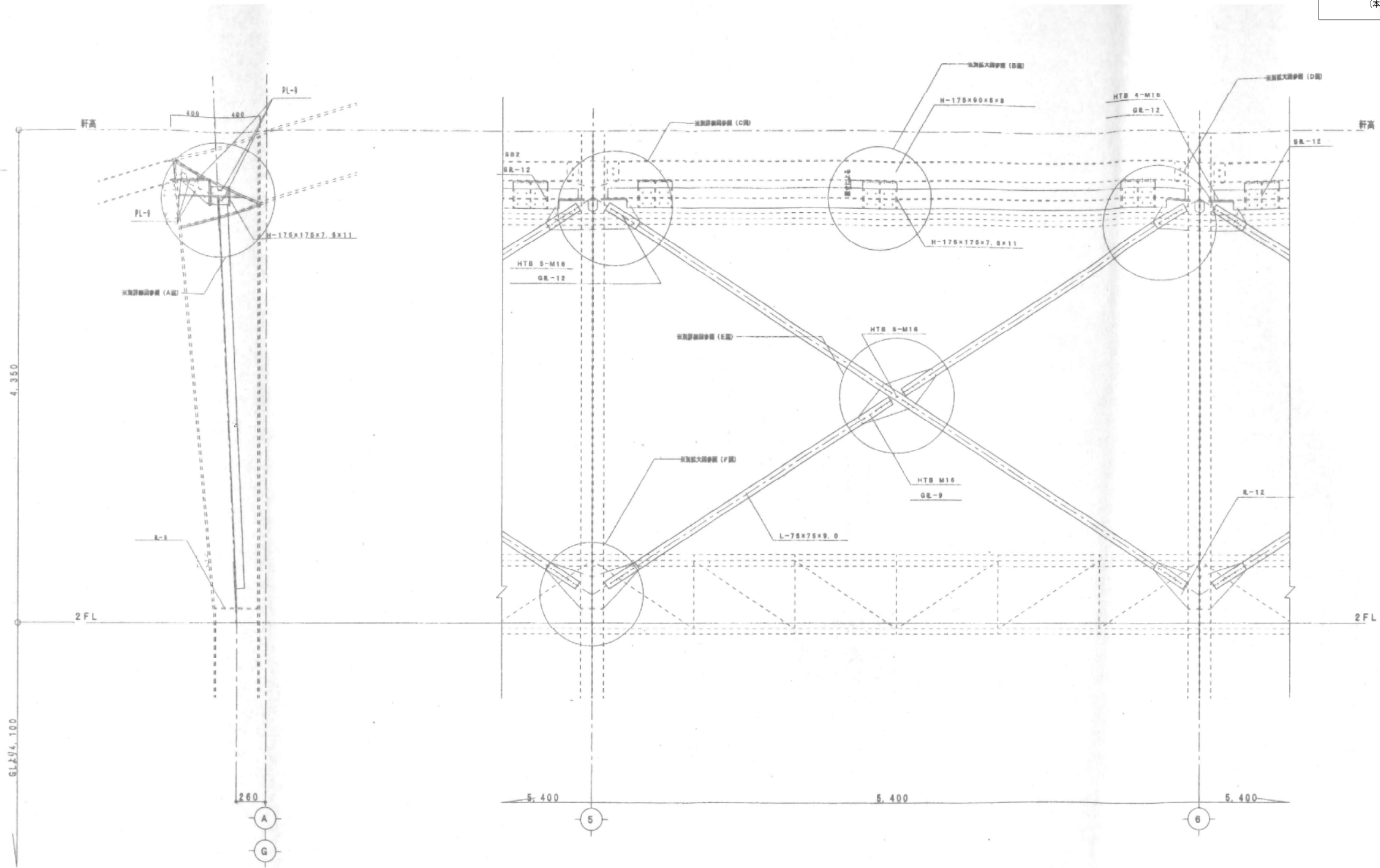
壁リスト S=1/20

	W180	W150	W120
断面			
寸法	9φ・13φ 250φ	9φ 200φ	9φ 250φ
目コ	9φ 250φ	9φ 200φ	9φ 250φ
幅止め筋	9φ 750φ		

凡 例



本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



鉄骨詳細図

S=1/20

全て撤去

鉄骨詳細図

S=1/20

全て撤去

—凡 例—

 本とりこわし工事についての特記事項を示す
 (本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

A 圖平面 (2 F)

$$S = 1/10$$

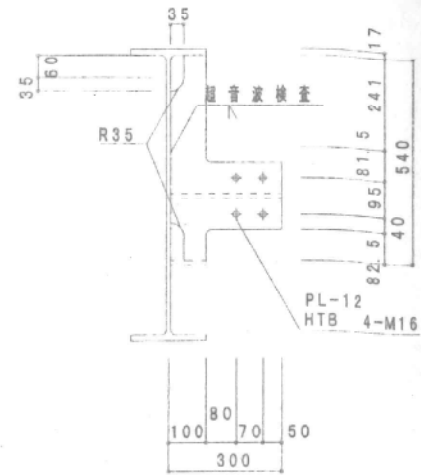
B國断面・見付(2F)

$$S = 1/5$$

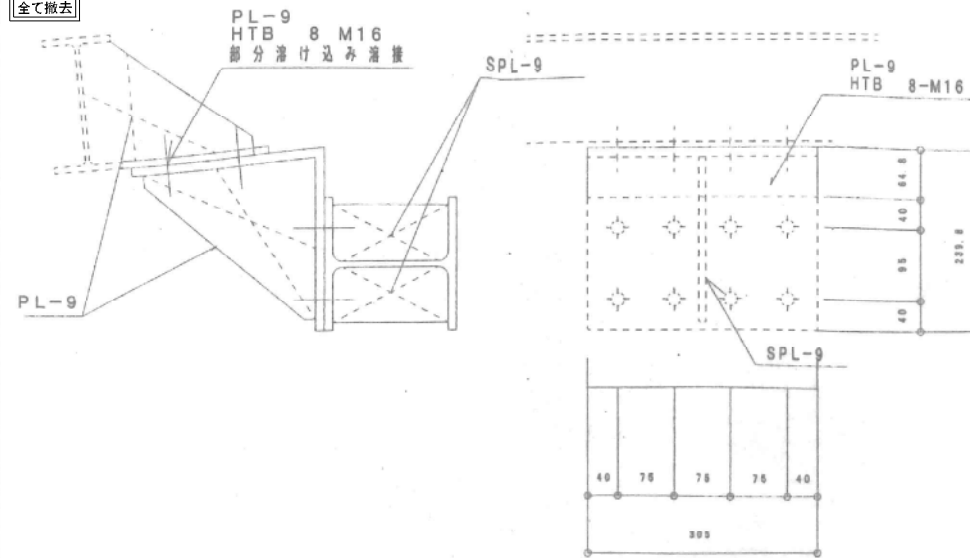
C圖擴大(2F)

 $\beta = 1/5$

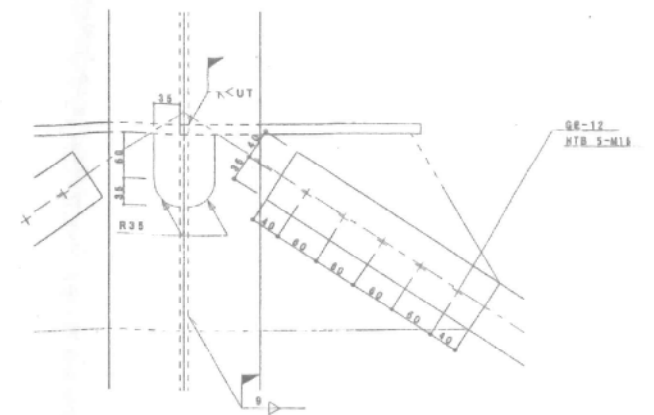
全て撤去



全て撤去



全て撤去



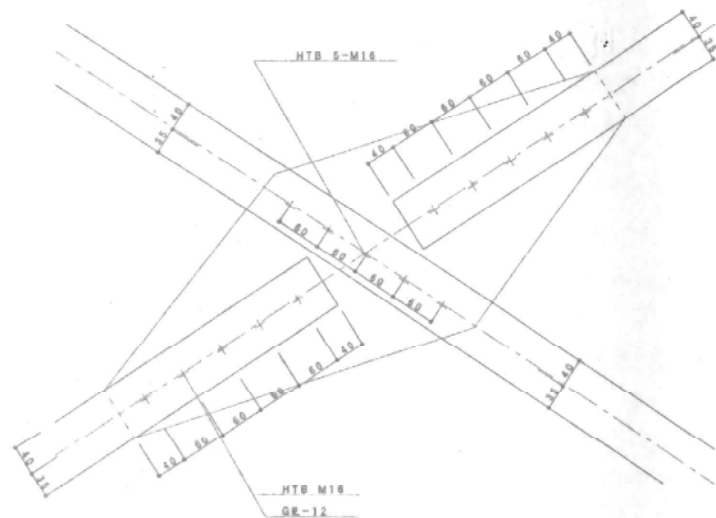
E 図詳細 (2 F)

$$S = 1/5$$

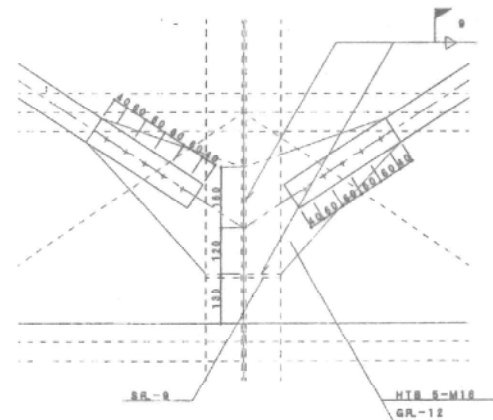
F圖放大 (2 F)

S = 1 / 10

全て撤去



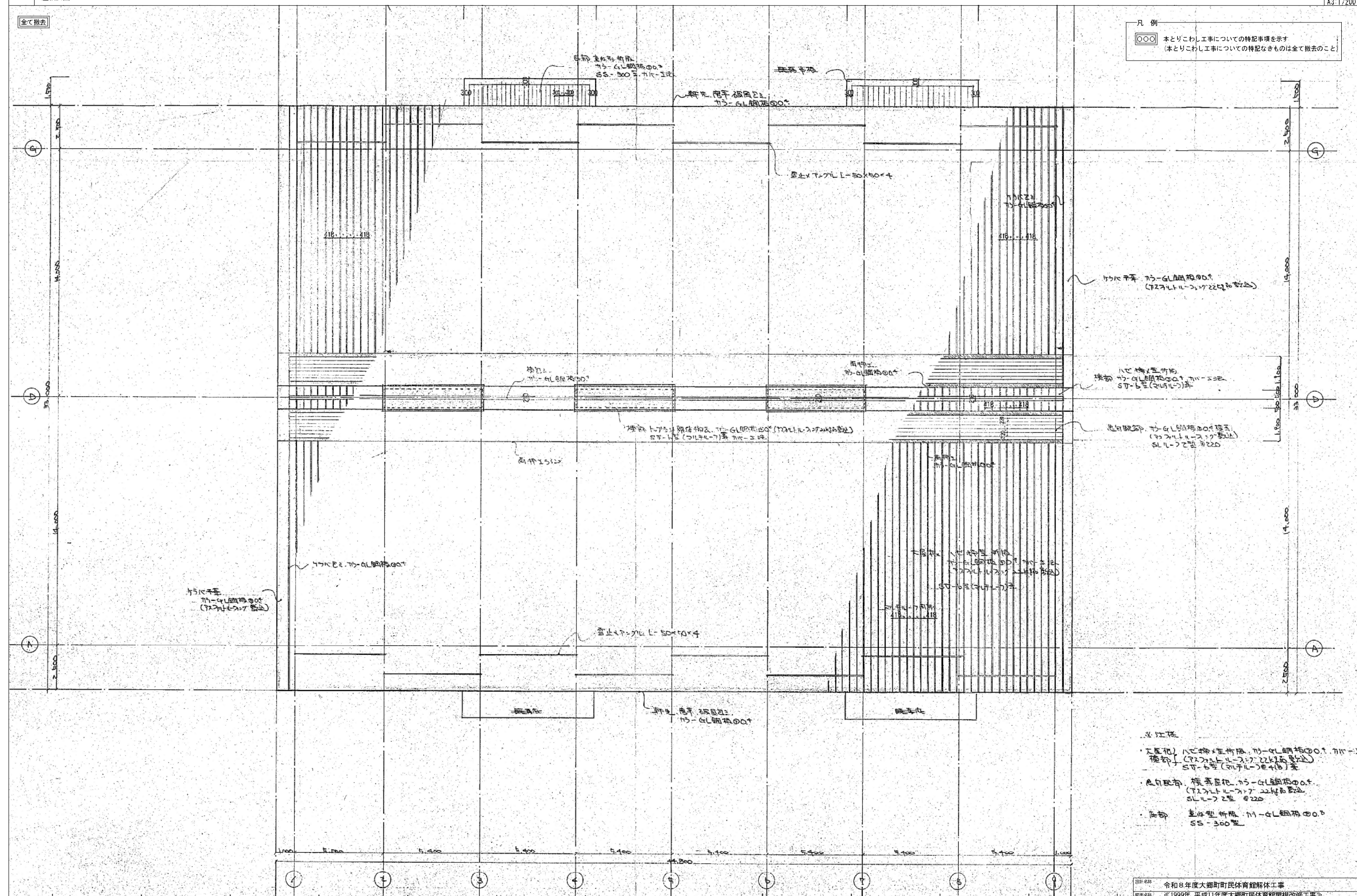
全て撤去



設計名称	令和8年度大郷町町民体育館解体工事				
図案名称	《2008年 平成20年度 大郷町民体育館耐震補強工事》 鉄骨詳細図2				
縮 尺	A1:1.5/10 A2:1.10/20	年 月	R08.05	設計番号	図案番号 A - 17
大 郷 町					

凡 例

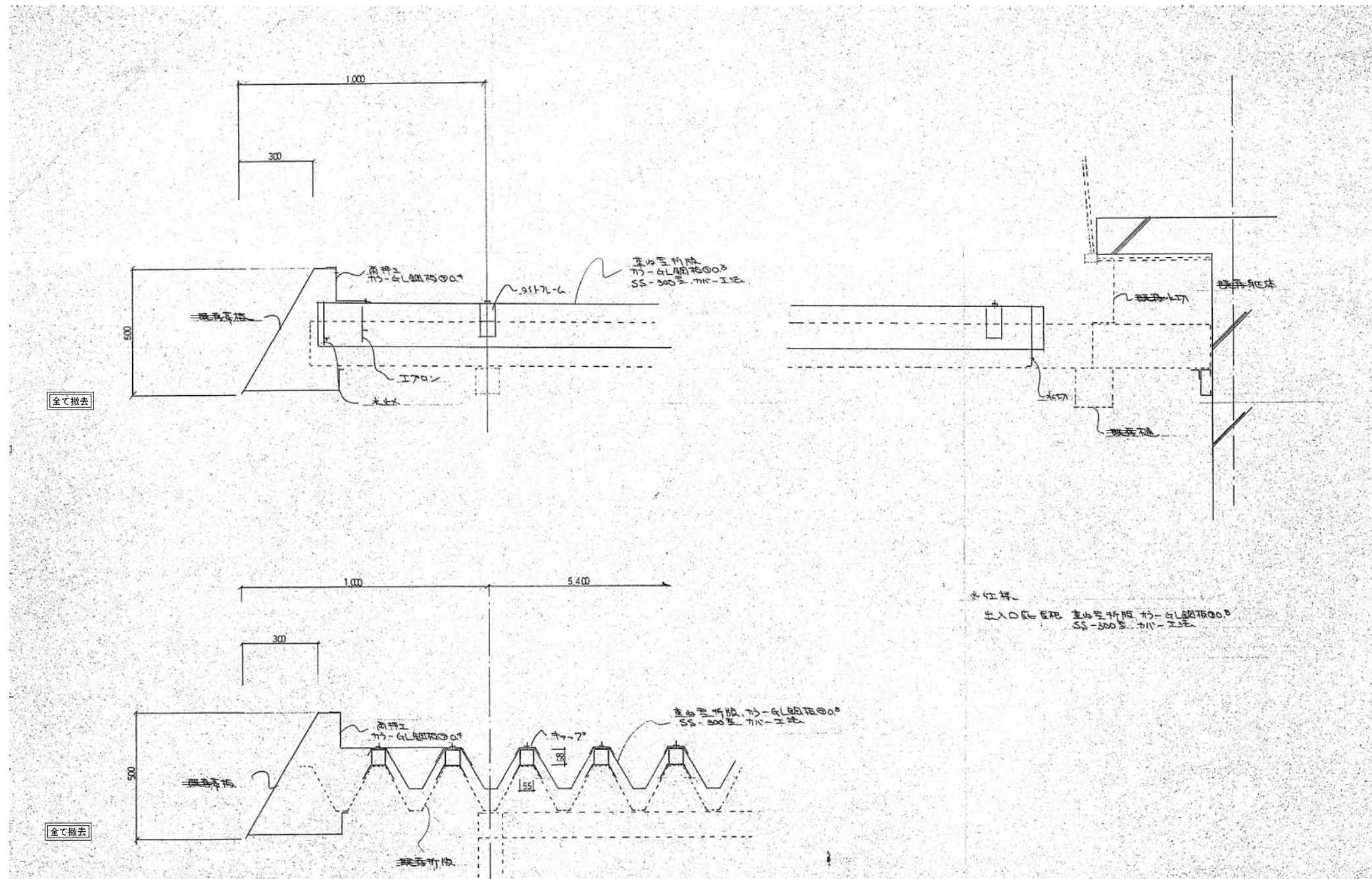
 本とリこわし工事についての特記事項を示す
(本とリこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



設計名稱	令和8年度大郷町町民体育館解体工事				
調査名称	《1999年 平成11年度大郷町民体育館屋根改修工事》 屋根伏図				
縮 尺	A1:1/150 A3:1/250	年 月	R08.05	設計番号	調査番号 A-18

—凡 例—

本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



設計名称	令和8年度大郷町町民体育館解体工事				
図面名称	≪1999年 平成11年度大郷町民体育館屋根改修工事≫ 底詳細図				
縮 尺	A1:1/10 A2:1/20	年 月	R08. 05	設計番号	図面番号 A - 20
大 郷 町					

凡例

〇〇〇

本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

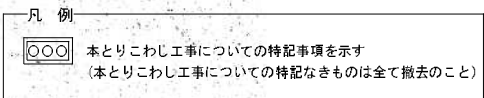
断面表示記号

1:100	1:30 1:50	種 類
I	II	改修箇所
		コンクリート柱・壁
		コンクリート床・床下
		木造肉付切壁

別図参照

内 部 仕 上 表									
室 名	床	巾 木	塗 装	腰	塗 装	壁	天 井	備 考	
客 食 台	アクリル樹脂の床 (特記無き) 樹脂の床	ワゴン H:180	0.P	合板 ⑨%、目張り板 (T)	0.P	全 左	木造板 (細) ②5% VP	鉄骨部 0.P	カーテンBOX取付、ネット母アリ取付、床下フロア等
ス テ ー ジ	アクリル樹脂の床 (特記無き) 樹脂の床	全 上	0.P	化粧合板 ⑥%、一部フロア板		全 左	フローリング取付		
ボ イ ラ リ ー	アクリル樹脂の床 ②0	ワゴン H:100	0.P	合板 ⑨%、目張り板 (T)	0.P	全 左	木造板 (細) ②5% VP	鉄骨部 0.P	アクリル樹脂の床 (特記無き) 樹脂の床
地下スラブ下等取付部	木造板 (細) ②5% VP	全 左		全 左		全 左	床組取付		アクリル樹脂の床 (特記無き) 樹脂の床
改 造 部	アクリル樹脂の床 ②0 (木下板)	ワゴン H:100	0.P	合板 ⑨% (T)、目張り板	0.P	全 左	フローリング ②0		フローリング (特記無き) 樹脂の床
改 造 部	アクリル樹脂の床 ②0	ワゴン H:100	0.P	全 上		全 左	全 上		
客 食 席	全 上	全 上		全 上		全 左	全 上		
手 洗 室	全 上	全 ト		フローリング (細) ②12%	VP	全 左	全 上		
脱 衣 室	全 上	全 上		合板 ⑨% (T)、目張り板	0.P	全 左	全 上		
シ ャ ー ジ 室	フローリング	全 左		全 左		全 左	フローリング		
機 械 室	全 上	全 左		全 左		全 左	フローリング ②0		
外 部 仕 上 表									
外 壁	(R断) 床下コンクリート (特記無き) 床下コンクリート、一部スラブ板、屋根板 ⑨% ②0、0.P、壁下板 ⑨% ②0、天井コンクリート、壁紙 ⑨% ②0 (0.P)								
窓 枠	アルミ樹脂複層ガラス、アルミ樹脂複層ガラス、木造板 (細) ②5%、壁紙 (アクリル ②0×45)、床下コンクリート、フローリング ②0、アルミ樹脂複層ガラス、特記無き								
軒 天	フローリング ②12、断熱材、断熱材 ②10、断熱材								
外 壁	断熱材、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10								
巾 木	フローリング ②12、断熱材、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10、断熱材 ②10								
大 走 廊 床 板	フローリング (H:10-15)								

1 階平面図



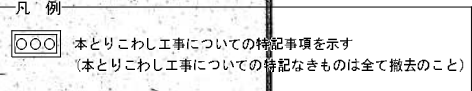
9月1日 研究

フツリトゴロウ 壁 = ヨリ 研究区画トシ

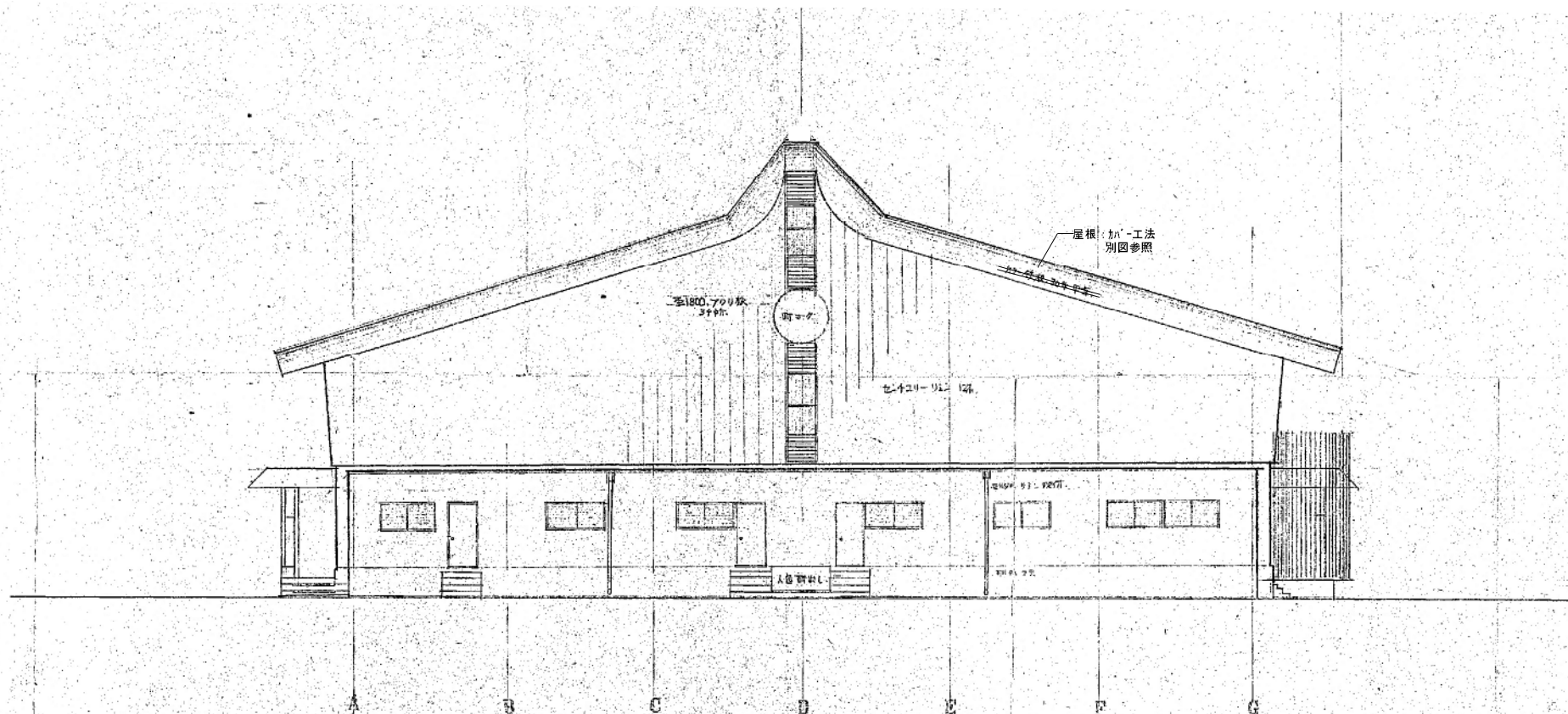
明日部ハ、スベテ 準備研究中、トエマエッ何、

植物、土、水、風、光、

記号	土	水
A	360	313
B	320	187
C	350	200
D	260	210

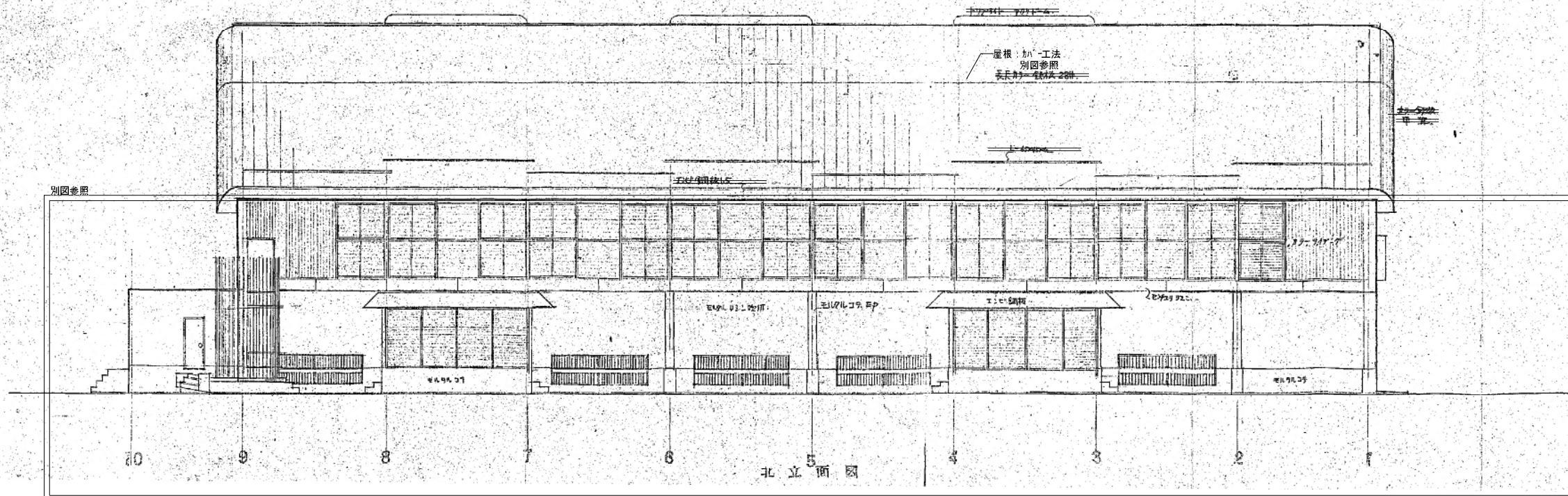


凡 例
〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



東立面図 全て撤去

1:100



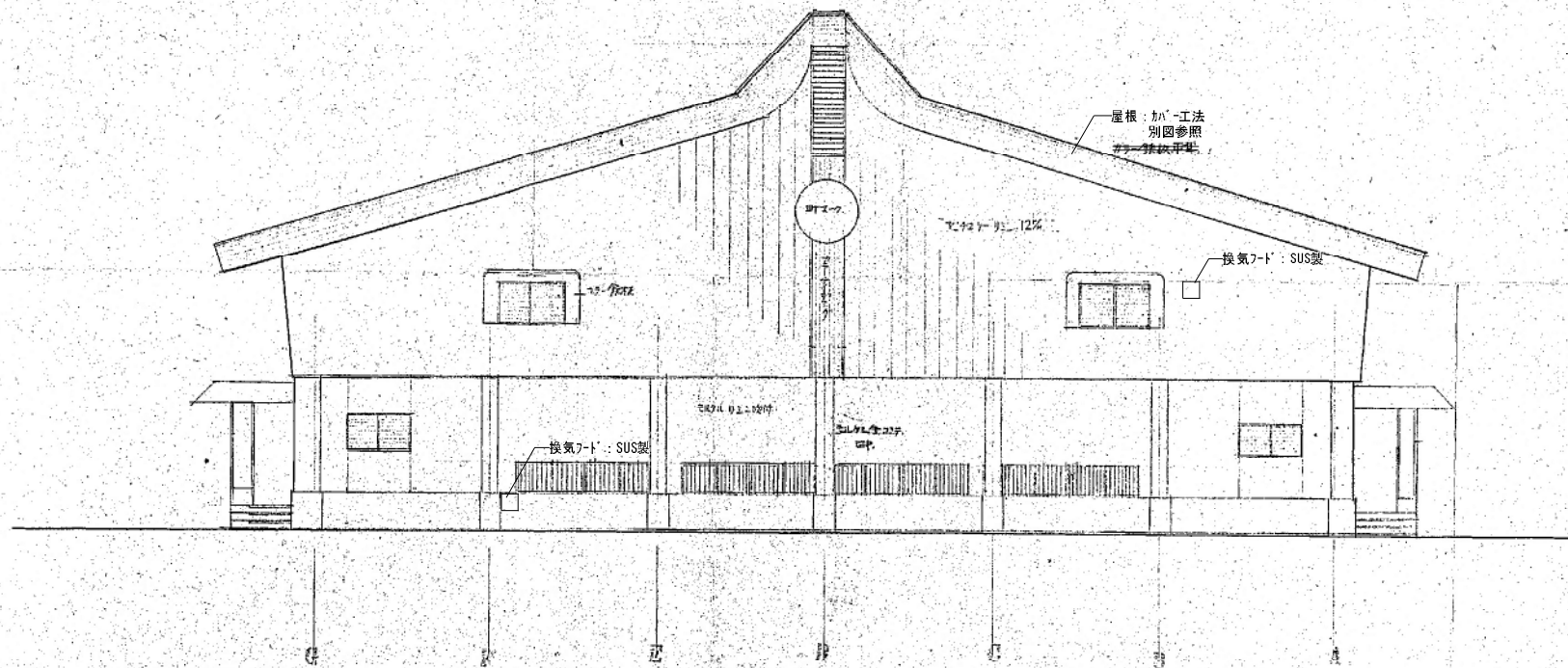
北立面図

設計名称	令和8年度大郷町民体育館解体工事			
図面名称	《1974年 富城県大郷 町民体育館新築工事》			
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年 月	R08.05	設計番号
				図面番号 A-24

大郷町

凡 例

本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



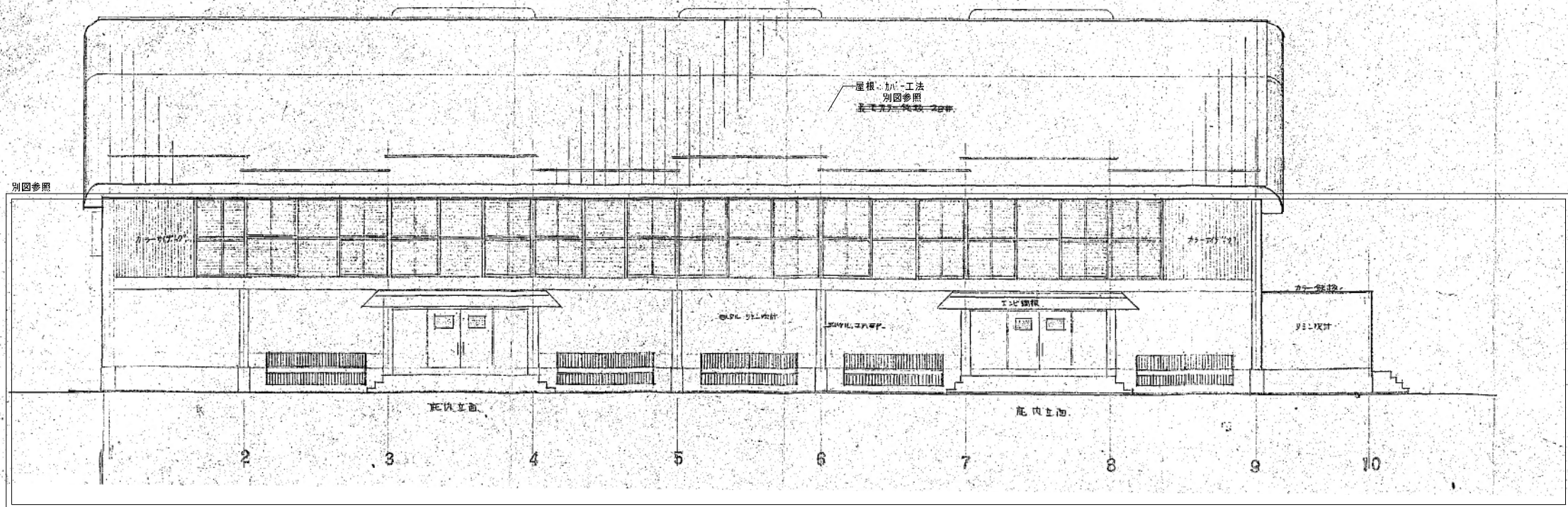
西立面図

全て撤去

1:100

南立面図

全て撤去

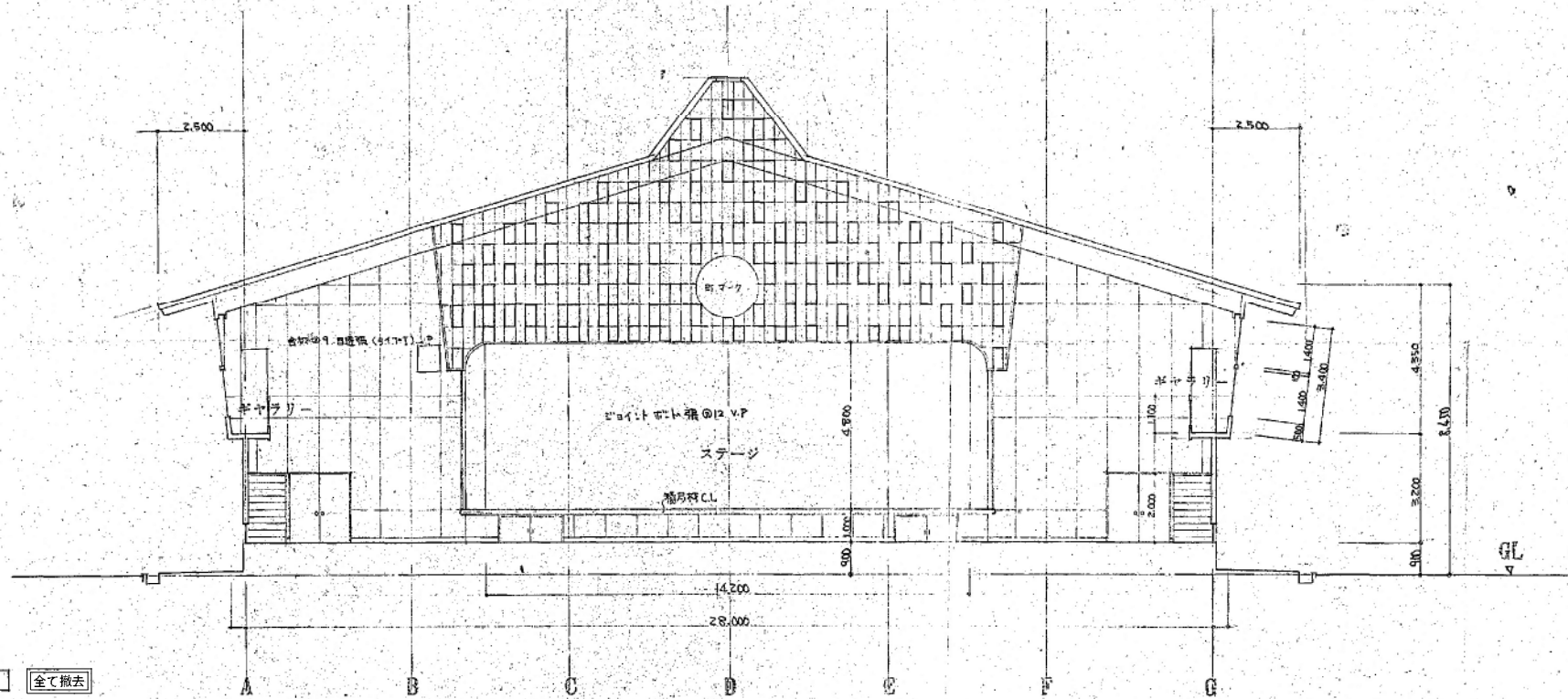


別図参照

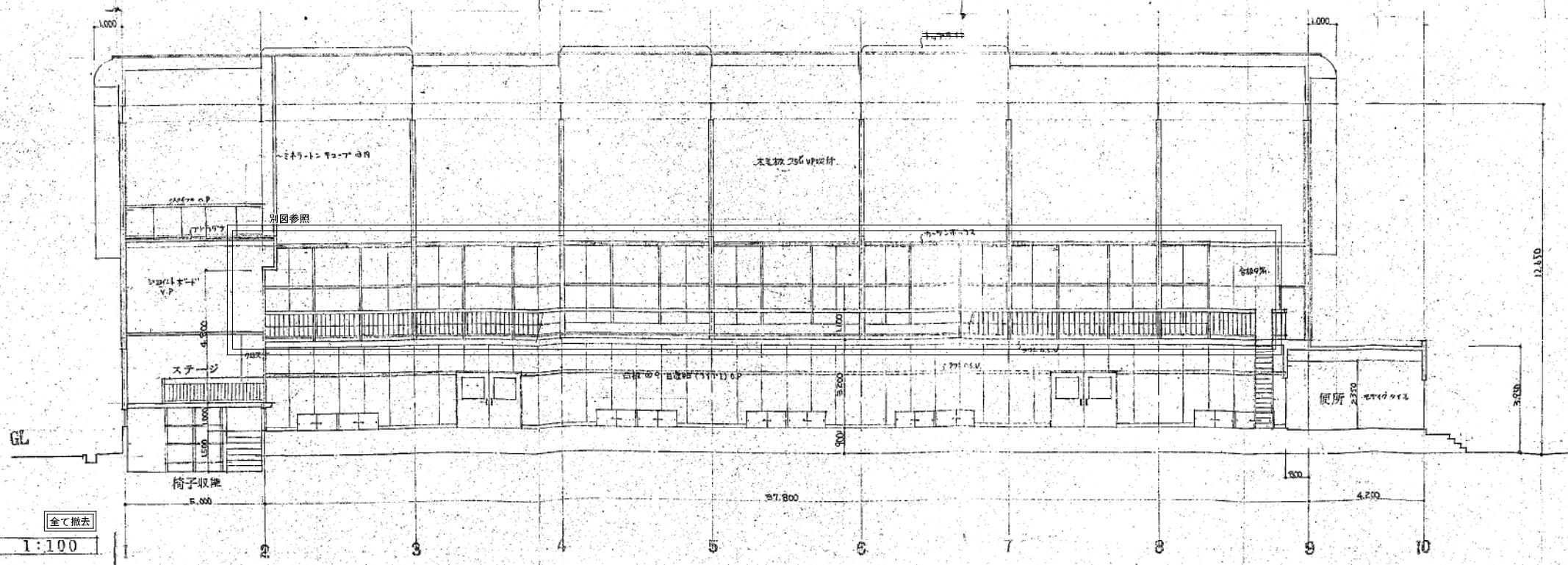
設計名称	令和8年度大郷町町民体育館解体工事			
図面名称	〈1974年 宮城県大郷町町民体育館新築工事〉			
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年 月	R08.05	図面番号
		設計番号	A-25	

大郷町

凡 例
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

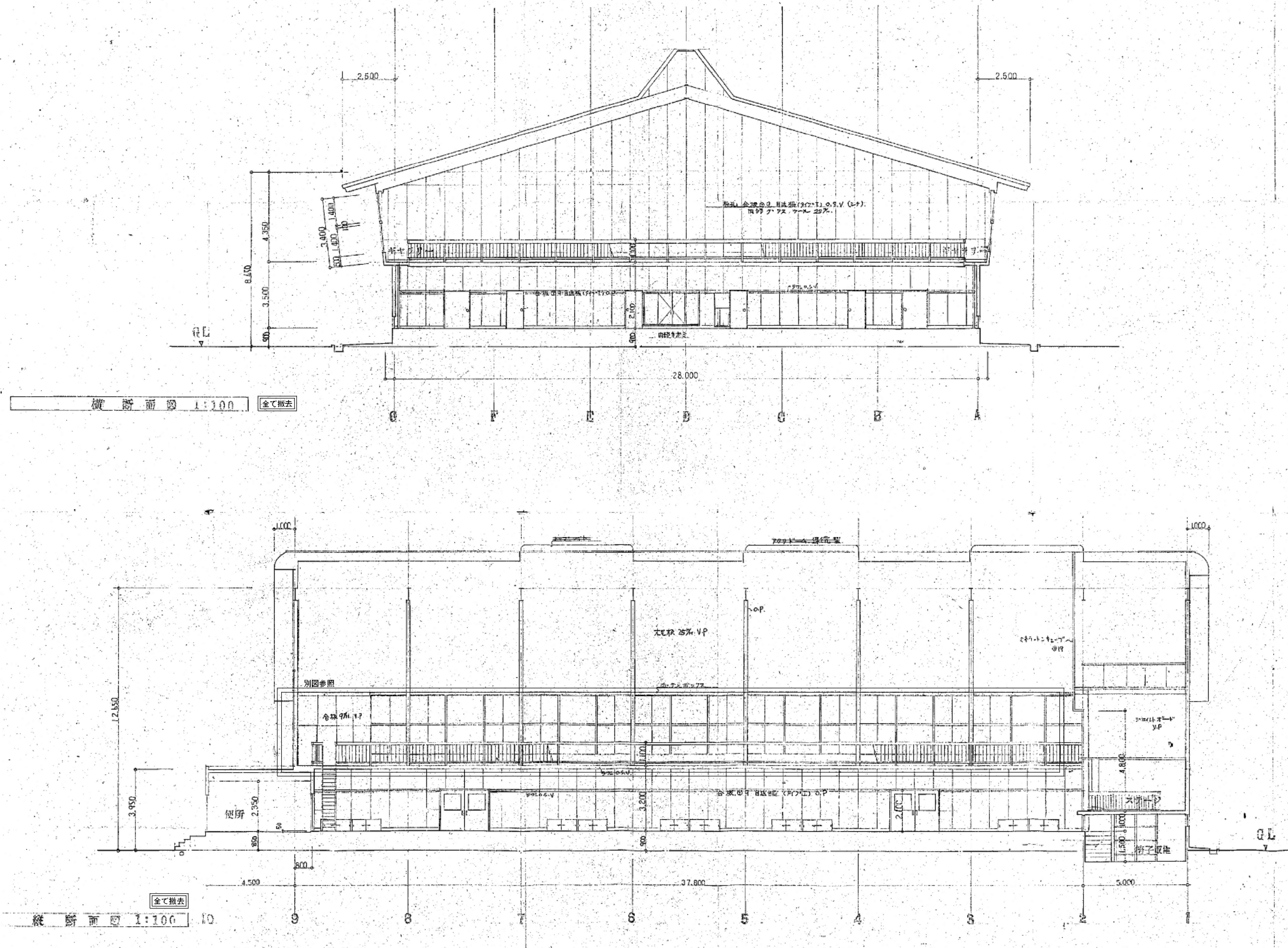


ステージ横断面図 1:100 全て撤去



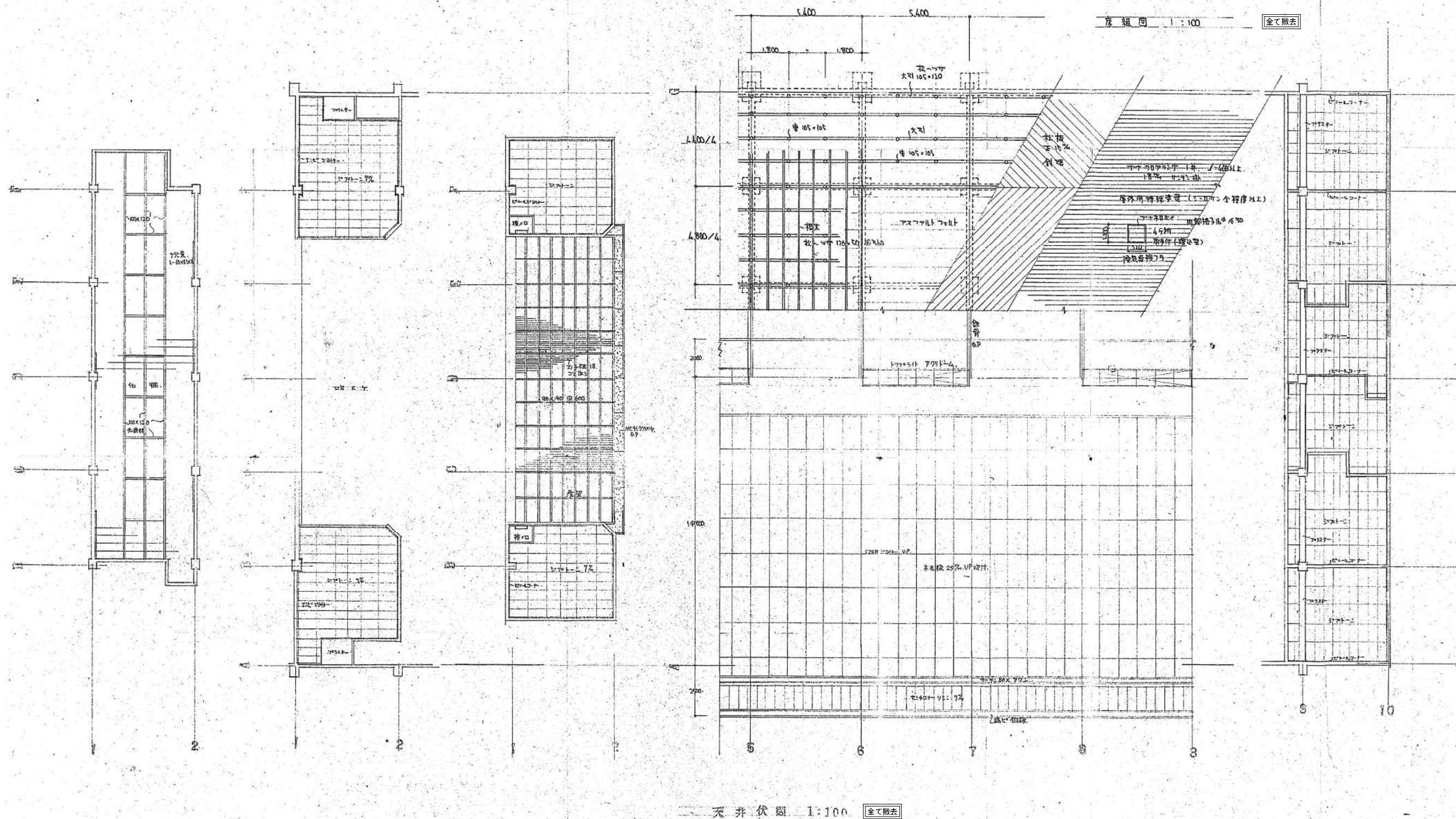
縦断面図 1:100 全て撤去

凡 例
〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

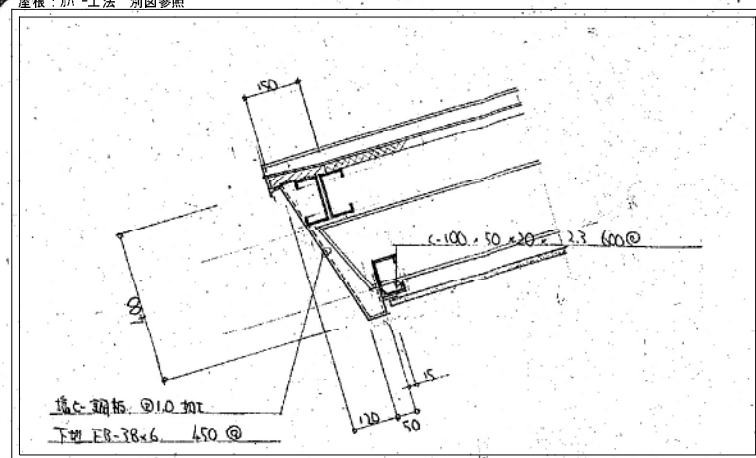


凡 例

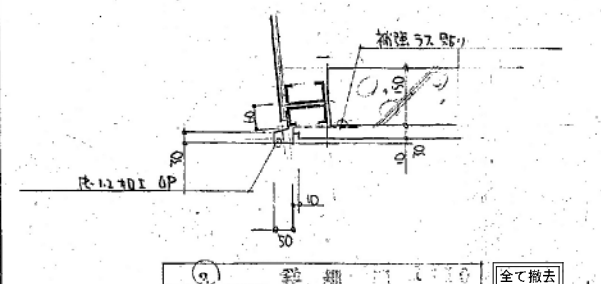
 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



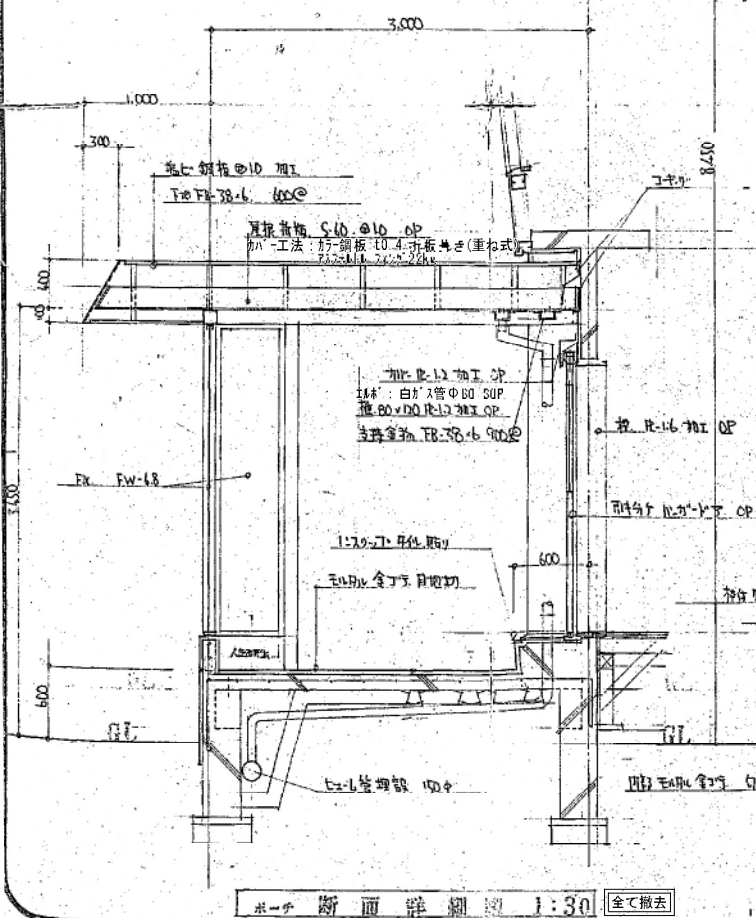
屋根：加'-工法 別図参照



(7) 詳細図 1:30 全て撤去

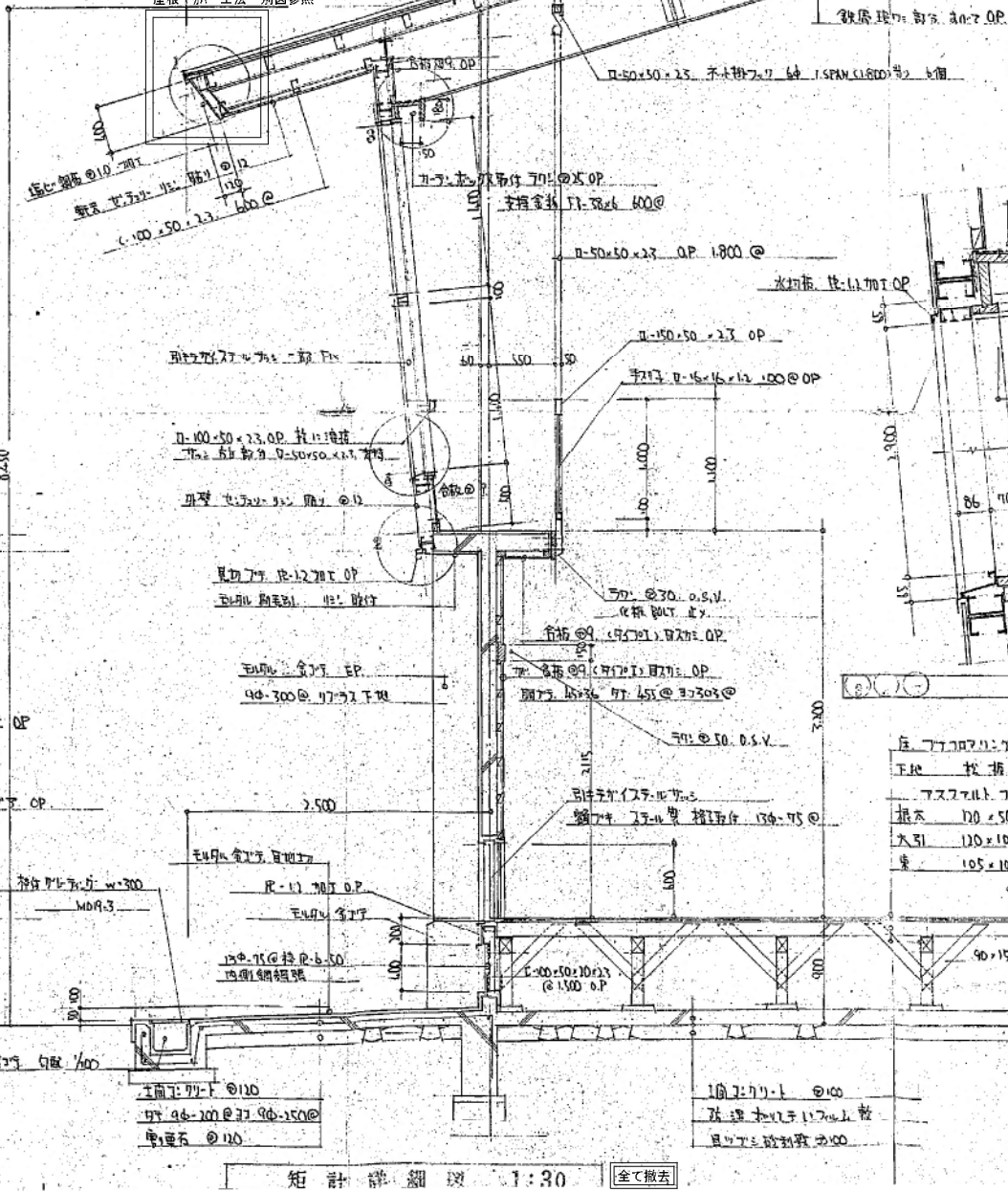


(8) 詳細図 1:30 全て撤去



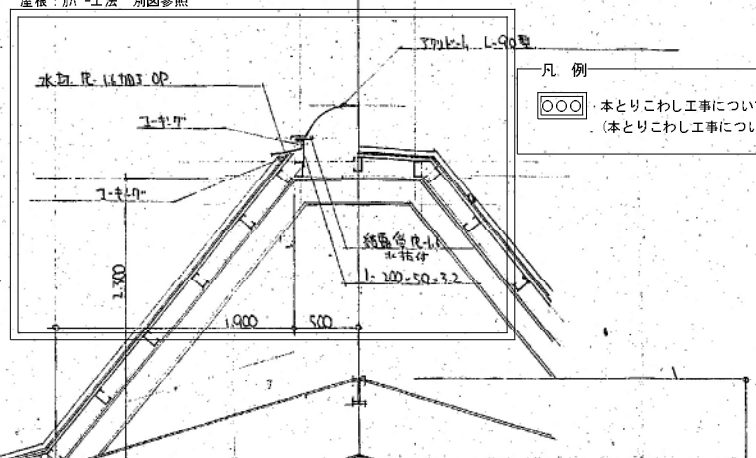
ローテ 断面詳細図 1:30 全て撤去

屋根：加'-工法 別図参照

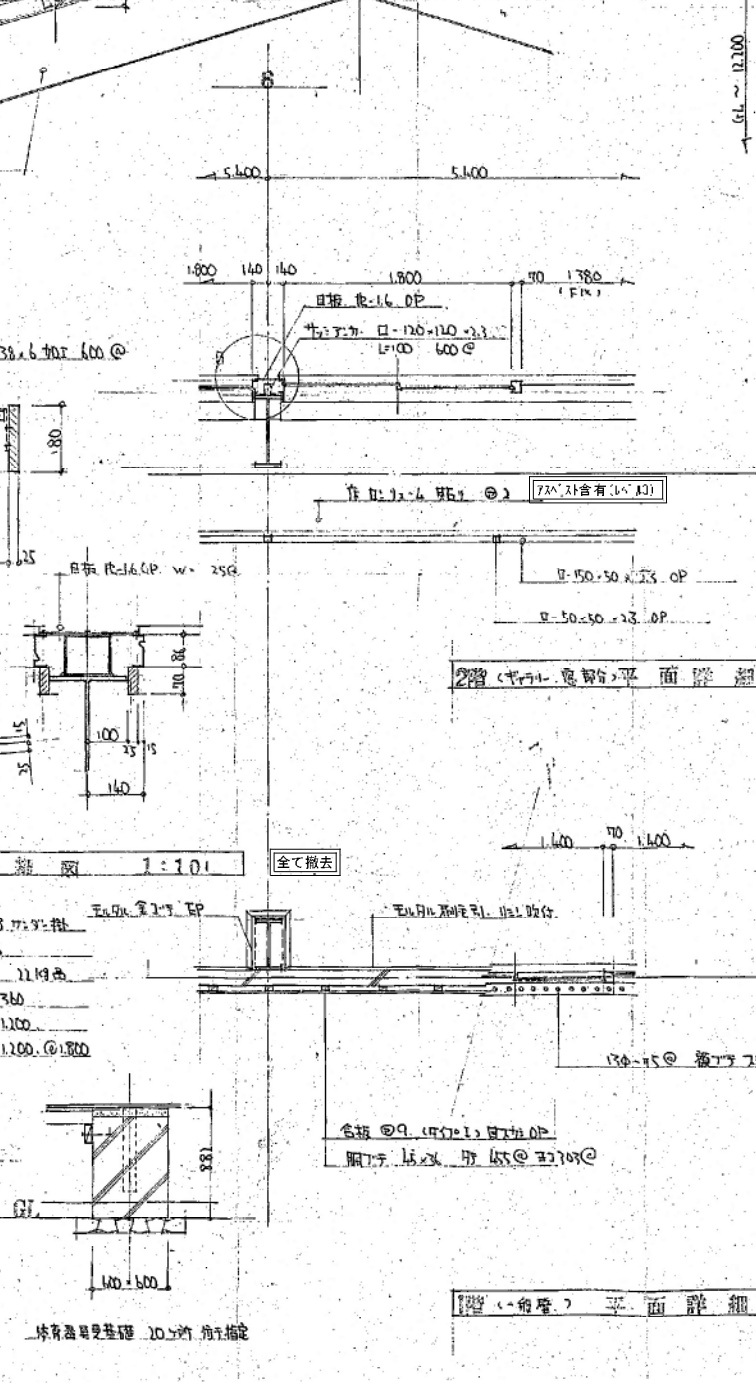


矩計詳細図 1:30 全て撤去

屋根：加'-工法 別図参照



凡例
○ ○ ○ 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



全て撤去

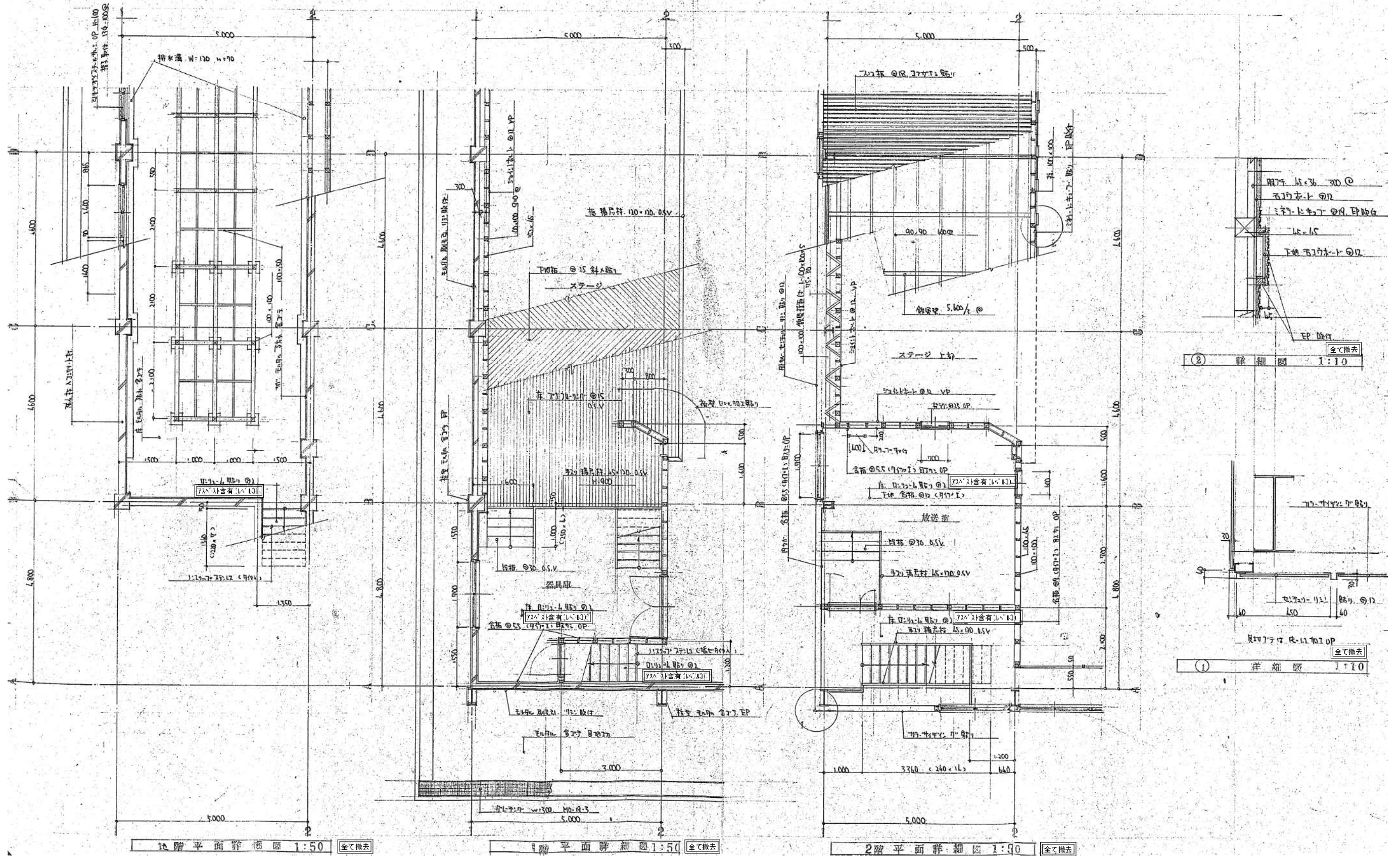
2階（ベランダ）平面詳細図 1:30

全て撤去

2階（ベランダ）平面詳細図 1:30

全て撤去

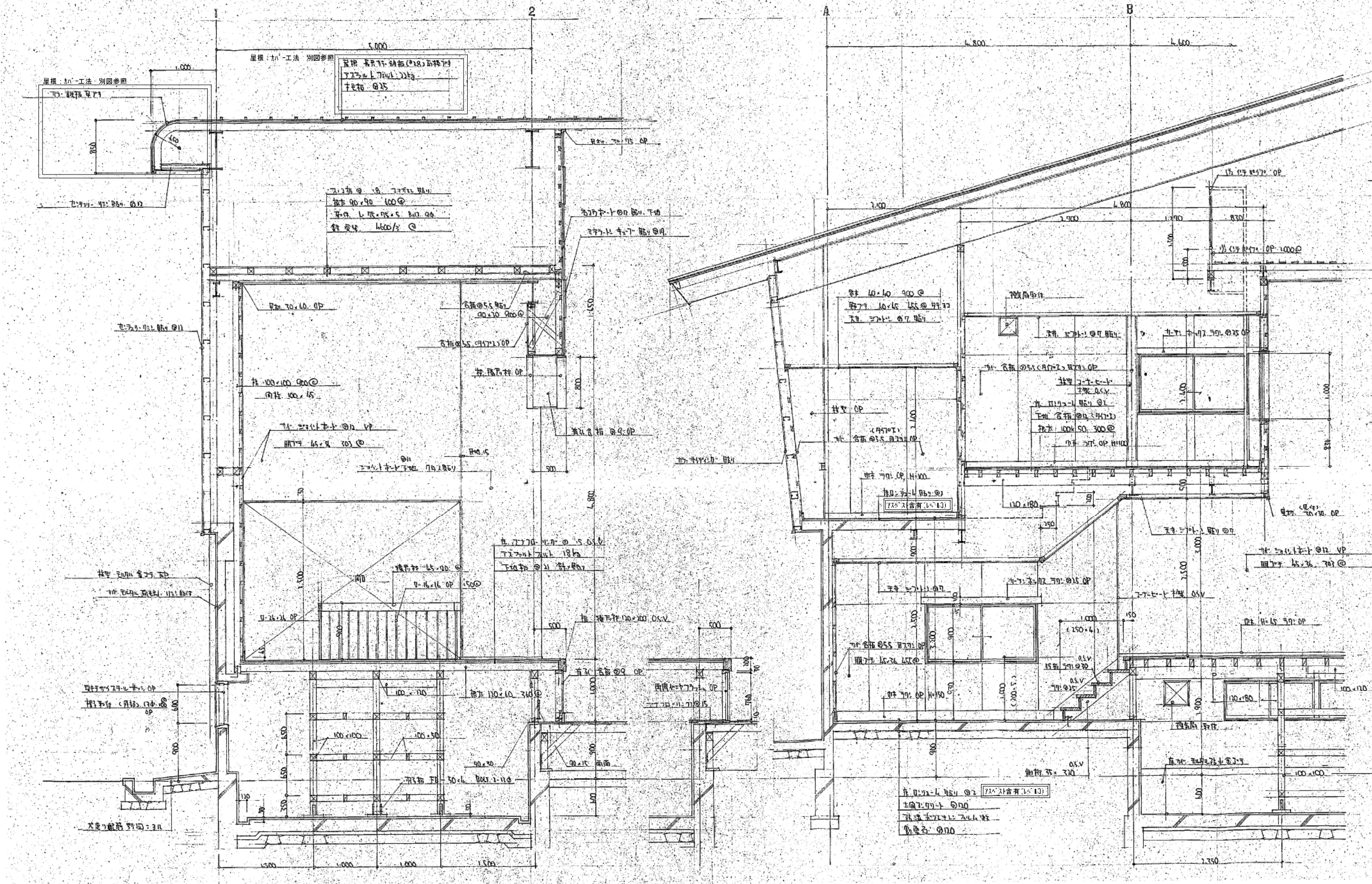
凡 例
〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

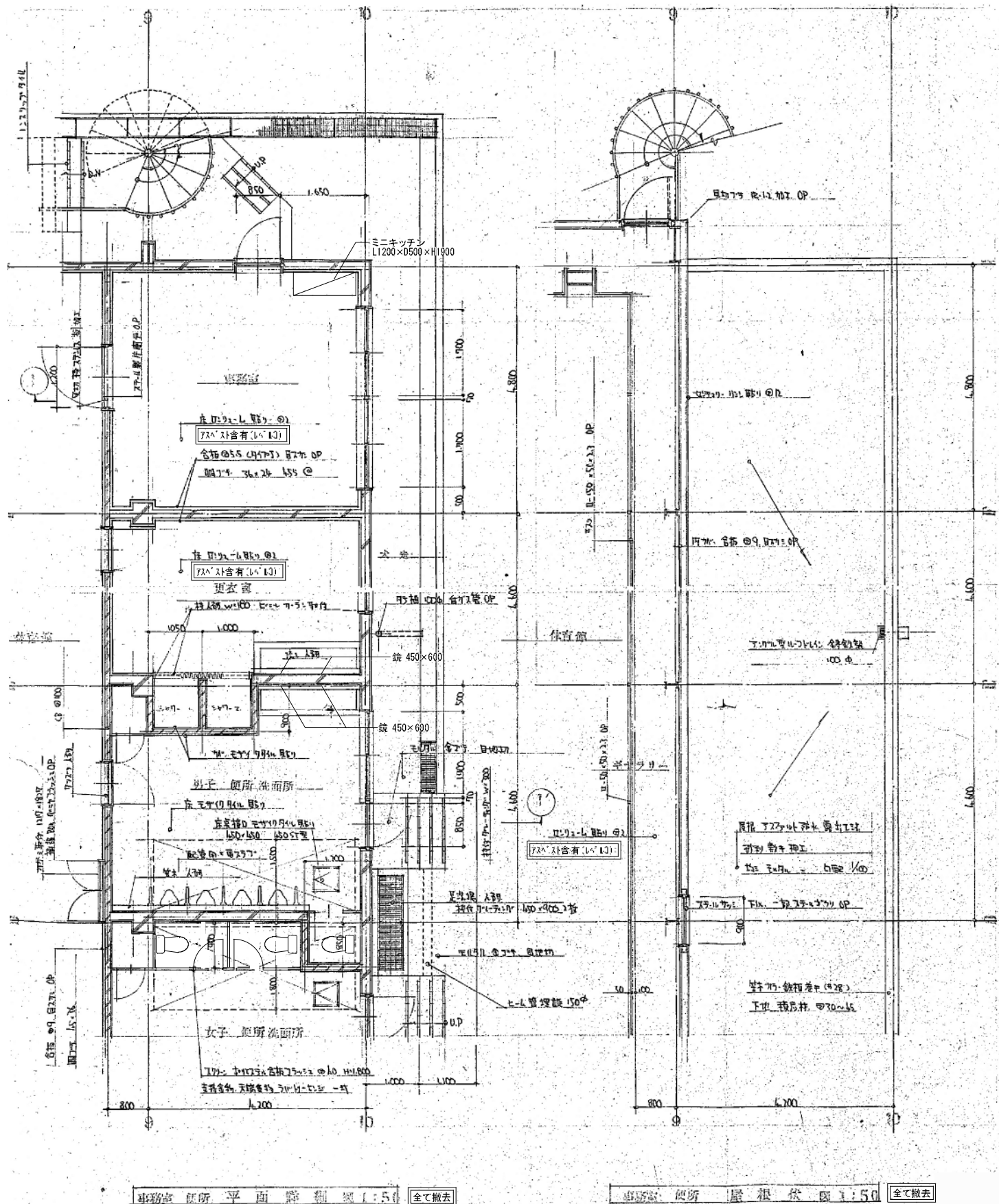


凡 例



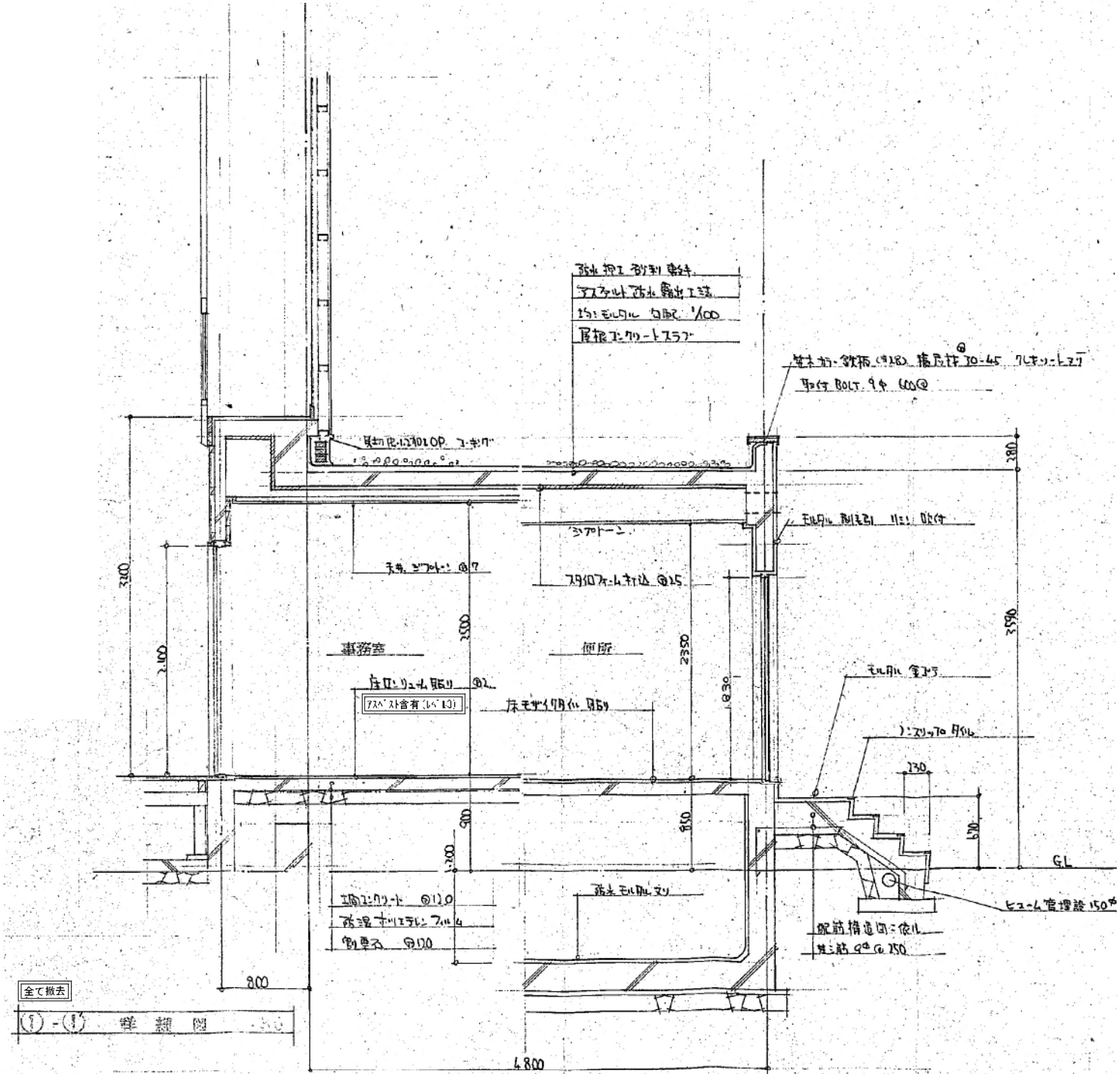
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

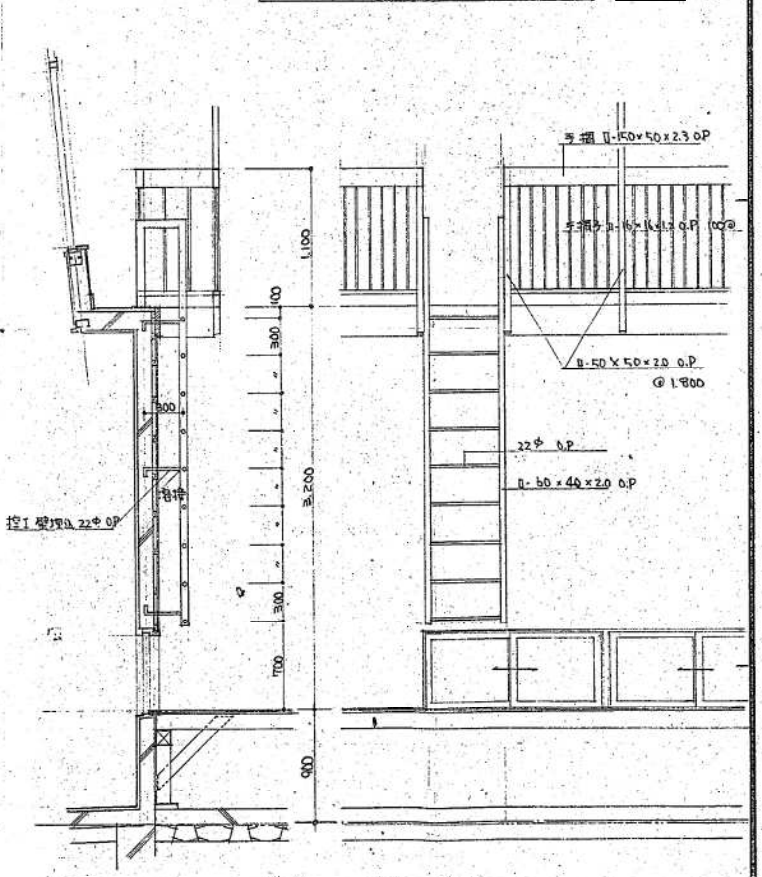
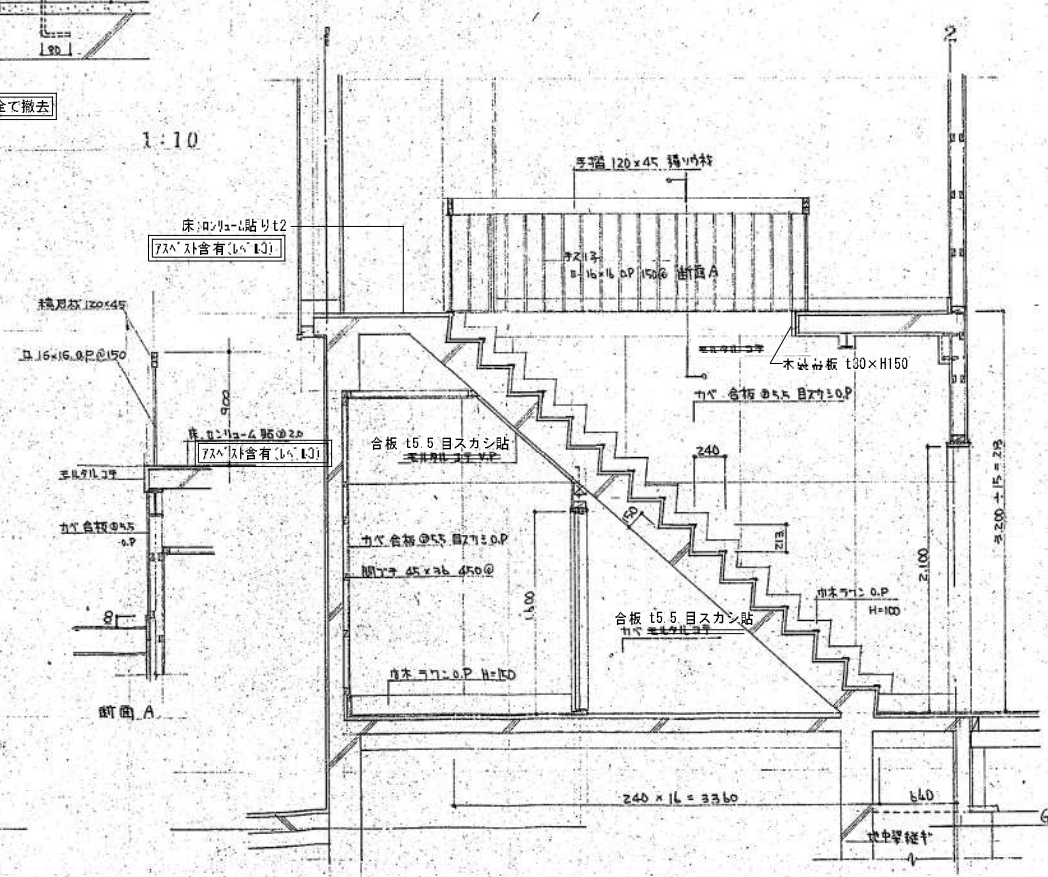
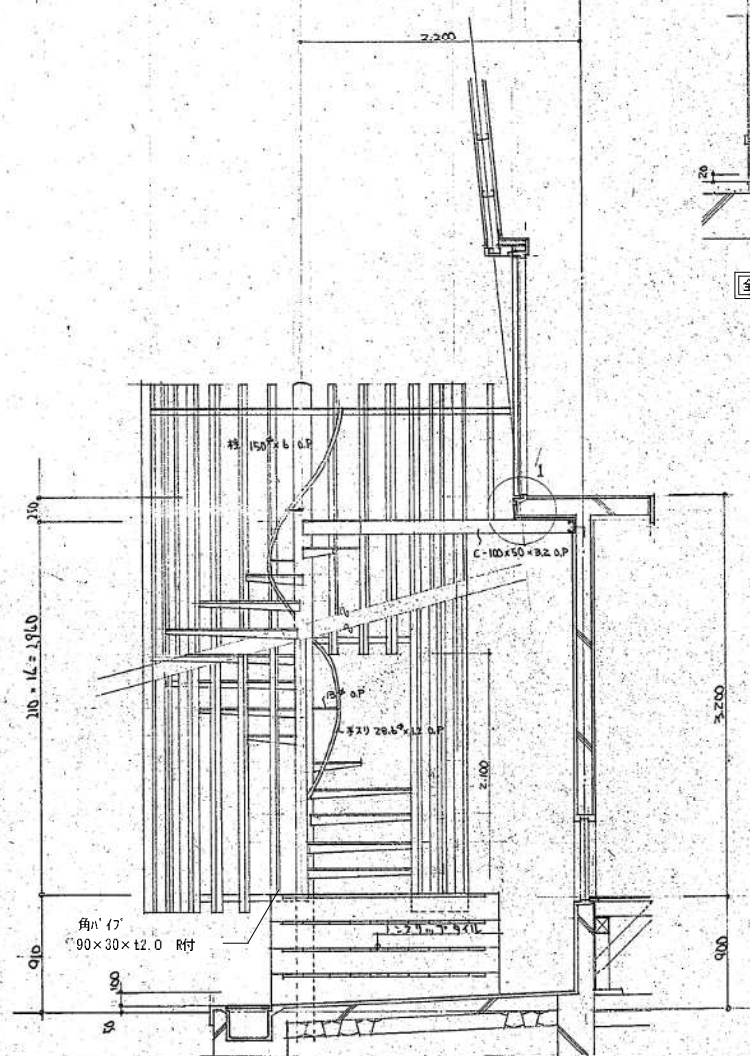
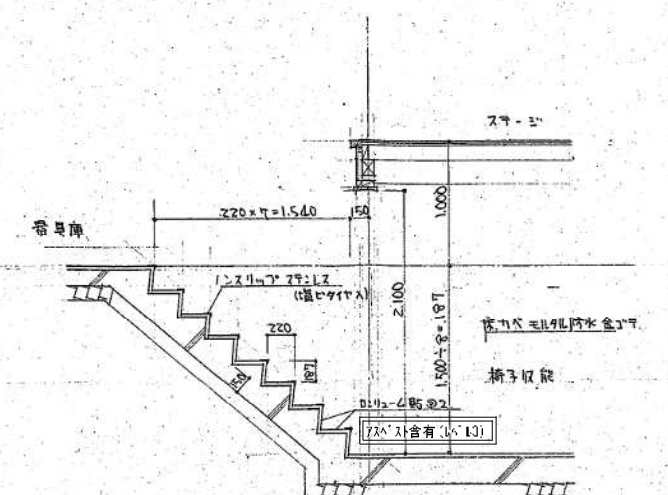
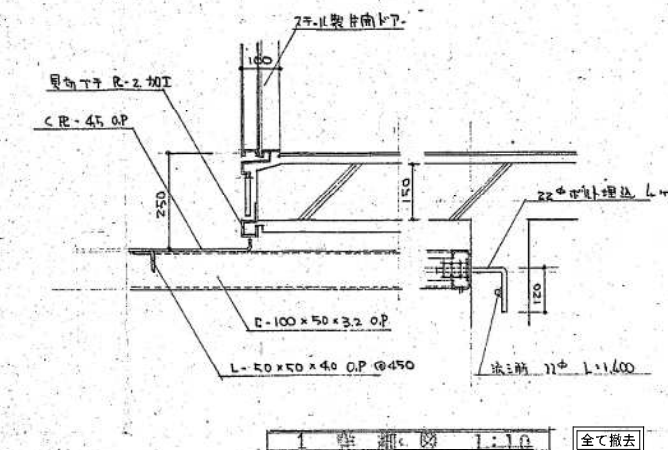
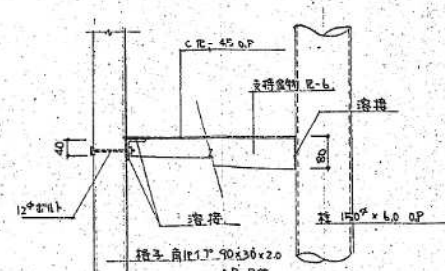
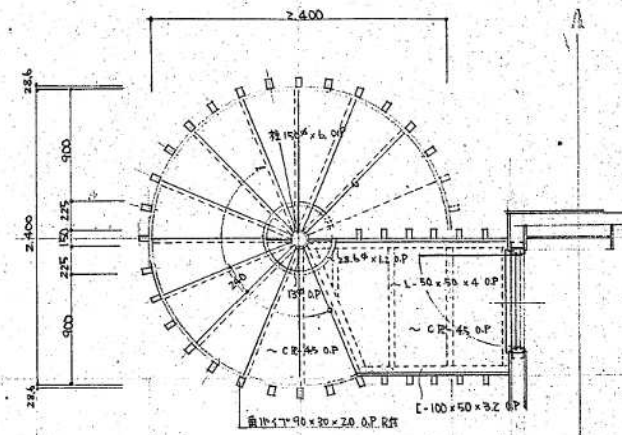




凡 例

○×○× 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



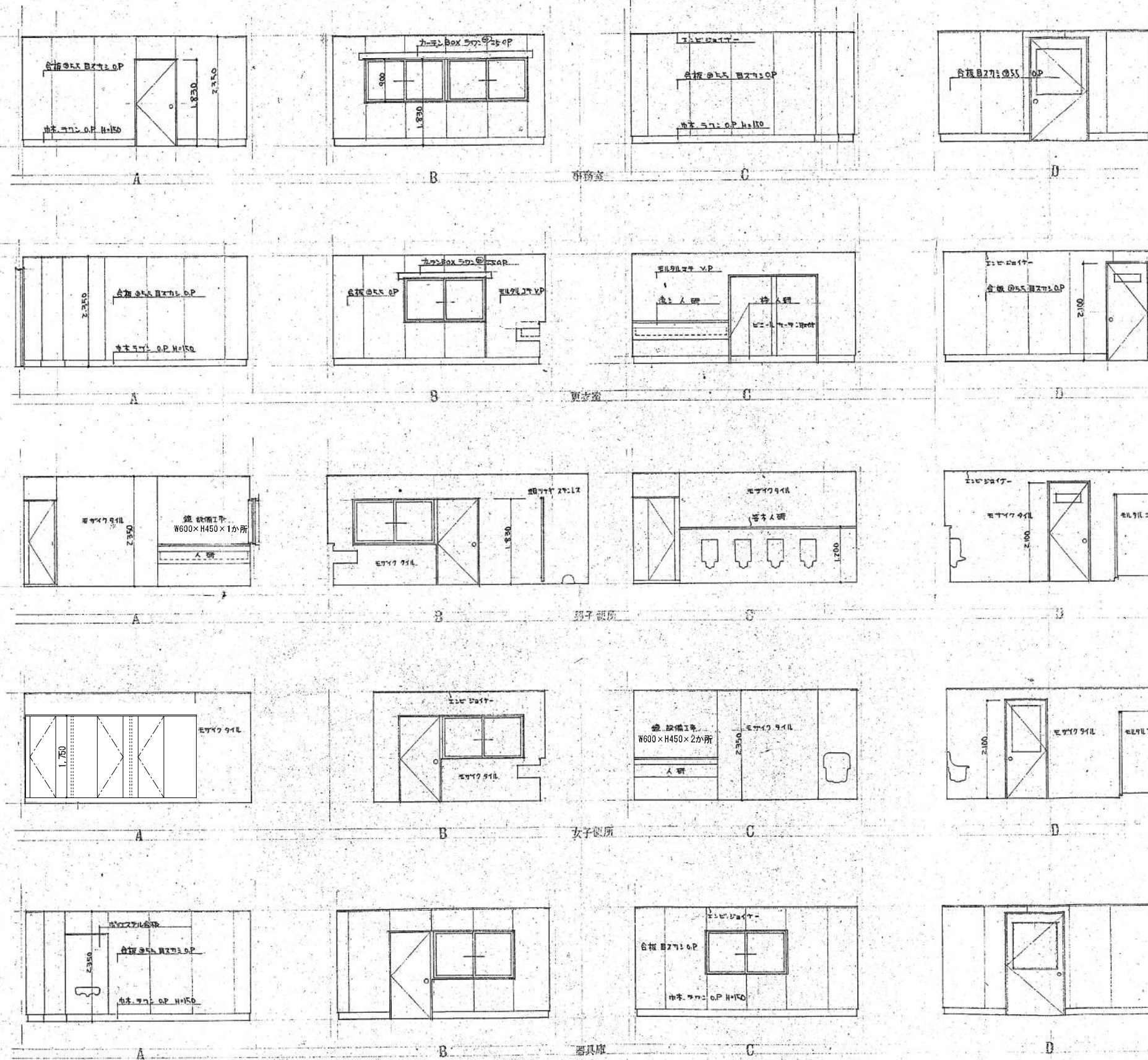


飲甘酒段 所 面 積 1:30 全て撤去

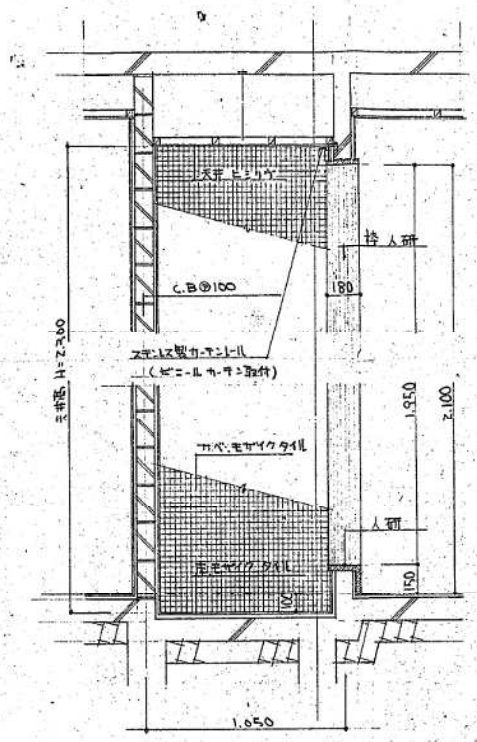
器具庫階段 詳細図 1:30 全て鉄

固定梯子 詳細図 1:30

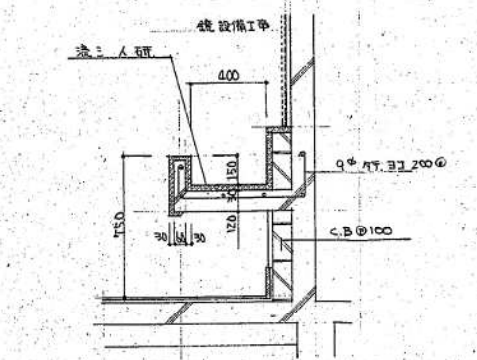
室内展開図 1:50 全て撤去



凡 例
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



断面図 1:20 全て撤去

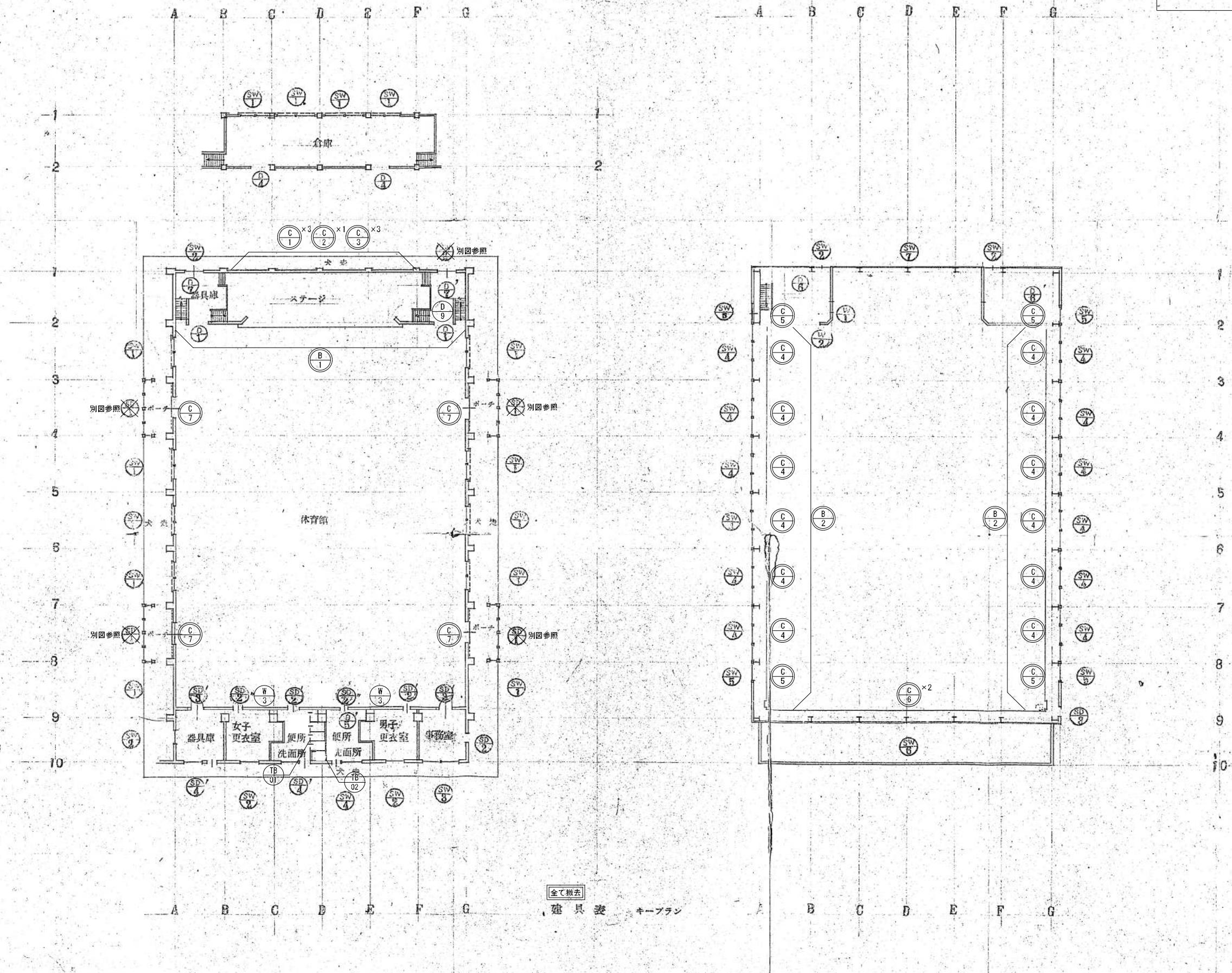


断面図 1:20 全て撤去

凡 例
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

カーテン・防球ネット 撤去			
記号	W	H	数量
C-1	16,200	2,000	3
C-2	16,200	4,800	1
C-3	16,200	5,800	3
C-4	5,250	2,980	12
C-5	1,900	2,980	4
C-6	1,160	3,010	2
C-7	2,280	1,500	4
B-1	25,600	7,000	1
B-2	27,000	1,950	2

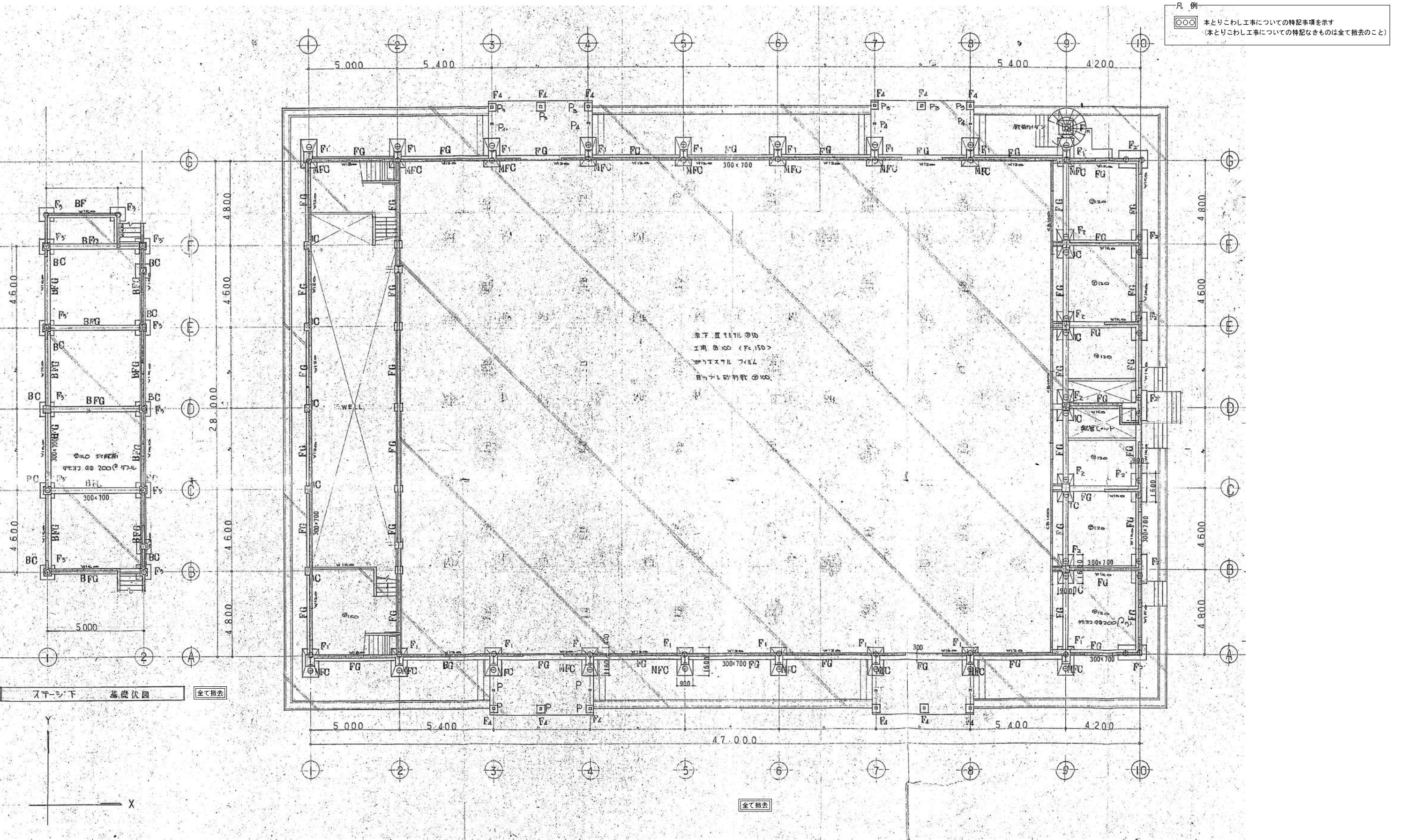
撤去カーテン・防球ネットを示す



[illegible]

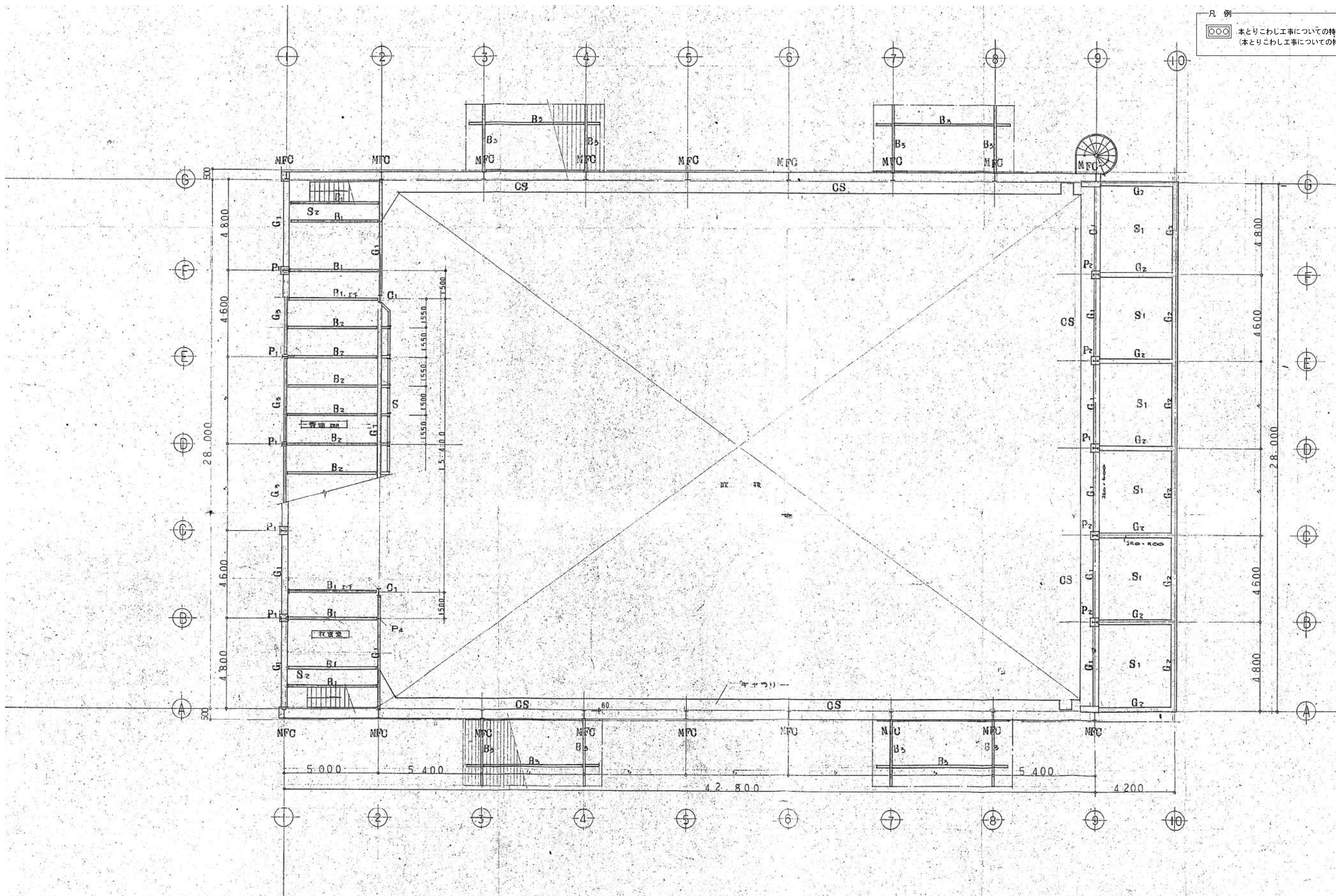
- | オラシ番号 | 仕付 特記事項 | |
|-------|------------|-----------------|
| P | 普通板 | 2, 3, 5, 6 |
| S | 銀板 | 5, 6, 8, 10, 12 |
| H | 電板 | 2, 4, 6 |
| HS | 銅線取板 | アル 普通板 3, 5 |
| HP | " | 銀板 5, 6 |
| GRS | " | アル 普通板 3, 5 |
| R.R. | " | アル 3, 5 |
| GRP | " | アル 銀板 5, 6 |
| BRP | " | アル 3, 5, 6 |
| FW | 銅入電板 | 68 |
| PW | " | 58 |
| HPW | 銅線取アル 銅入電板 | 68 |
| GRPW | " | 68 |
| BRPW | " | 68 |

記号						
	01 TB	02 TB	9 D			
※ 寸 法						
形 式 ・ 見 込	トリアース	40	トリアース	40	片引戸	36
室 名 ・ 数 量	女子便所	1	男子便所	1	控室	1
仕 上 ・ 硝 子	ガラス強化複合板	—	ガラス強化複合板	—	木製	—
金 物	表示付引戸取手、ヒンジ 戸当たり・帽子掛け ステンレス金物一式		SUS旋掘り玉、丁番、ヒンジ ステンレス金物一式		取手 煽り止、戸当たり、付属金物一式	
備 考						



全て撤去

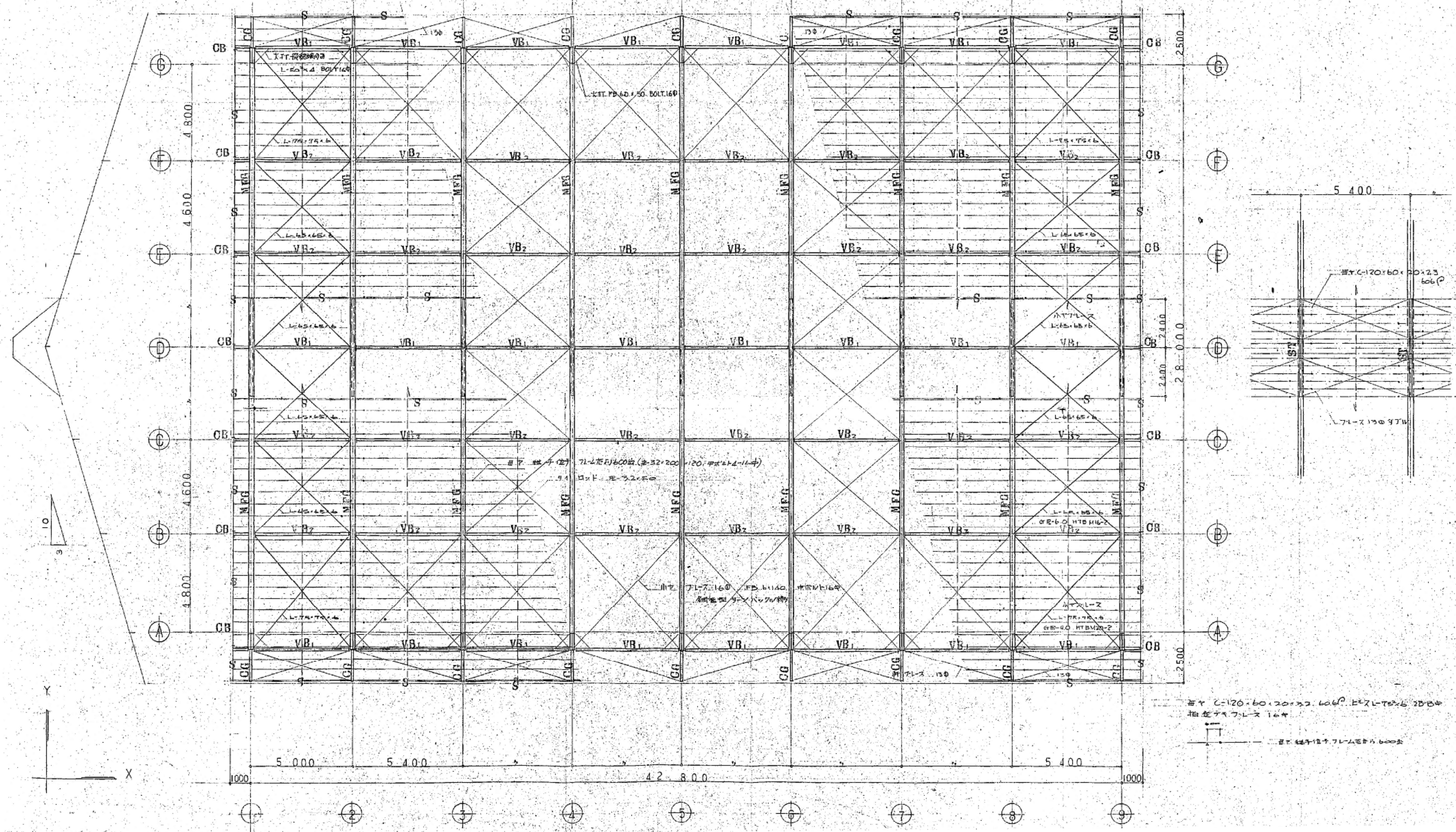
凡 例
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



全て撤去

凡 例

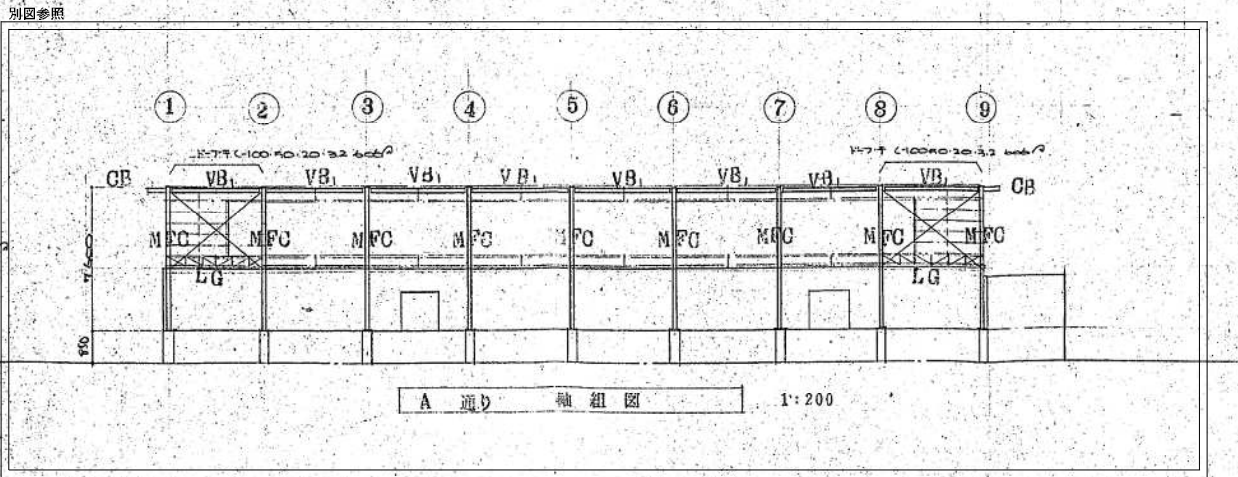
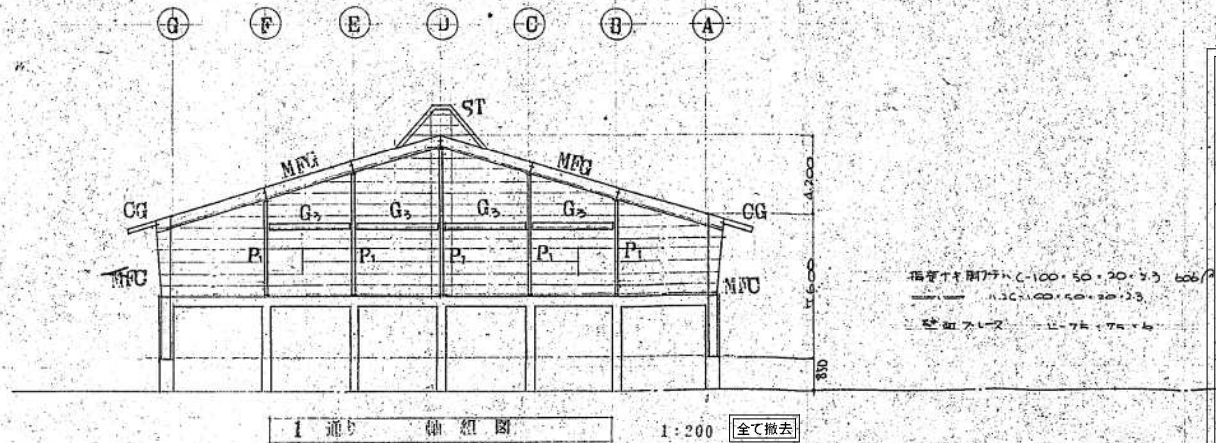
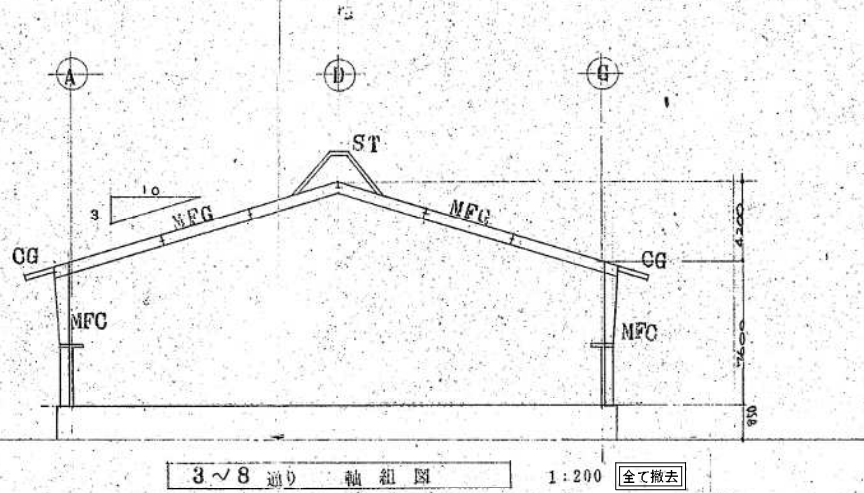
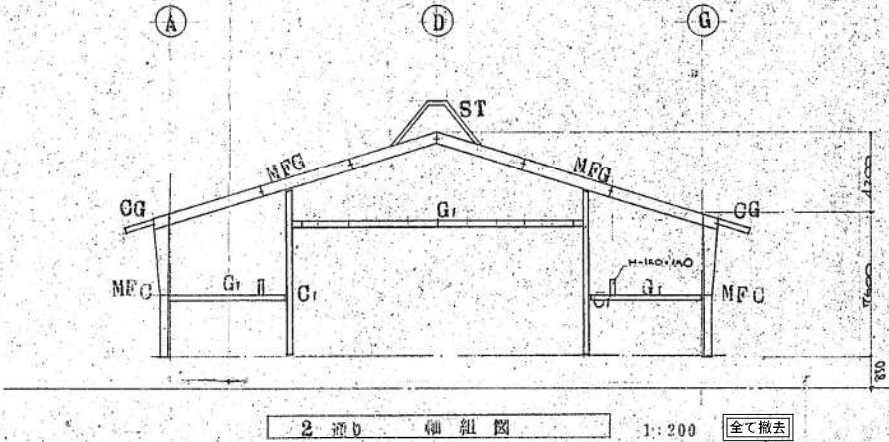
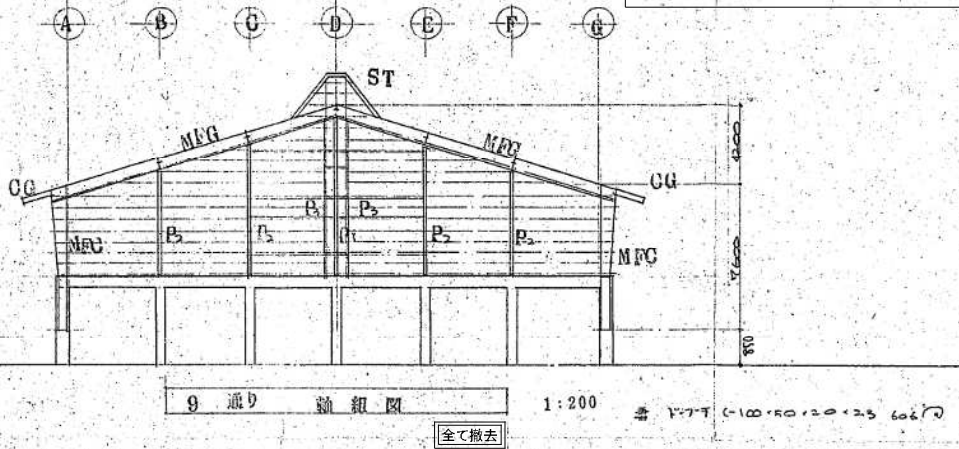
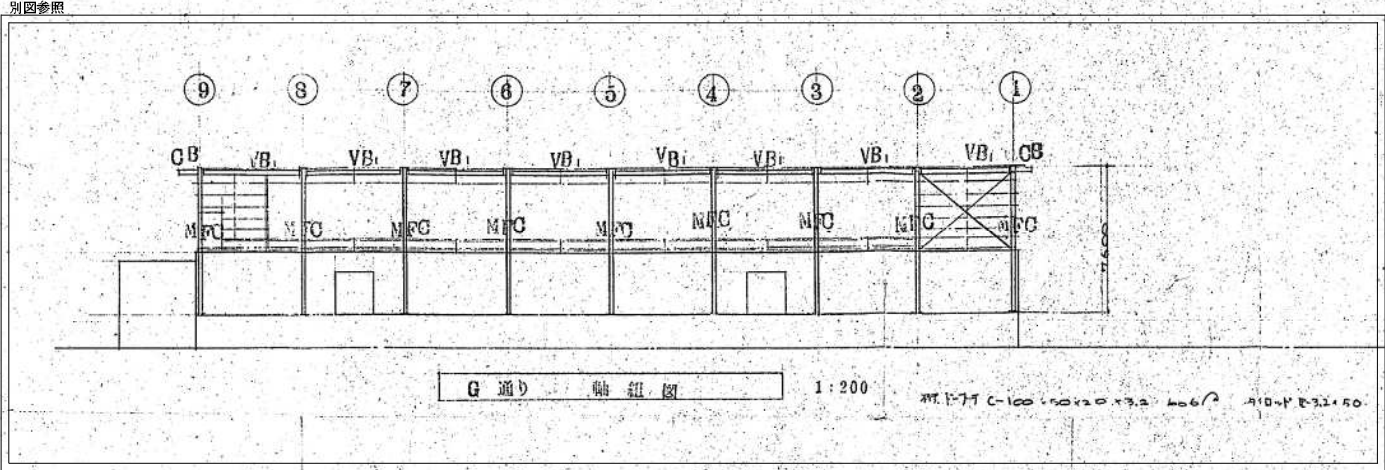
○○○ 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



設計名称	令和8年度大郷町町民体育館解体工事		
図面名称	《1974年 宮城県大郷 町民体育館新築工事》 小屋伏図		
縮 尺	A1:1/100 A2:1/200	年 月	R08.05
		設計番号	
		図面番号	A - 39

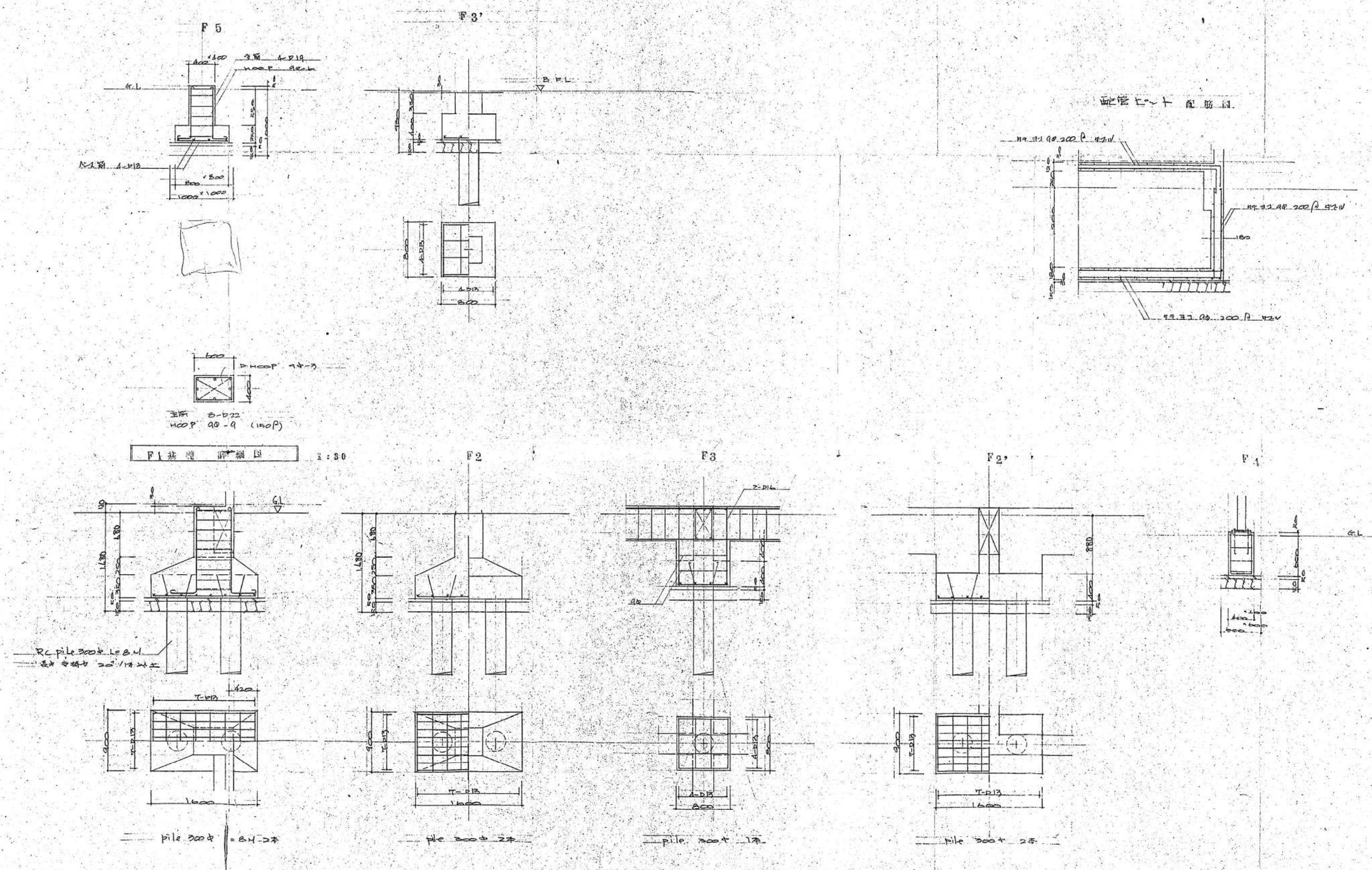
大郷町

凡 例
〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



凡 例

○○○ 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



凡 例

〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

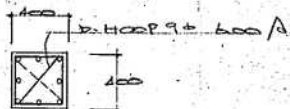
壁 リスト 全て撤去

ギャラリー 配筋図 全て撤去

階段 配筋図 全て撤去

断面

IC BC

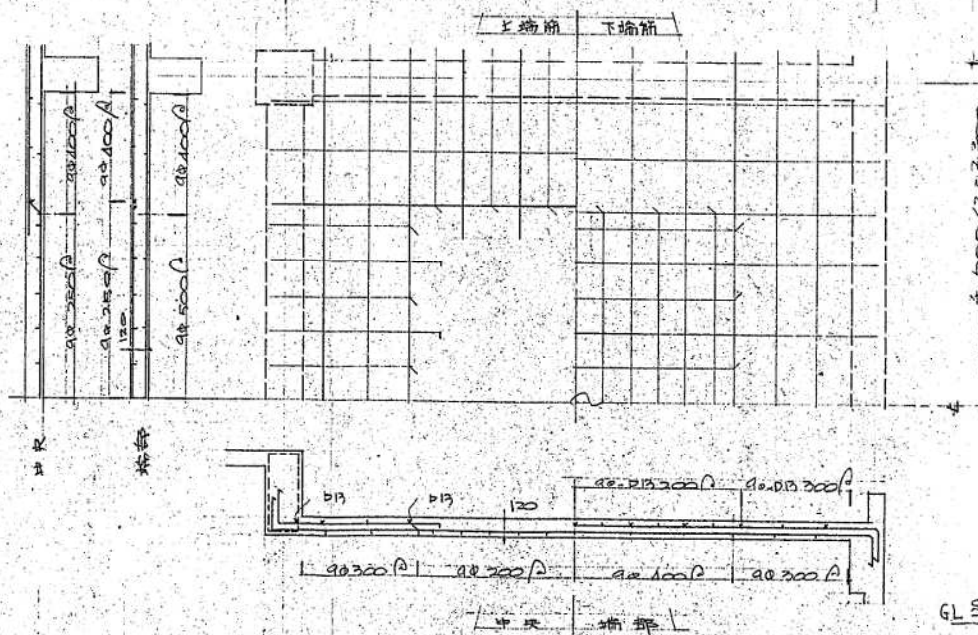


b x D 100 x 400
上端筋 8-16
下端筋 9φ 100φ

S1 スラブ 配筋図 全て撤去

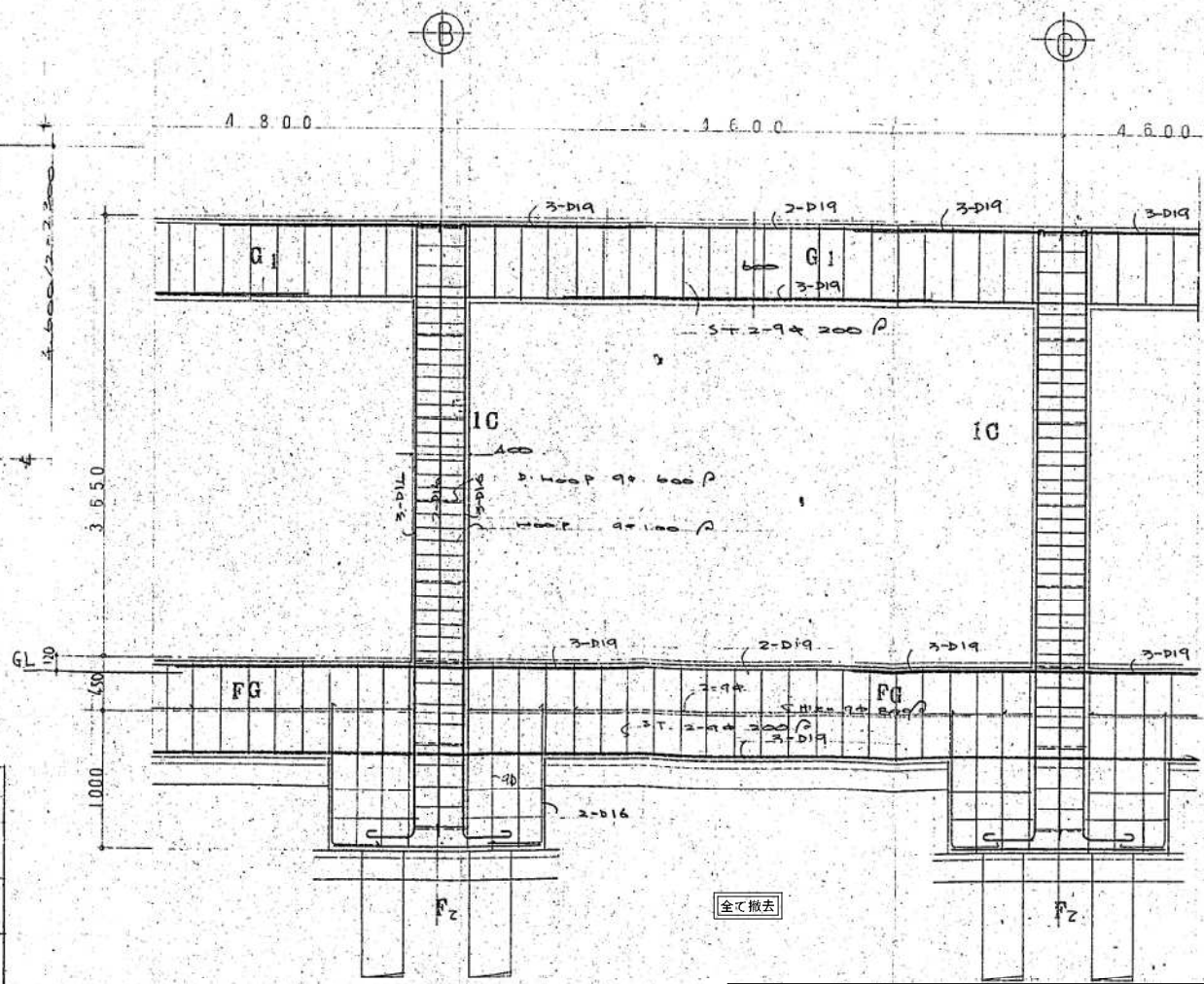
大 梁 リスト 全て撤去

断面	G1		G2	
	端部	中央	端部	中央
断面				
b x D	250 x 500		250 x 500	
上端筋	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19
下端筋	2-D19	3-D19	2-D19	3-D19
スラブリフト	2-9φ 200φ		←	
断面	FG・BFG		FB	
	端部	中央	端部	中央
断面				
b x D	300 x 700		300 x 500	
上端筋	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19
下端筋	3-D19	3-D19	2-D19	3-D19
スラブリフト	2-9φ 200φ		←	



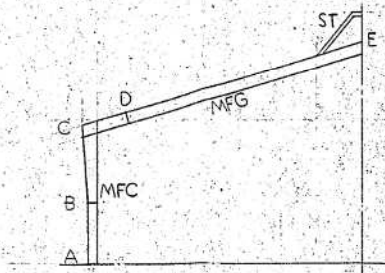
スラブ 配筋表 全て撤去

		主筋 (短辺方向)		配筋筋 (長辺方向)		板厚
		端部	中央	端部	中央	
S1	上端筋	9φ 200φ	9φ 200φ	9φ 200φ	9φ 250φ	120
	下端筋	9φ 200φ	9φ 200φ	9φ 250φ	9φ 250φ	
S2	上端筋	9φ 200φ	9φ 200φ	9φ 250φ	9φ 250φ	120
	下端筋	9φ 200φ	9φ 200φ	9φ 250φ	9φ 250φ	



全て撤去

凡 例
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



鉄 骨 リスト 1:20

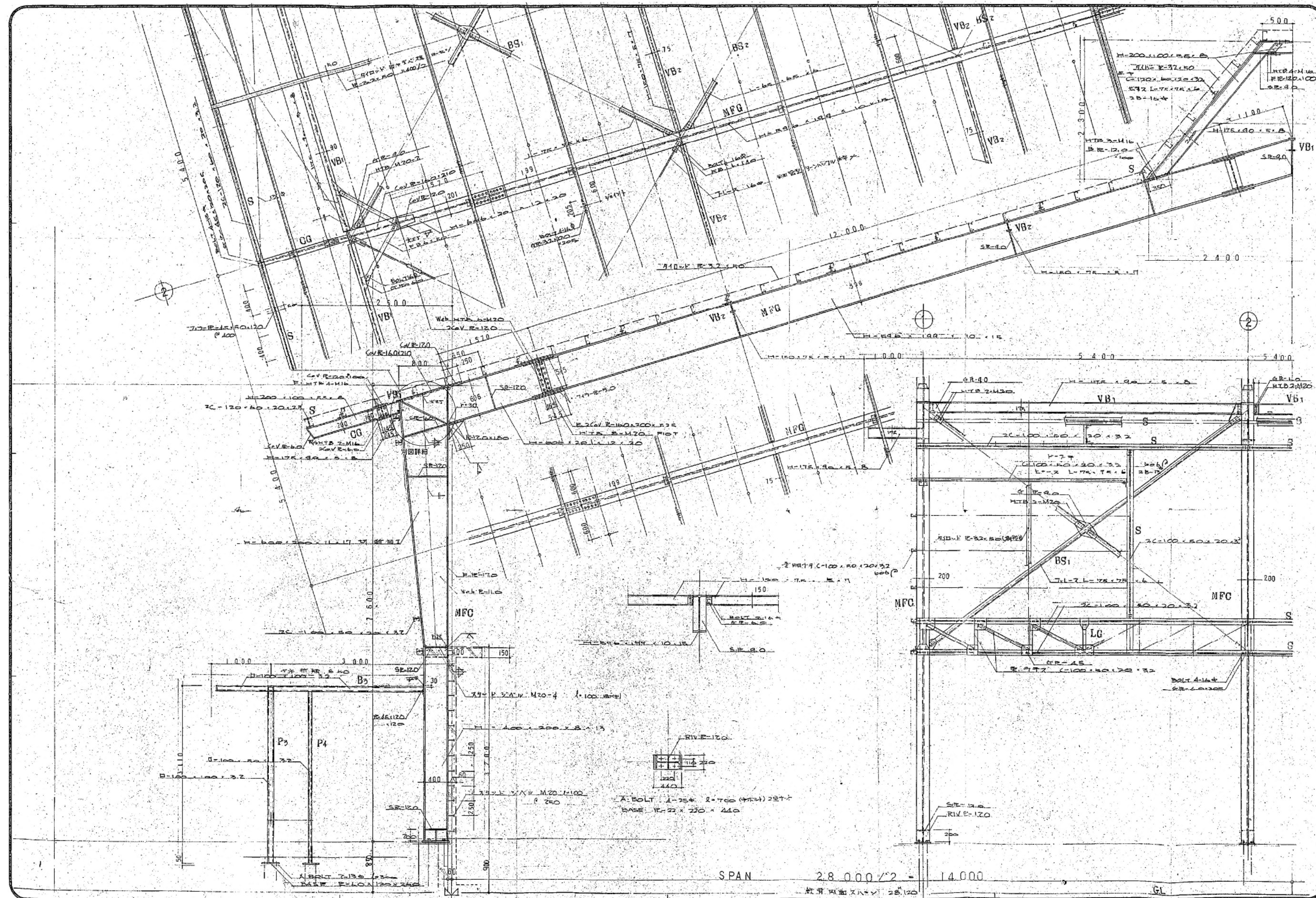
H鋼/厚板 5541 F24Y40x HTB F10C 重量/381 550 41

	MFG		MFC	G ₁ G ₁	G ₂	P ₁ B ₁ G ₃	CG ST P ₂	VB ₁ CB	VB ₂	B ₂	S
断面											
部 材	H-606×201×12×20	H-546×199×10×15	H-600×200×11×17 切替加工	H-400×200×8×13	H-350×175×7×11	H-300×150×6.5×9	H-250×125×6×9	H-200×100×5.5×8	H-175×90×5×8	H-150×75×5×7	H-100×100×5×8 ZC-100×50×20×3.2
	冊 ヤ	小ヤ フ レース 壁面フレース		隅 材		P ₃ B ₃	P ₄				
断面											
部 材	C-120×60×20×2.3 E-Z L-75×75×6 BOLT 2-13φ	L-75×75×6 4E-90 HTB2+M20	L-65×65×6 4E-60 HTB2+M20	角鋼 16φ (SP24) 13φ FB60 BOLT 16φ FB45×10×13 BOLT 16φ-1	C-100×50×20×2.3 E-Z L-75×75×6 BOLT 2-13φ	ZC-100×50×20×3.2 C-100×50×20×2.66φ E-Z L-75×75×6 BOLT 2-13φ	□-100×100×3.2	□-100×50×3.2			

HTD ホルトビーク・パル明 ムリ明

ボルト径	M16	M20	M22
孔径	17.0	20.5	23.5
ムリ明	25	30	35
パル明	35	40	45
ボーク	50	60	70

全て撤去

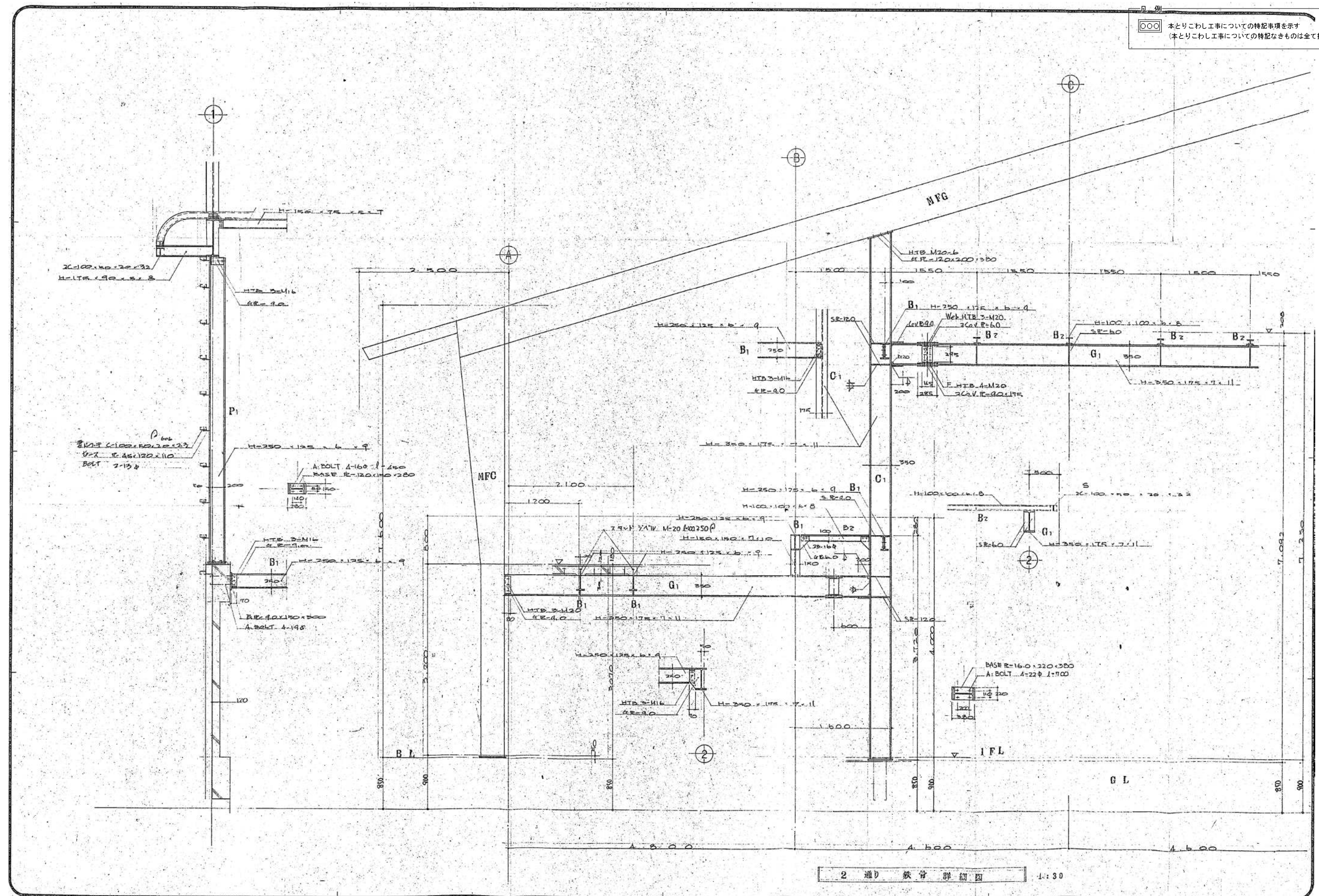


凡例
本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

設計名称 令和8年度大郷町民体育館解体工事
図面名称 <1974年 宮城県大郷町民体育館新築工事>
鉄骨詳細図1
縮尺 A1:1/30 年 月 R08.05 設計番号 図面番号 A-44
大郷町

全て撤去

凡例
〇〇〇 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



[illegible]

一般共通事項

電 設 備

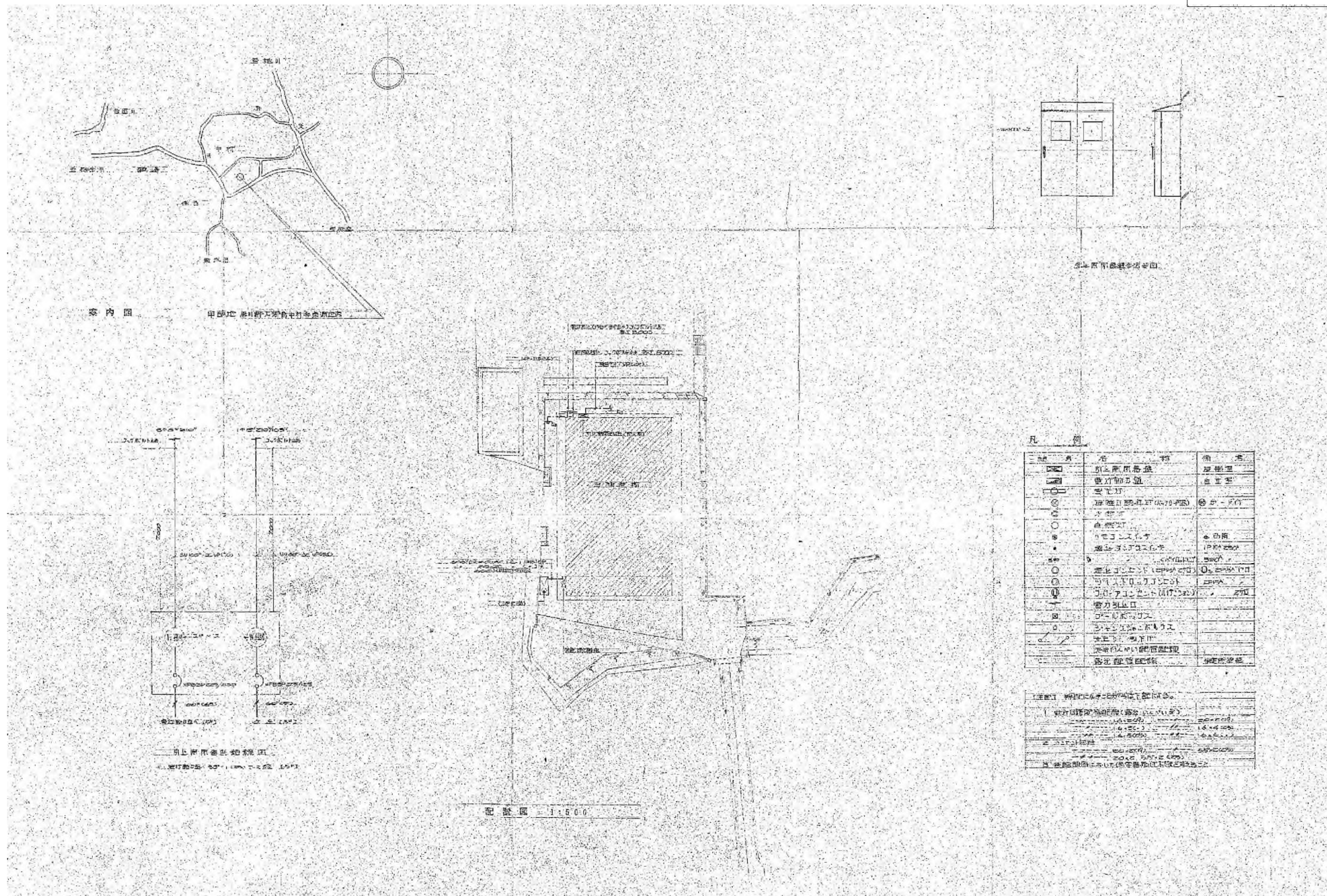
構内配電線	
-------	--

--	--

設計名稱	令和 8 年度大郷町町民体育館解体工事				
図面名称	電気設備解体工事特記仕様書				
縮 尺	A1:1/- A3:1/-	年 月	R08.05	設計番号	図面番号 E
大 郷 町					

凡 例

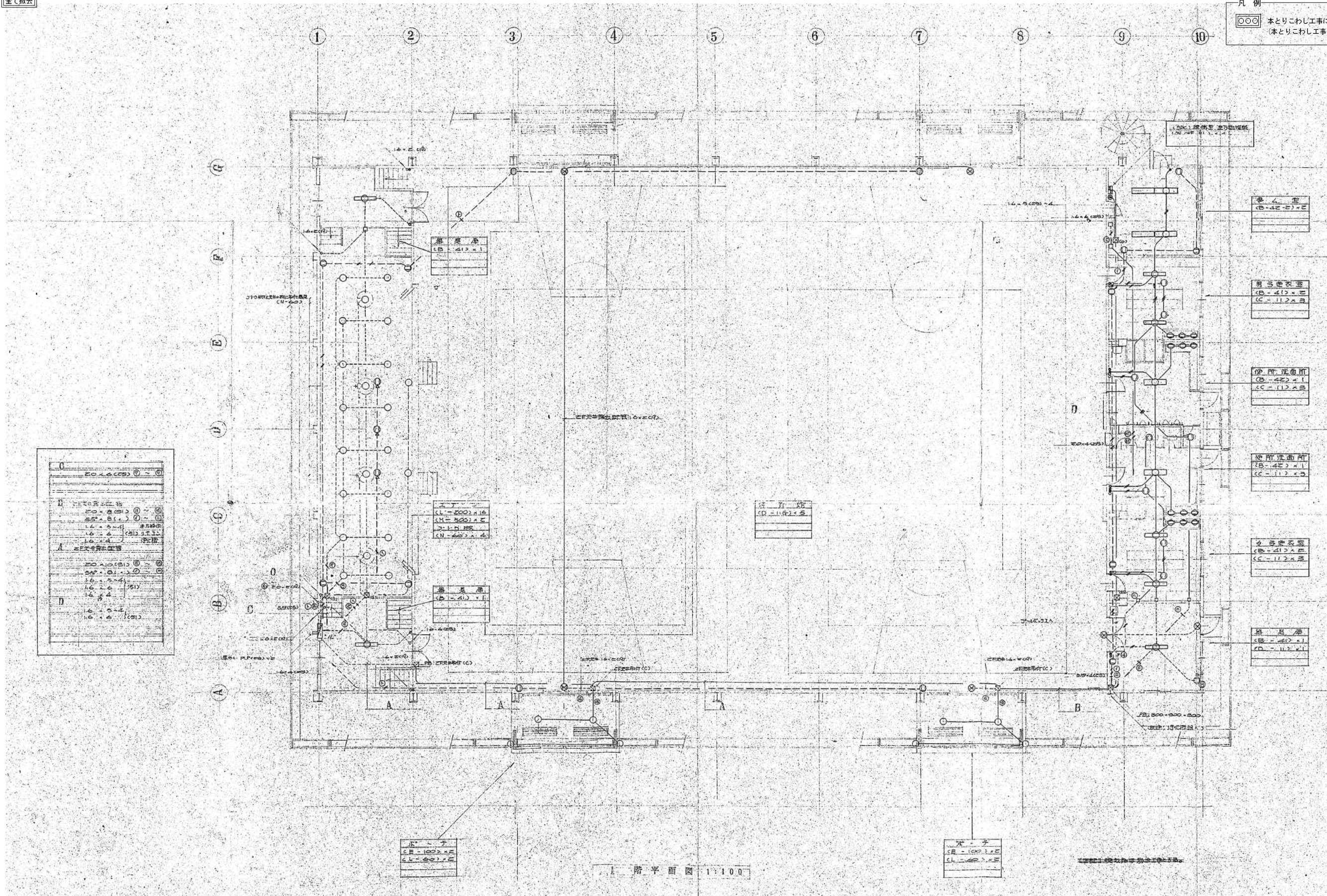
 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



設計名称	令和8年度大郷町町民体育館解体工事		
図面名称	案内図、解体前配置図		
縮 尺	A1:1/500 A3:1/1300	年 月	R08. 05
設計番号		図面番号	E - 02
大 郷 町			

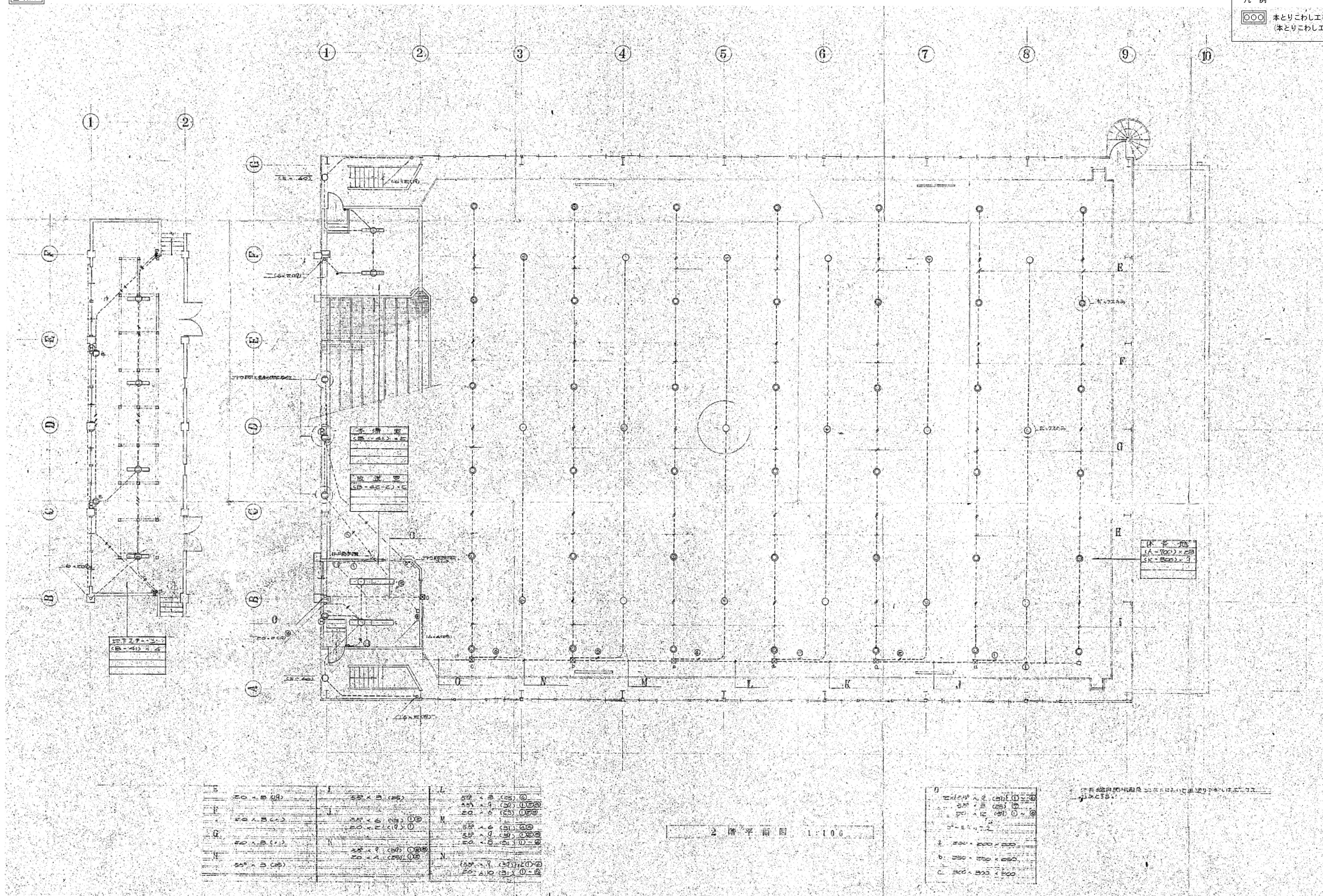
全て撤去

凡 例
○ ○ ○ 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



凡 例

 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)

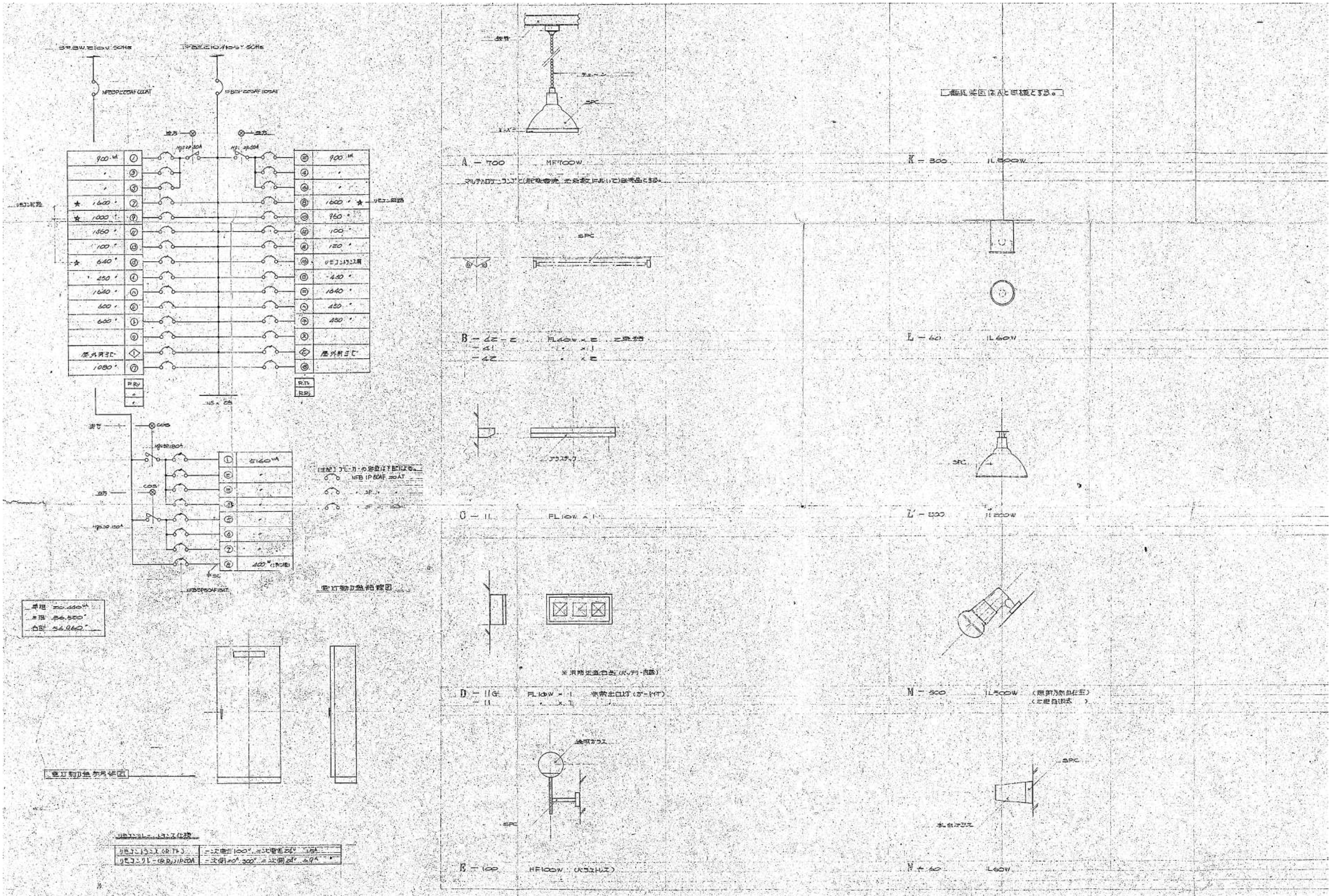


全て撤去

凡 例

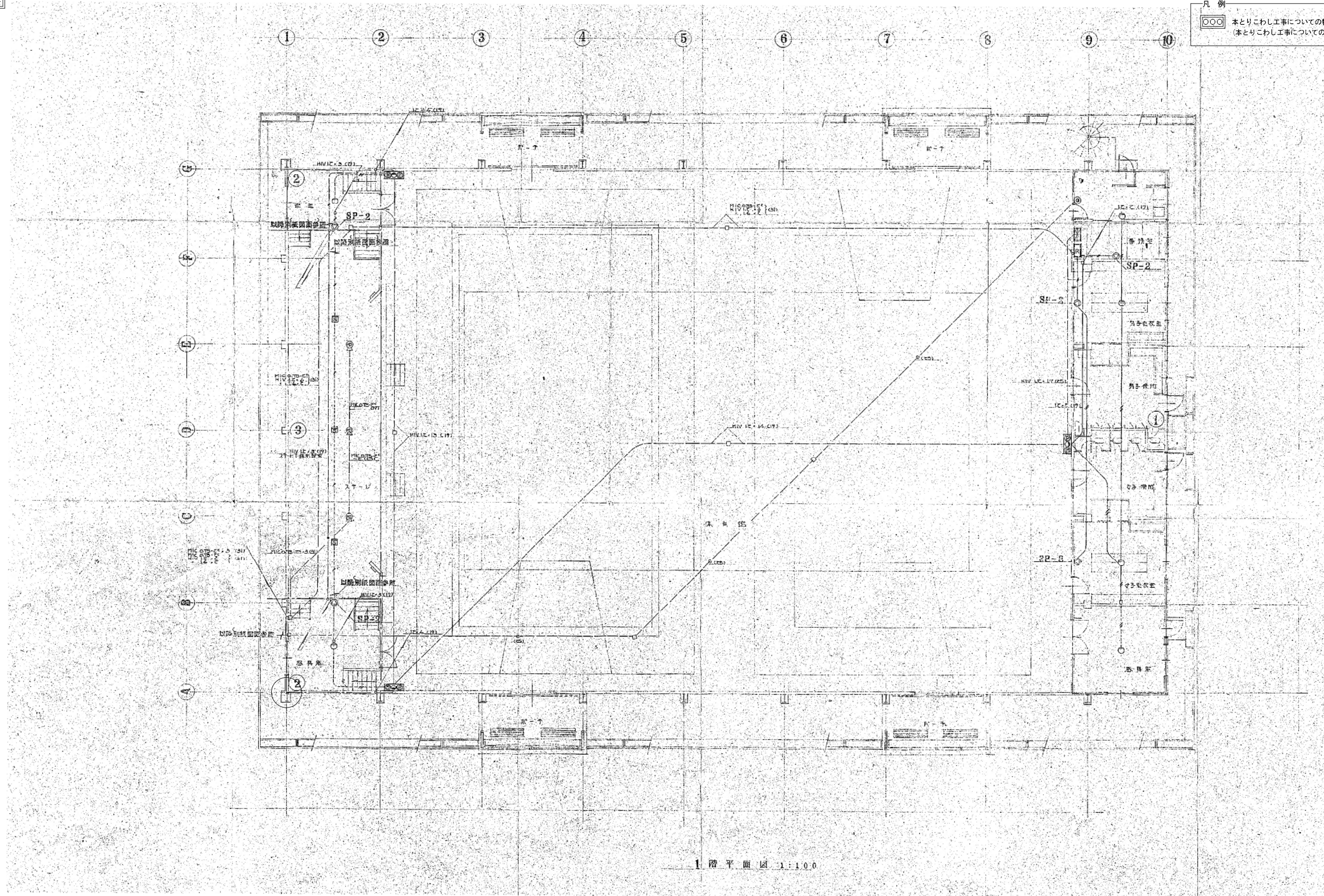


本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



凡 例

 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



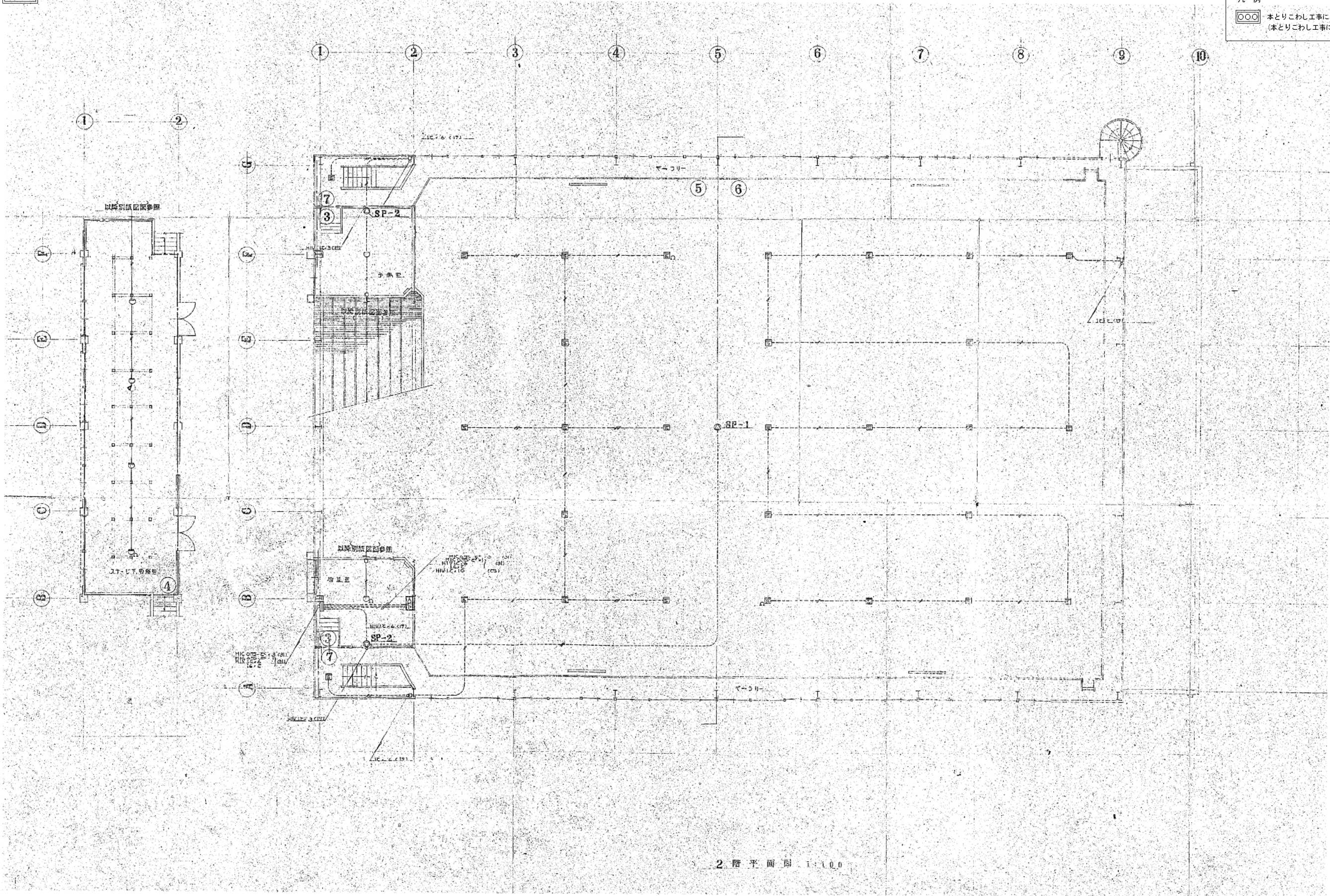
設計名稱	令和8年度大郷町町民体育館解体工事			
図面名称	弱電設備 1階平面図			
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年 月	R08. 05	設計番号
			図面番号	E- 06
大 郷 町				

全て撤去

凡 例



本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



2階平面図 1:100

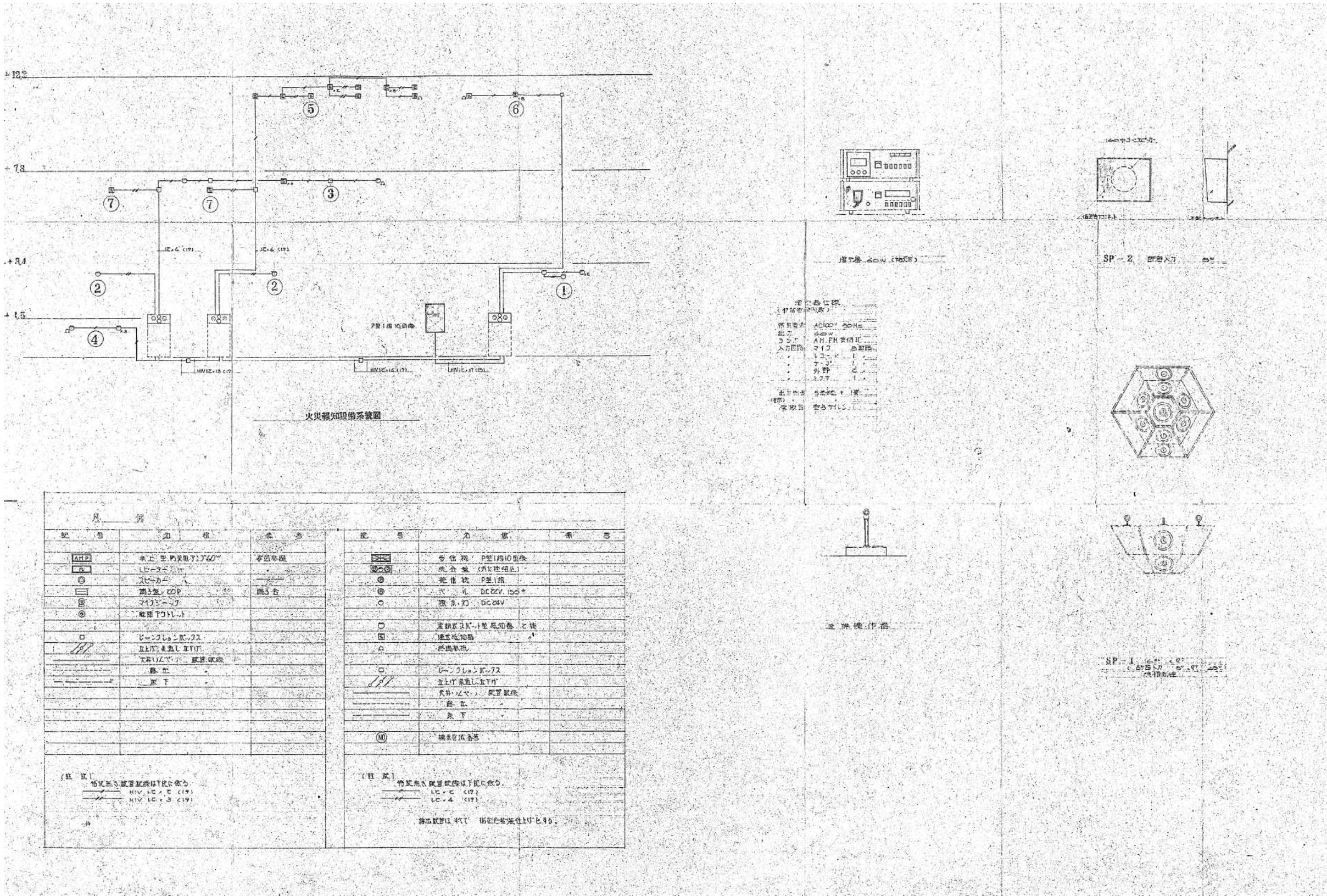
設計名称	令和8年度大郷町民体育館解体工事			
図面名称	弱電設備 2階平面図			
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	年月	R08.05	設計番号
大郷町				図面番号 E-07

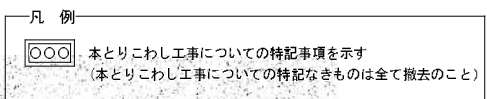
全て撤去

凡 例

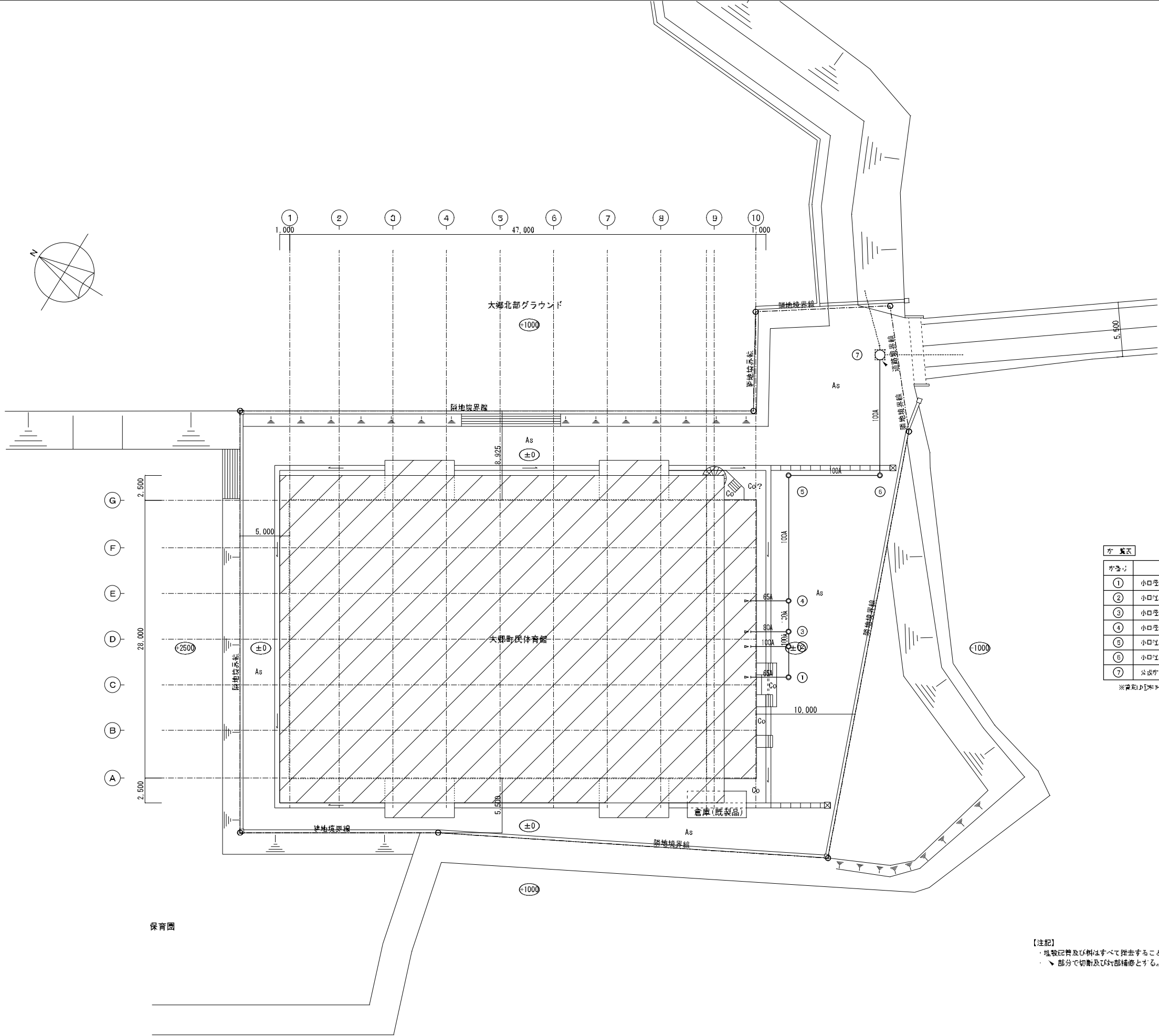


本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)





凡 例	記 号	名 称	備 考
	—— —	給 水 管	水直甲註記鐵管
	—— x ——	漸 火 管	亜鉛鍍銅管
	—————	雜 排 水 管	全 上
	—— —▷——	汚 水 管	排水用鉛鐵管
	-----	通 氣 管	亜鉛鍍銅管
	—— — = ——	屋 外 排 水 管	ヒューズ管
	——▷——▷——	仕 切 弁	JIS 10 4寸
	——▷——▷——	逆 止 弁	全 上
	⊙	水 坂 栓	Box 共
	□	給 水 栓	
	⊕	流 入 排 水 金 物	全 上 70 寸 鐵 金
	⊗	灰	全 上
	⊖	灰 上 掃 除 口	全 上
	□	汚 水 砌	
	⊠	雜 排 水 管	



方 式							
番号	排水点	形状	開口径	中心口径	排水口径	管底	蓋
①	小口受給ピカ	90L	150φ	100A	65A	750H	塩ビ蓋
②	小口受給ピカ	90Y	〃	〃	100A	815H	塩ビ蓋
③	小口受給ピカ	90Y	〃	〃	80A	845H	塩ビ蓋
④	小口受給ピカ	90Y	〃	〃	65A	910H	塩ビ蓋
⑤	小口受給ピカ	90L	〃	〃	—	1163H	防護蓋
⑥	小口受給ピカ	90L	〃	〃	—	1330H	防護蓋
⑦	公設管（マンホール）	—	—	—	—	1595H	—

※管径は1メートル以下のサイズとする。

【注記】
・埋設記号及び標高はすべて控去すること。
・ 〳 部分で切斷及び補修とする。

- 特記仕様書
1. 工事名称 大郷町々民体育館 新築 給排水衛生設備工事
2. 工事場所 宮城県栗川郡大郷町中村字東浦地内
3. 建設概要 5連(一部RC造)平家建(一部4階)建築面積 (㎡)
4. 工期 着工 昭和 年 月 日 竣工 昭和 年 月 日
5. 工事種目 (1) 給水設備工事 (2) 排水通気設備工事 (3) 衛生器具設備工事
(4) 屋内消火設備工事 (5) 換気設備工事 (6) し尿浄化槽設備工事
6. 別途工事 建築工事 〆基礎工 〆雨水配管 〆屋外側渠
電気工事 〆動力 〆照明盤 一〆二次側配管配線工事
(但し 浄化槽の制御盤は 本工事とする。)
7. 〆その他 〆雨水引込に伴う敷地外工事

7-一般事項

- 7-1 工事基準 (1) 本工事には建設大臣官庁告示第89号「機械設備工事共通仕様書」(昭和46年版)を標準仕様書とし、本特記仕様書、新技術、工事諸員契約書等から採るの指示に従い、関係法令の順守に基き施工する。
- (2) 本工事者は、特に要請と技術的に必要なものは、事前に検査員に承認を得る。
- (3) 本工事者は、事前に施工図(1/20、1/50) 機械承認図を作成し、検査員の承認を得る。
- (4) 本工事者は、仕様書に示す範囲に於て、明不両立部分で技術上、施工上、本工事完成に必要と認められる工事には、検査員の指示通り施工する。
- 7-2 品質保証 本工事者は、関係法令に規定する保証並に、本工事に要する箇所一切を担担する。
- 7-3 工事保証 (1) 本工事者は、工事を完了後、工事完了後、納入品の欠陥に起因する故障は、12ヶ月間保証の責に任じ、修理に直ちに修理又は交換と取替える。
- (2) 本工事者は、11ヶ月、12ヶ月間、各検査員が検査及び調整修理等を行うに引渡す。

8. 特記仕様

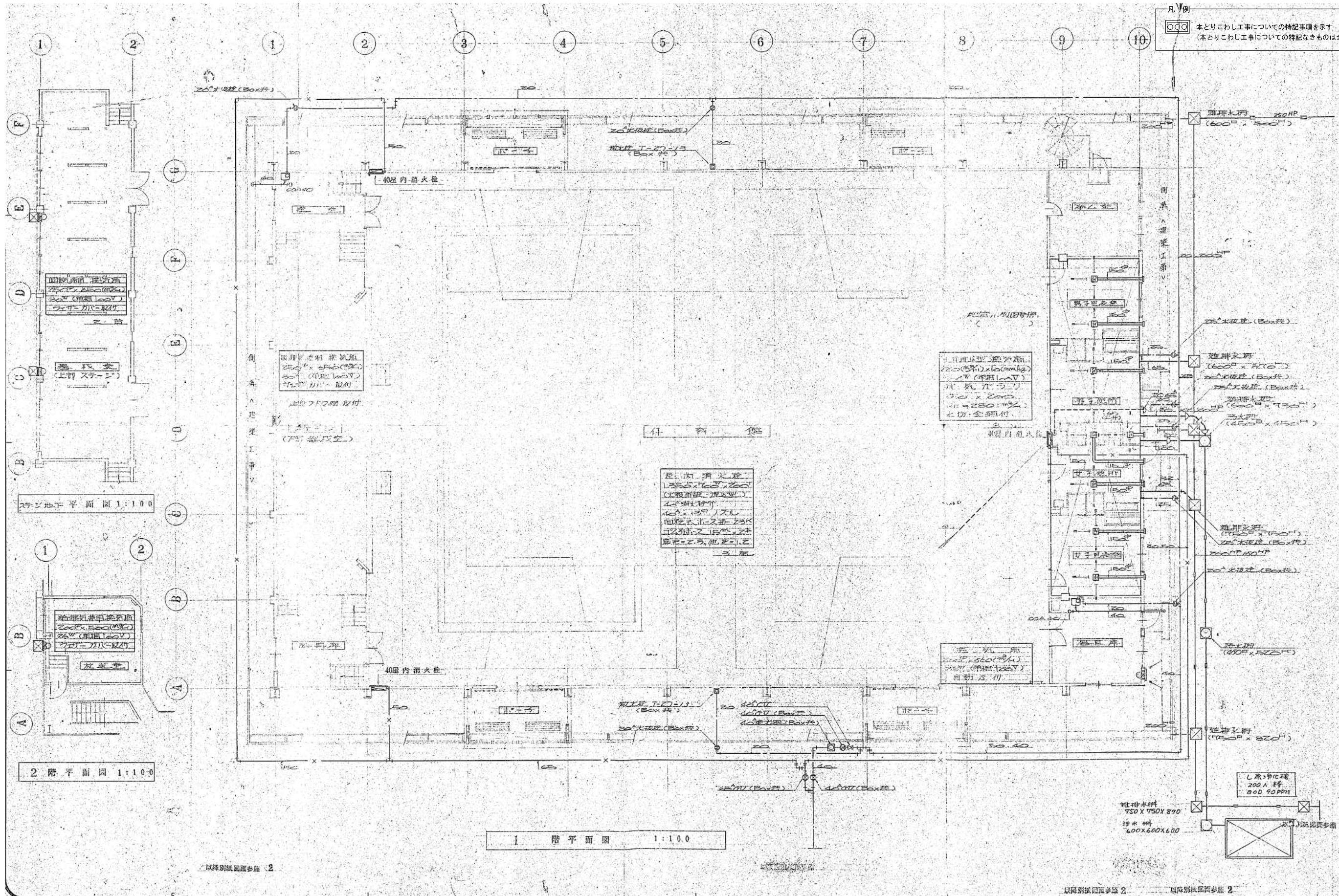
- (1) 給水設備工事 敷地内に引込した雨水本管より分岐し、各部の給水栓に直結方式にて接続するものとする。
- 〆配管材料 (1) 給水管：標準仕様書より水道用鋼管
- (2) 継手：金 上 鋼管用継手
- 〆弁：類 金(JIS 10771cm)とする。
- 〆配管工事 配管終了後、10MPaの水压試験を60分間行う。
- 〆防露工事 (1) 屋外露出 29℃(10℃未満時(50%)厚紙巻 〆20鉄板巻 指定色仕上
- (2) 屋内露出 金 上 (25%) 金 上 銅布巻 金 上
- (3) 屋内隠蔽 金 上 (25%) 金 上 金 上 目上仕上
- (2) 排水通気設備工事 汚水、雑排水を屋内合流し、し尿浄化槽を経て放流する。雑排水と雨水は屋外にて合流し、排水渠へ放流するものとする。
- 〆配管材料 鋼鉄管 JIS-B-1525 (直管1種) 鋼管 JIS-B-3432 継手 JIS-B-1302
- 〆防露工事 (1) 整 管 40mm 厚紙巻、銅布巻 目上仕上
- (2) 横走り管 金 上 20mm 厚紙巻 金 上 金 上
- (3) 屋内露出 金 上 厚紙巻 金 上 指定色仕上
- (3) 衛生器具設備工事 〆便 器 JIS-A-820PFより浴化素地のものを、その他 JIS-B-1019 空調衛生工学会規格により製作されるものとする。
- 〆配管 配管、取付位置等は現場にて検査員の指示通りとする。

- (4) 屋内消火設備工事 敷地内に引込した雨水本管より分岐し、消火栓栓に直結するものとする。
- 〆配管材料 JIS-B-1525 鋼管より鋼管 継手 JIS-B-1302
- 〆弁：類 JIS 10771cm とする。
- 〆配管工事 配管終了後、10MPaの水压試験を60分間行う。
- (5) 換気設備工事 〆換 気 本設備は、各室の窓の直結に天井埋込型換気扇を設置し、局所換気方式による排気の換気を行うものとする。
- (6) し尿浄化槽設備工事 屋外にし尿浄化槽を設置し、規定の貯留量迄、浄化するものとする。
- 〆他種 〆他種は標準とする。

9. 使用材料・メーカー

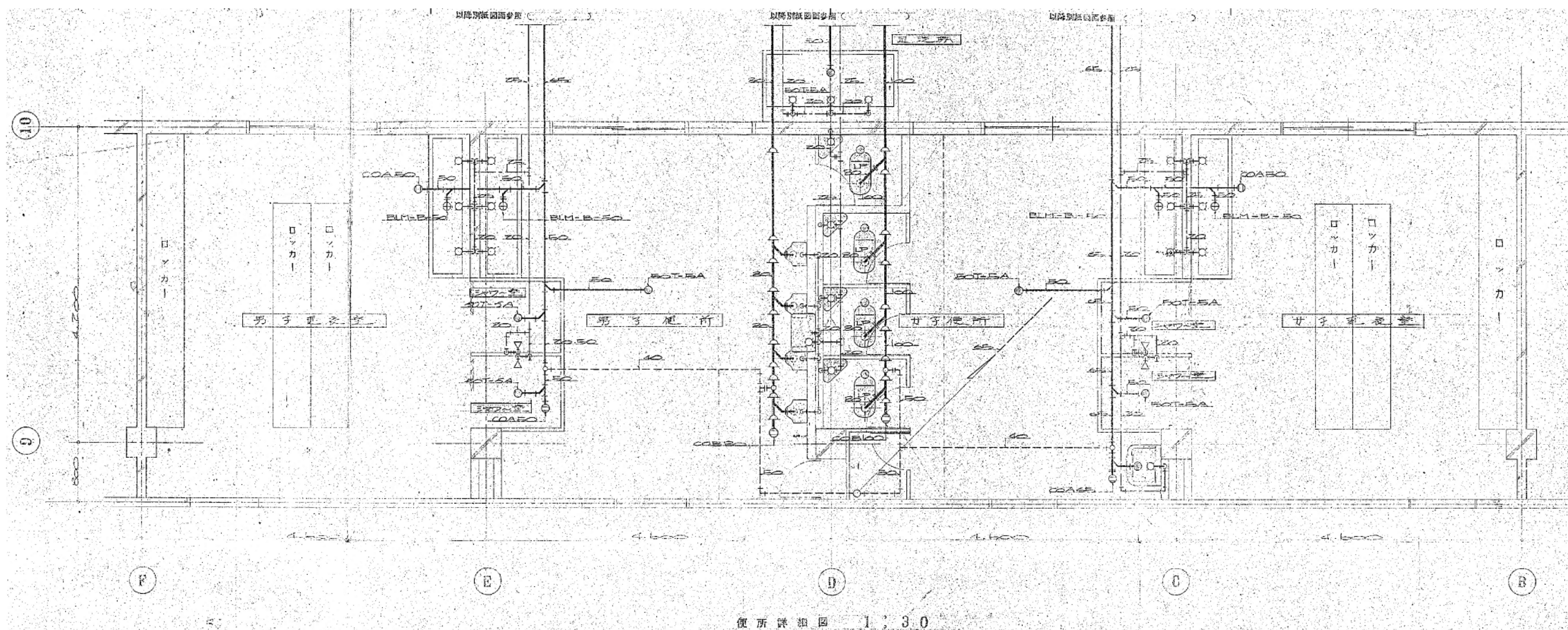
- 本工事に使用する材料器具は、下記メーカーは同等品より選出し、検査員の承認を得る。
- | 性 質 品 名 | 東 関 房 屋 | 伊 東 製 鋼 |
|-------------|---------|----------------------|
| 鋼 管、鋼 板 | 日本鋼管 | 川崎製鉄、住友金属 |
| 弁、類 | 東洋バルブ | 大和バルブ、三昌バルブ、北沢バルブ |
| 鋼 鉄 管 | 理研鉄工 | 久保田鉄工、長谷川鋼工研 |
| 鋼 鉄 製 品 | 金 上 | 金 上 金 上 |
| 排水金具 | 金 上 | 金 上 金 上 |
| 消 火 栓 | 日本産業 | 前北製作所、消火栓技研 |
| ヒート 管 | 日本ヒート管 | 利田ヒート管、北越ヒート管、東国ヒート管 |
| 銅 管 | 日本銅管 | 大同銅管 |
| し尿浄化槽 | 水戸製作所 | 北越工業、三和工業、東洋工業 |
| 金 上、金 上 金 上 | | |

全て撤去



凡 例

 本とりこわし工事についての特記事項を示す
(本とりこわし工事についての特記なきものは全て撤去のこと)



便所詳細圖 1:30

[illegible]